

第3章 満15歳～30歳調査の結果

1 家庭や家族のことについて

(1) 親に対してもつ感情

◇＜頼りになる＞は父親が77.3%、母親が82.0%

(「父親」か「母親」と一緒に暮らしていると答えた人にうかがいます)

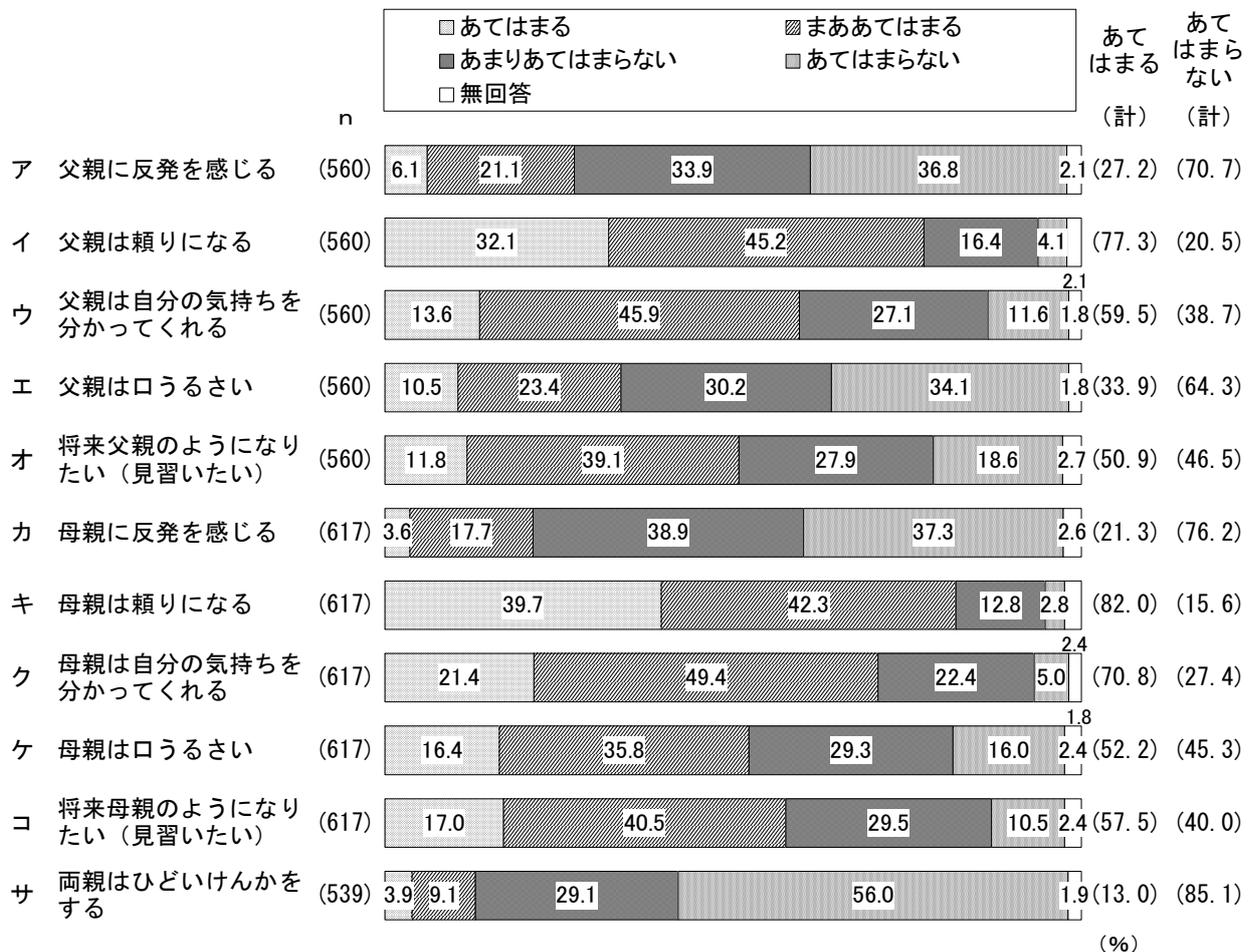
問11 あなたの、父親や母親には、次のことがあてはまりますか。アからサのそれぞれについて、1つ選んで○をつけてください。(類似質問：満10歳～14歳20ページ参照)

父親や母親にどのような感情を持っているか聞いたところ、「あてはまる」と「まああてはまる」の2つを合わせた『あてはまる(計)』の割合が最も多いのは、＜頼りになる＞で、父親へは77.3%、母親へは82.0%となっている。次いで＜自分の気持ちをわかってくれる＞は、父親へは59.5%、母親へは70.8%である。一方、＜反発を感じる＞では、『あてはまる(計)』は父親へは27.2%、母親へは21.3%となっている。

また、＜両親はひどいけんかをする＞は、『あてはまる(計)』は13.0%となっている。

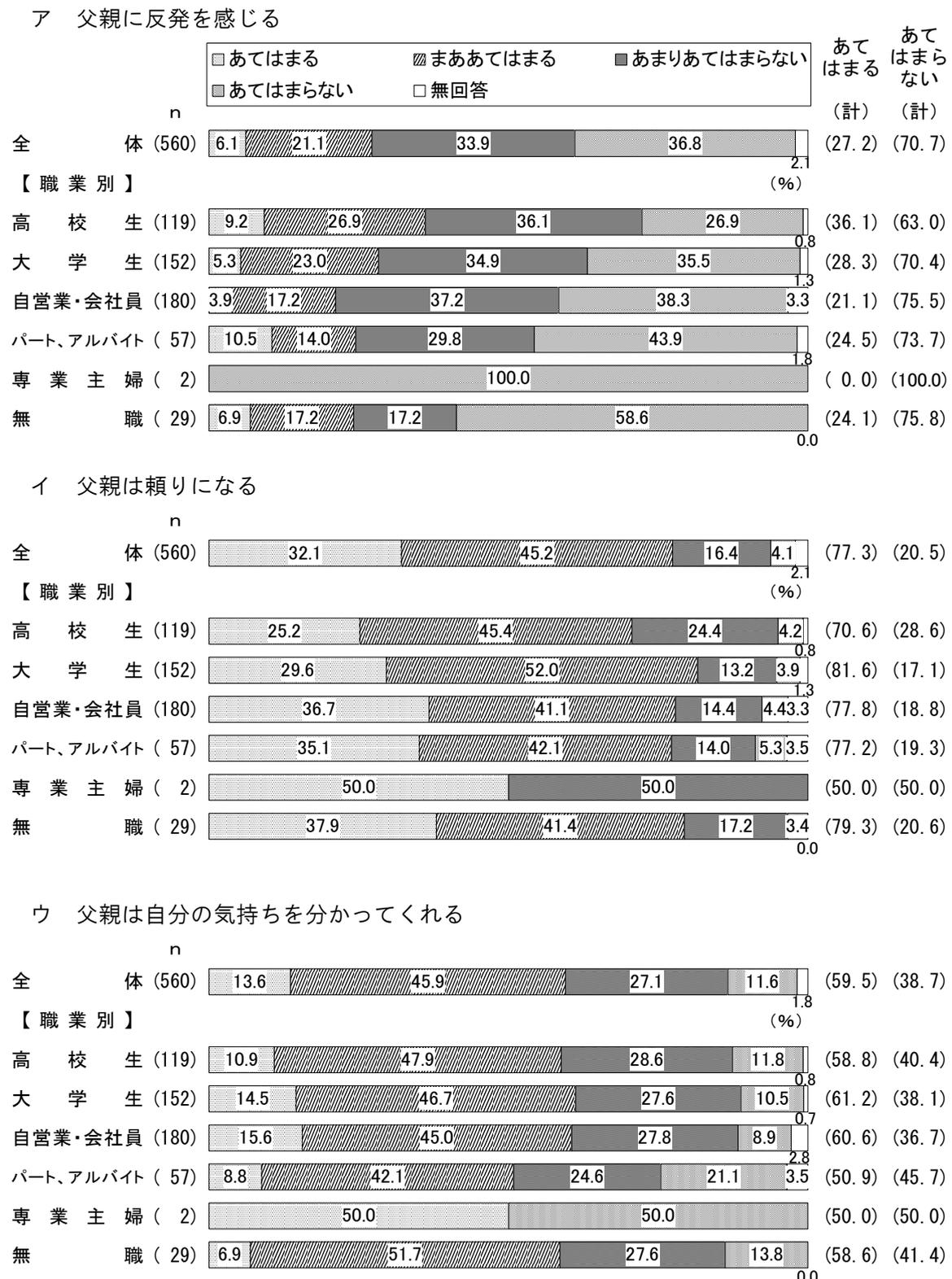
(図表1-1-1)

図表1-1-1



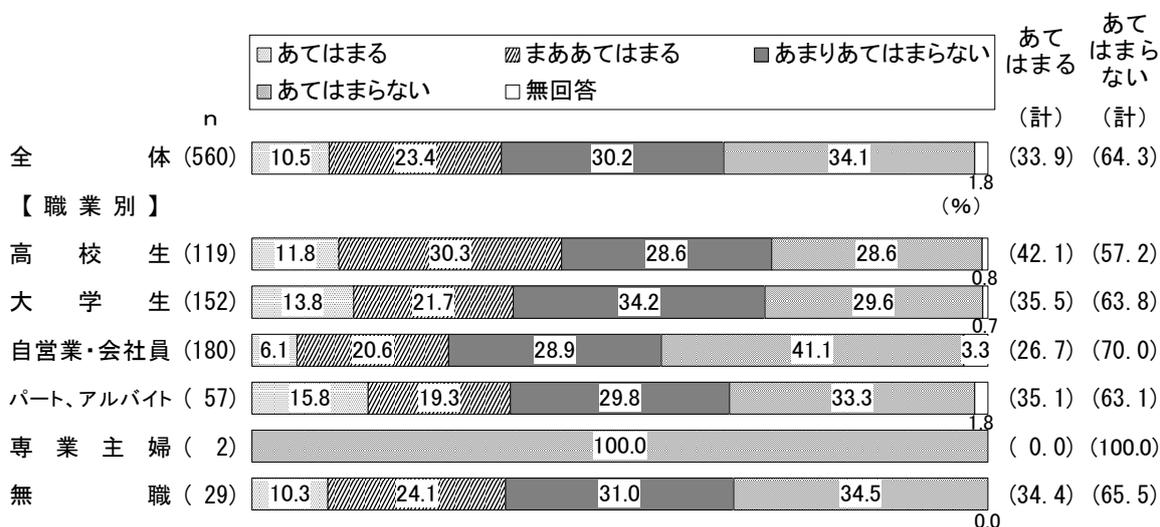
職業別にみると、高校生で『あてはまる (計)』の割合が他の職業と比べて多いのは、<ア 父親に反発を感じる> (36.1%)、<エ 父親は口うるさい> (42.1%)、<カ 母親に反発を感じる> (32.4%)、<ケ 母親は口うるさい> (62.5%)、<サ 両親はひどいけんかをする> (17.5%) の5項目となっている。(図表1-1-2～図表1-1-5)

図表1-1-2 親に対してもつ感情 (職業別)

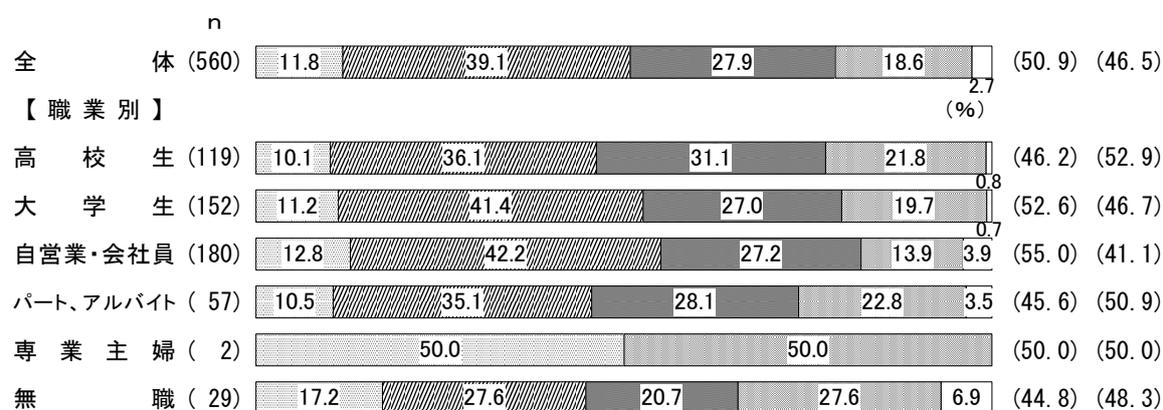


図表 1-1-3 親に対してもつ感情（職業別）（つづき）

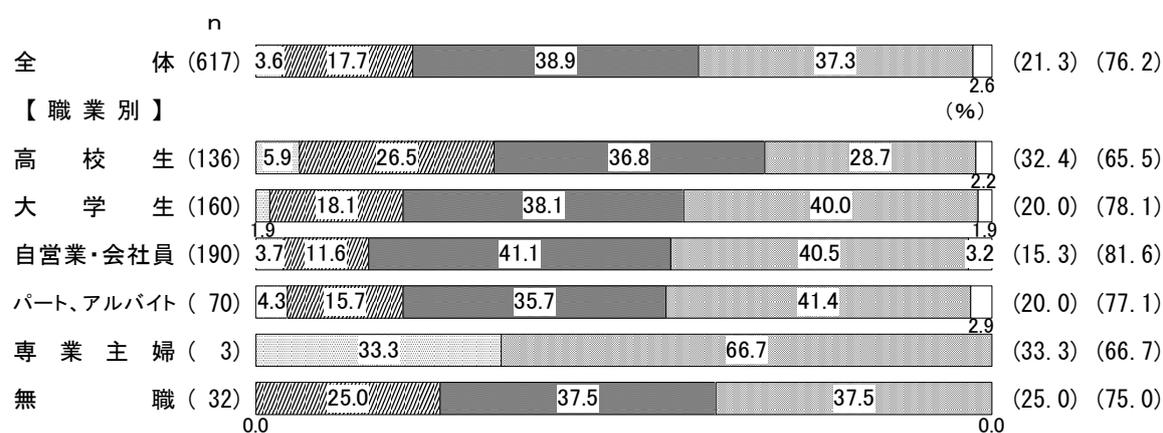
エ 父親は口うるさい



オ 将来父親のようになりたい（見習いたい）

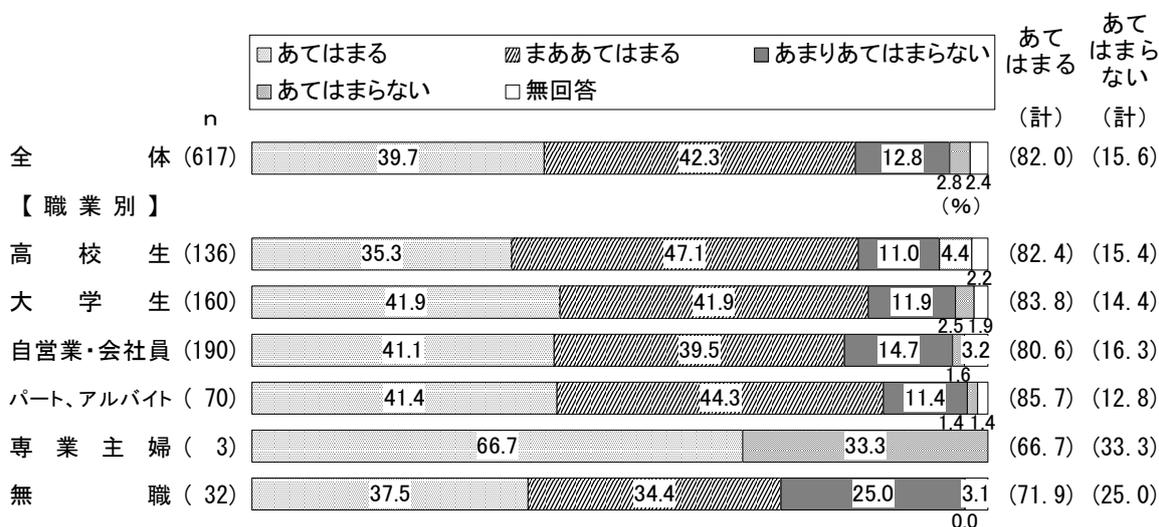


カ 母親に反発を感じる

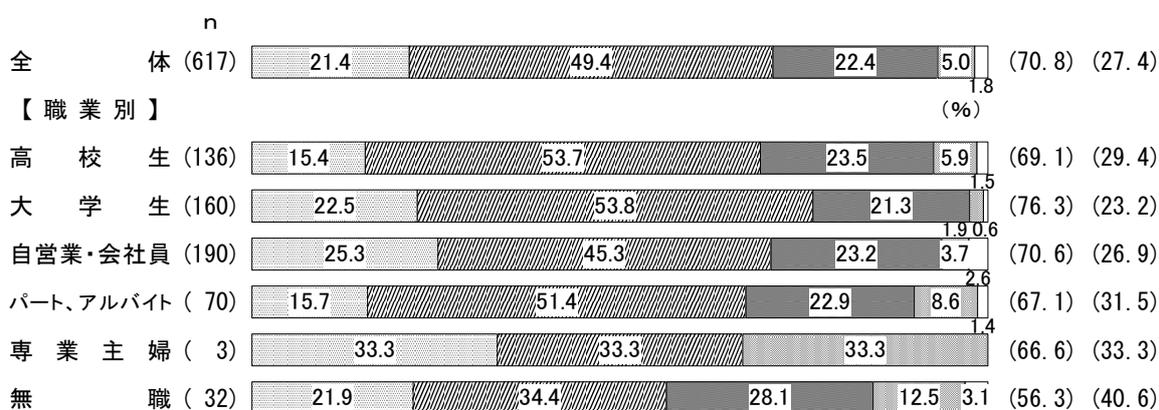


図表 1-1-4 親に対してもつ感情（職業別）（つづき）

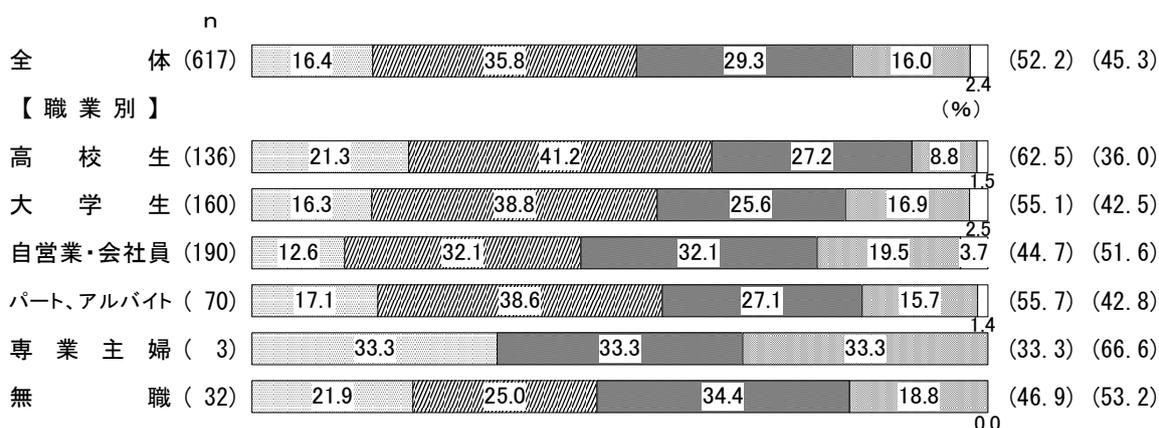
キ 母親は頼りになる



ク 母親は自分の気持ちを分かってくれる

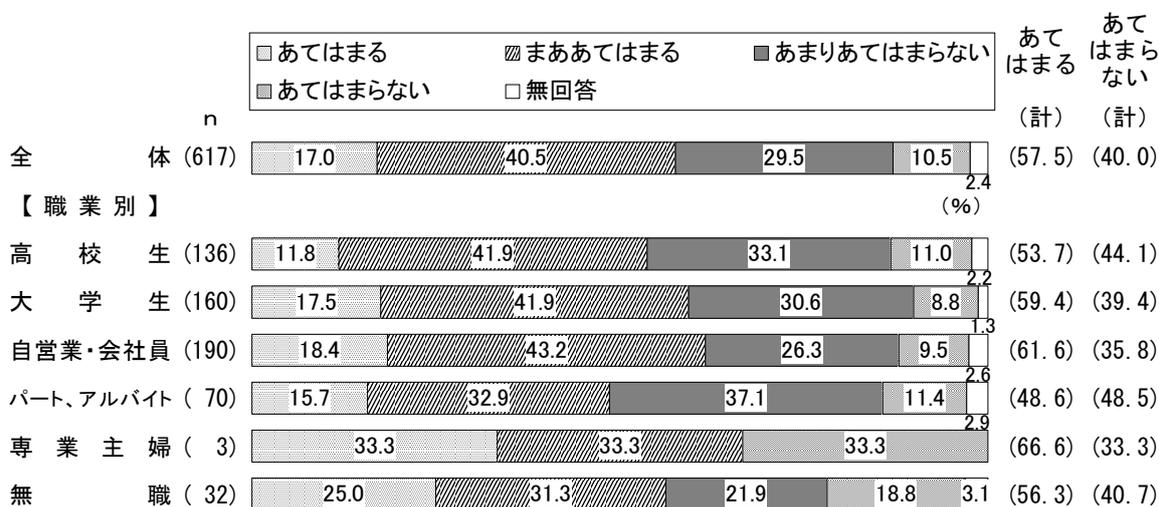


ケ 母親は口うるさい

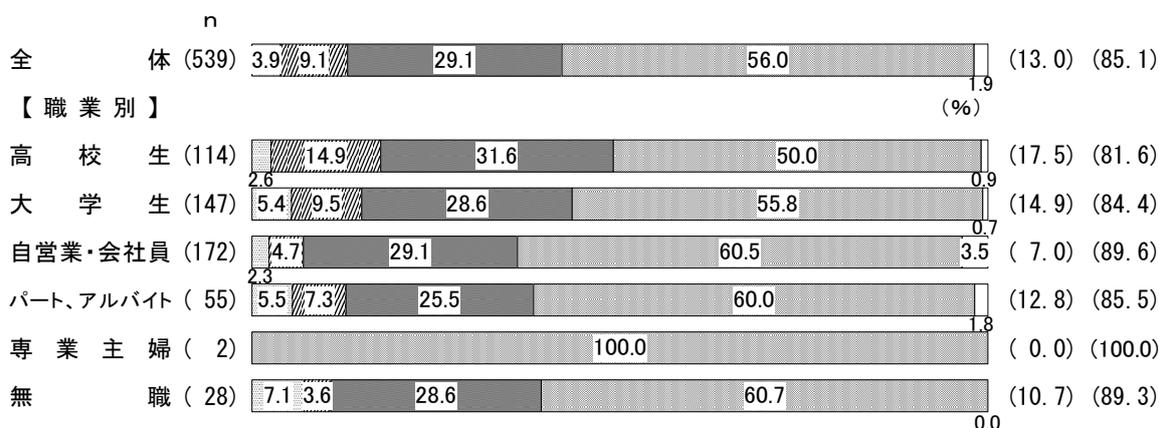


図表 1-1-5 親に対してもつ感情（職業別）（つづき）

コ 将来母親のようになりたい（見習いたい）



サ 両親はひどいけんかをする



(2) 親との信頼感

◇『信頼している (計)』は父親が82.5%、母親が89.8%

(「父親」か「母親」と一緒に暮らしていると答えた人にうかがいます)

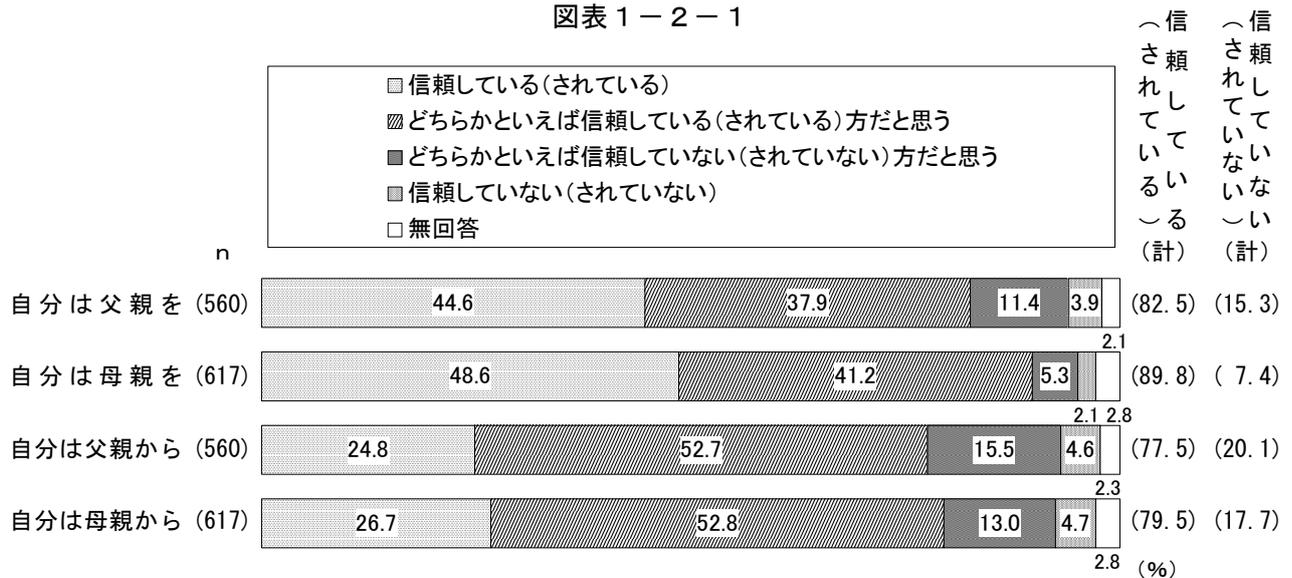
問12 あなたは、父親、母親を信頼していますか。また、反対に父親、母親から信頼されていると思いますか。それぞれについて、1つ選んで○をしてください。

(類似質問：満10歳～14歳 17ページ参照)

父親、母親を信頼しているか聞いたところ、父親については、「信頼している」が44.6%、「どちらかといえば信頼している方だと思う」が37.9%で、この2つを合わせた『信頼している (計)』は82.5%となっている。母親については、『信頼している (計)』は89.8%となっている。

反対に、父親、母親から信頼されていると思うか聞いたところ、父親については、「信頼されている」が24.8%、「どちらかといえば信頼されている方だと思う」が52.7%で、この2つを合わせた『信頼されている (計)』は77.5%となっている。母親については、『信頼されている (計)』は79.5%となっている。(図表1-2-1)

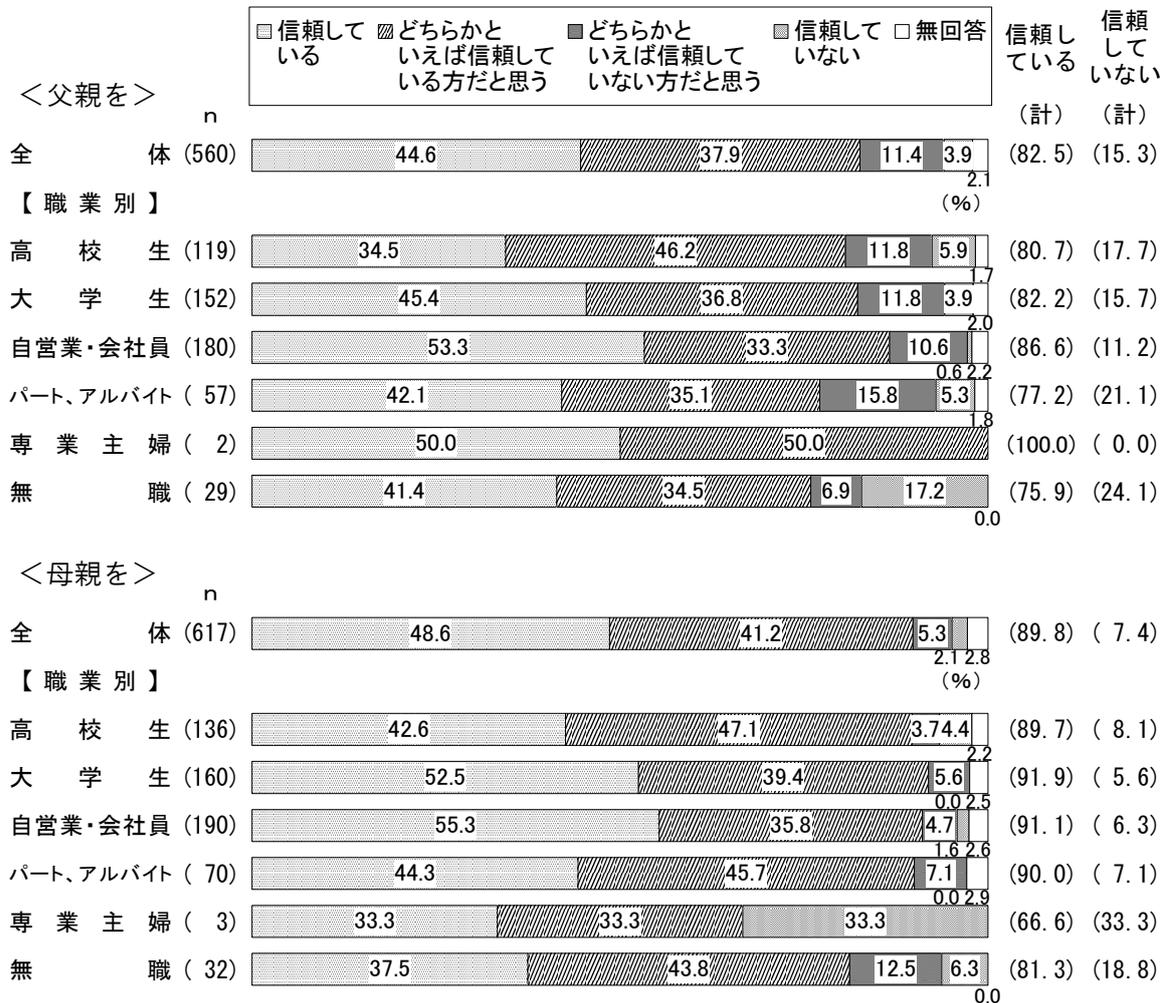
図表1-2-1



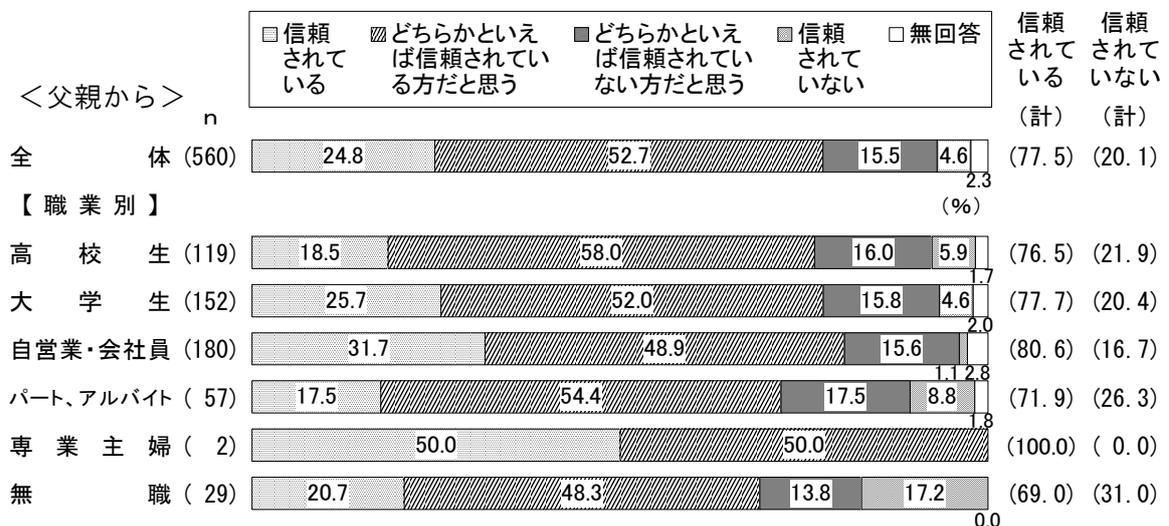
父親、母親を信頼しているかについて職業別にみると、父親を『信頼している (計)』の割合は自営業・会社員で86.6%と多くなっている。母親を『信頼している (計)』の割合には大きな差はみられないが、大学生で91.9%と多くなっている。(図表1-2-2)

父親、母親から信頼されていると思うかについて職業別にみると、父親から『信頼されている (計)』の割合は自営業・会社員で80.6%と多く、母親から『信頼されている (計)』の割合は大学生で82.5%と多くなっている。(図表1-2-3、図表1-2-4)

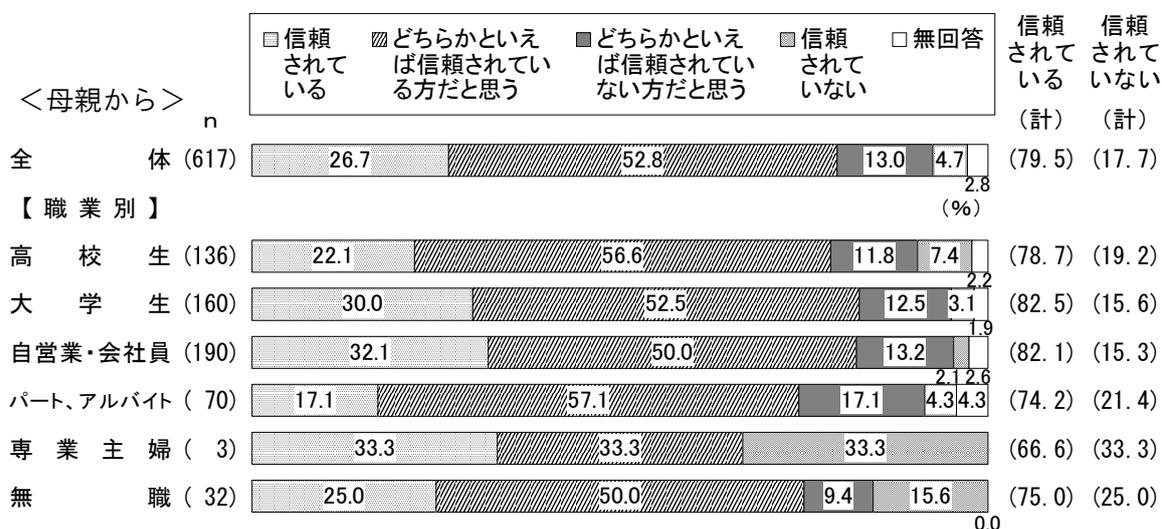
図表 1-2-2 親との信頼感<子どもから親へ> (職業別)



図表 1-2-3 親との信頼感<親から子どもへ> (職業別)

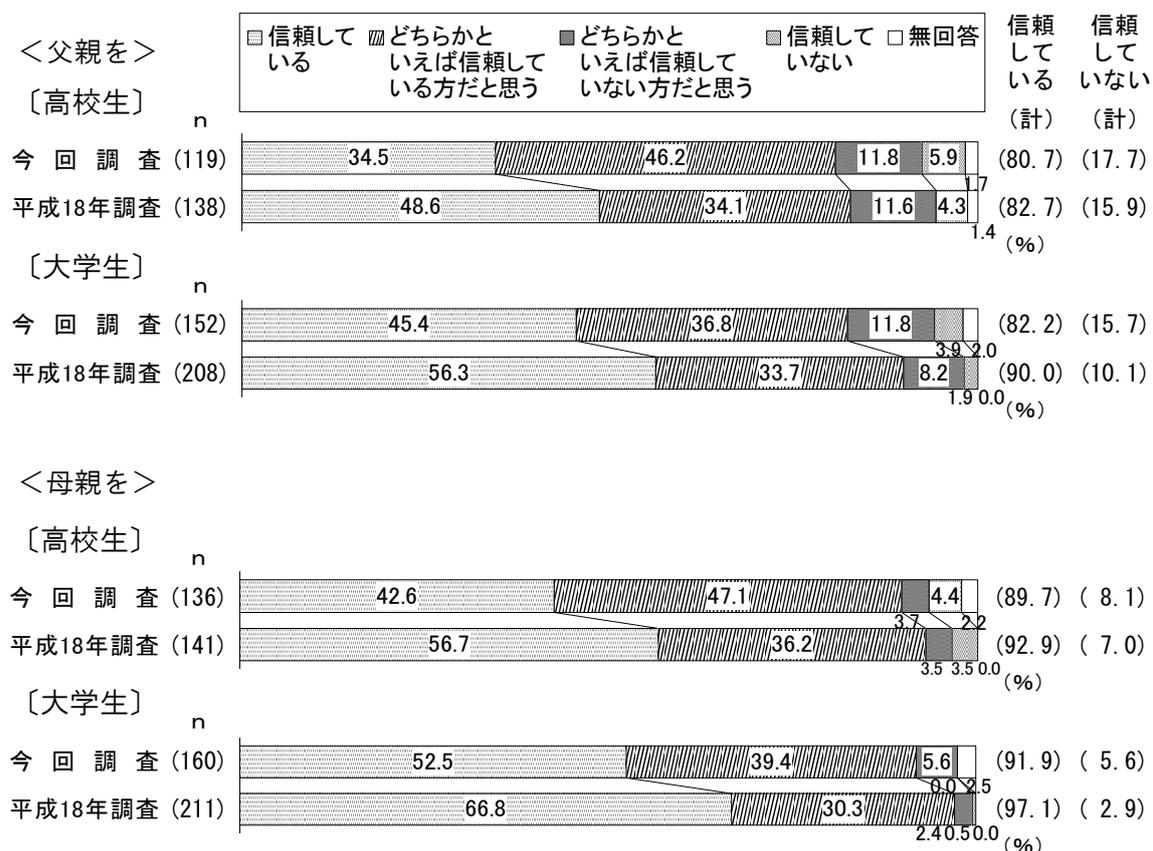


図表 1-2-4 親との信頼感<親から子どもへ> (職業別) (つづき)

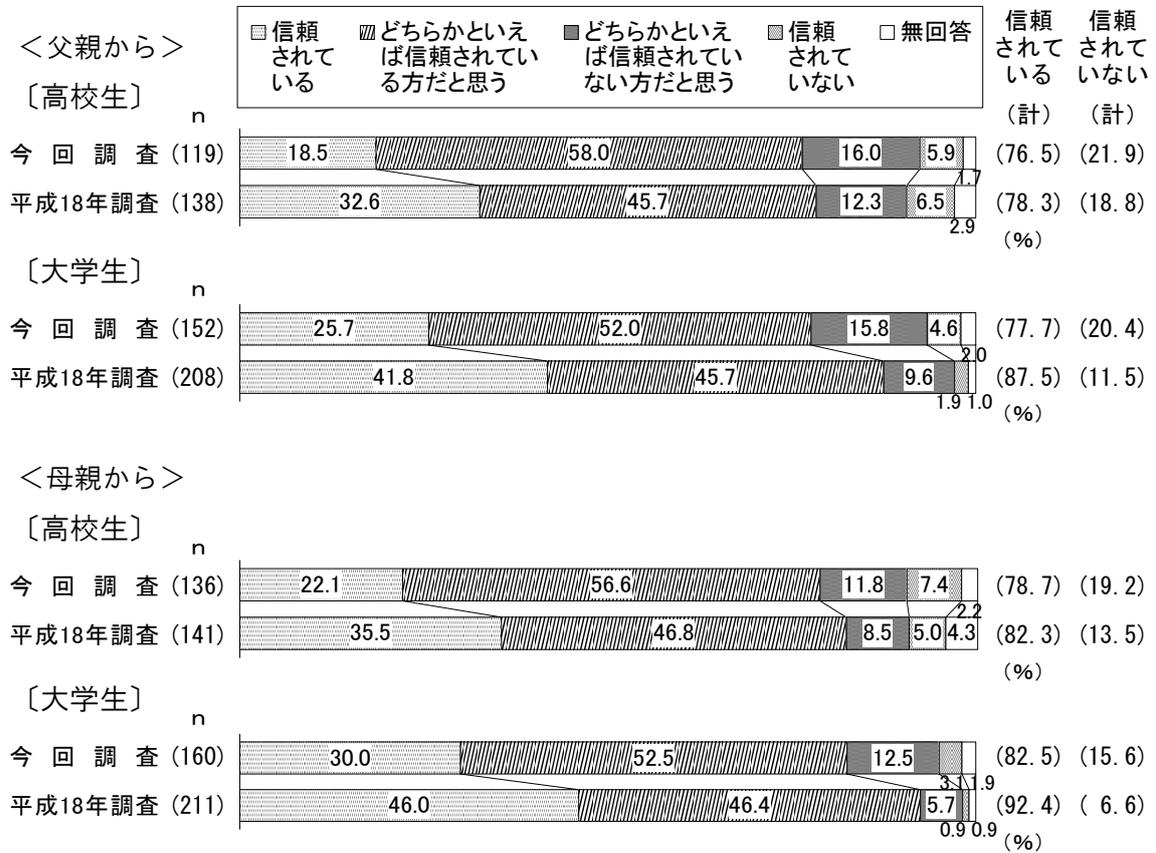


平成18年調査と比較すると、高校生、大学生ともに『信頼している (計)』、『信頼されている (計)』の割合は減少しており、特に大学生の『信頼している (計)』の割合は、父親で7.8ポイント、母親で5.2ポイント減少している。また、大学生の『信頼されている (計)』の割合についても、父親で9.8ポイント、母親で9.9ポイント減少している。(図表 1-2-5、図表 1-2-6)

図表 1-2-5 親との信頼感<子どもから親へ> (年代別経年比較)



図表 1-2-6 親との信頼感<親から子どもへ> (年代別経年比較)



(3) 親との会話

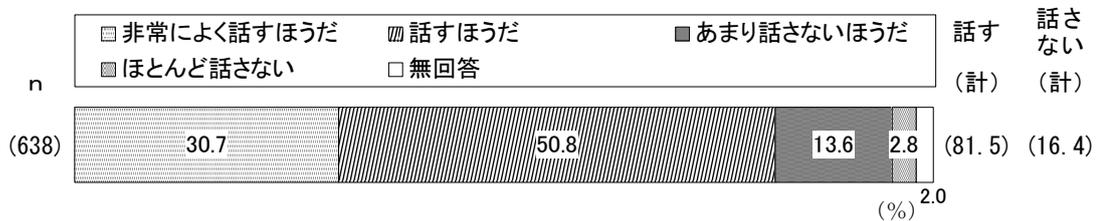
◇『話す（計）』は81.5%

(「父親」か「母親」と一緒に暮らしていると答えた人にうかがいます)

問13 あなたは、父親や母親とよく話をするほうですか、それとも話さないほうですか。次の中から1つ選んで○をしてください。(類似質問：満10歳～14歳23ページ参照)

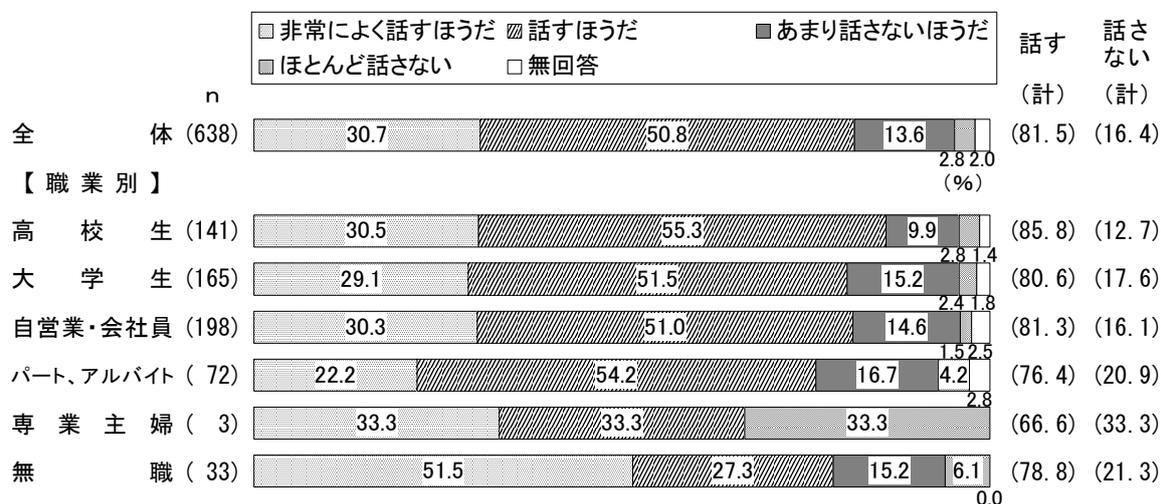
父親や母親とよく話をするか聞いたところ、「非常によく話すほうだ」(30.7%)と「話すほうだ」(50.8%)の2つを合わせた『話す(計)』が81.5%と多くなっている。(図表1-3-1)

図表 1-3-1



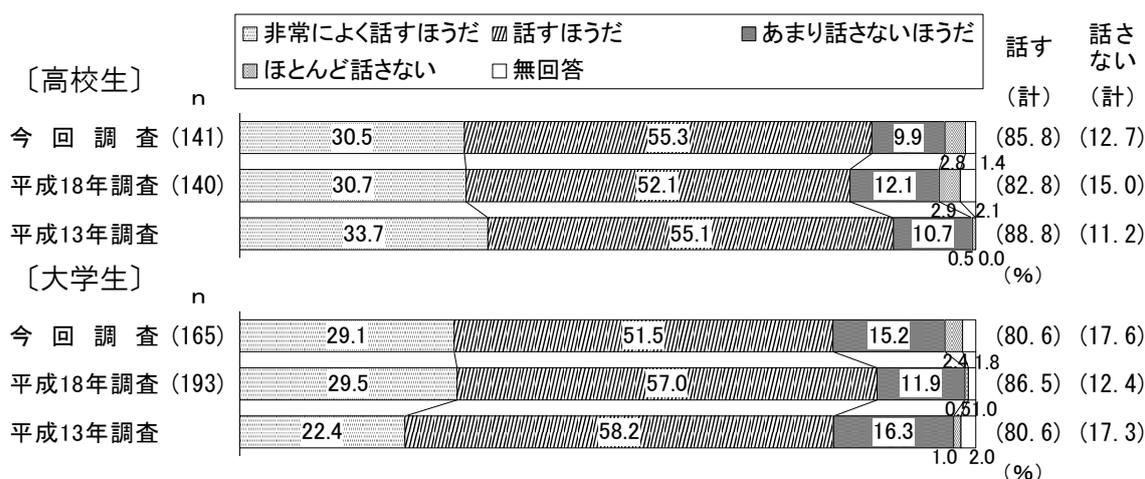
職業別にみると、『話す（計）』は高校生で85.8%と多くなっている。一方、『話さない（計）』は無職で21.3%と多くなっている。（図表1-3-2）

図表1-3-2 親との会話（職業別）



過去の調査結果と比較すると、平成18年調査より『話す（計）』は高校生で3.0ポイント増加し、大学生で5.9ポイント減少している。（図表1-3-3）

図表1-3-3 親との会話（年代別経年比較）



(3-1) 親との会話が少ない理由

◇「話をするのが面倒くさいから」が21.9%

(問13で「あまり話さないほうだ」か「ほとんど話さない」に○をした人にうかがいます)

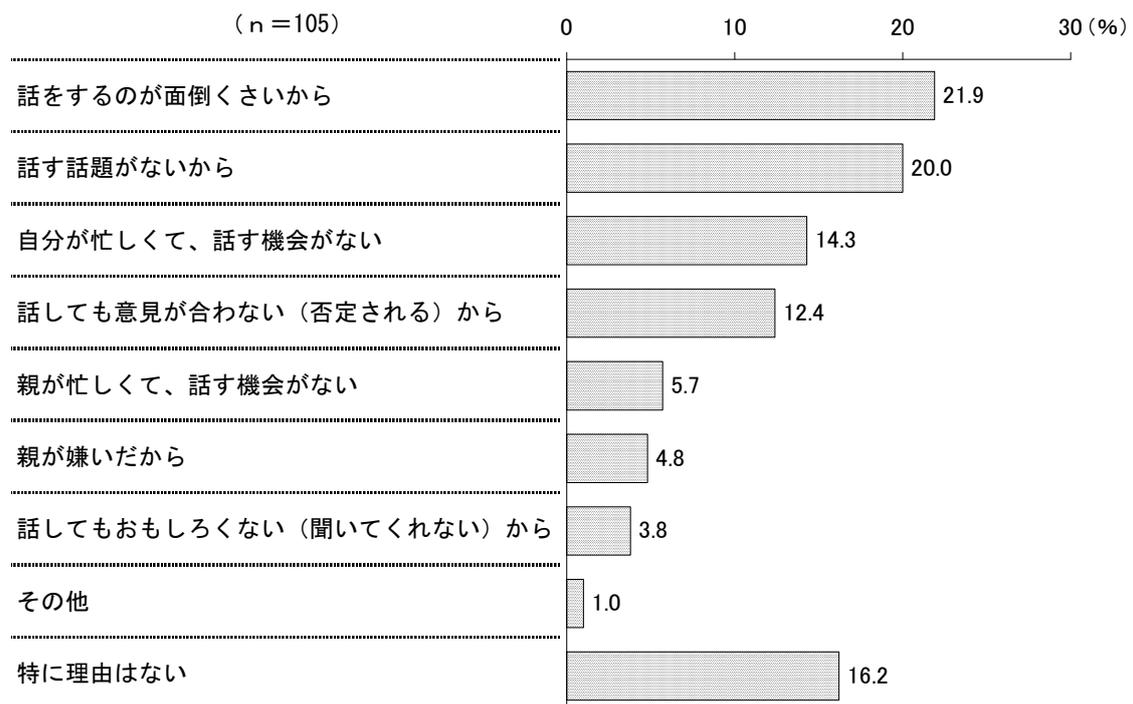
問14 あなたが父親や母親とあまり話さなかつたり、ほとんど話さなかつたりする理由は何ですか。次の中から1つ選んで○をしてください。

(類似質問：満10歳～14歳24ページ参照)

父親や母親と「あまり話さないほうだ」「ほとんど話さない」と答えた人に、その理由を聞いたところ、「話をするのが面倒くさいから」が21.9%で最も多く、次いで「話す話題がないから」(20.0%)、「自分が忙しくて、話す機会がない」(14.3%)、「話しても意見が合わない(否定される)から」(12.4%)、「親が忙しくて、話す機会がない」(5.7%)などの順となっている。

(図表1-3-4)

図表1-3-4



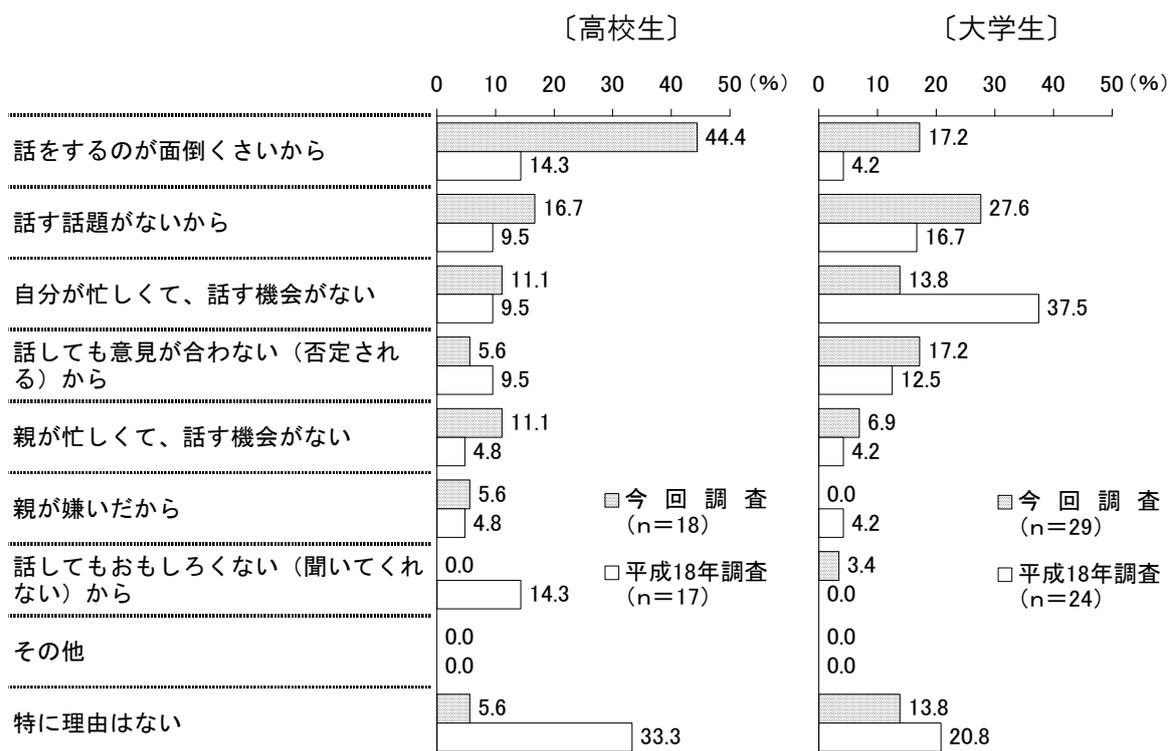
職業別にみると、「話をするのが面倒くさいから」は高校生で44.4%と多く、「自分が忙しくて、話す機会がない」は自営業・会社員で18.8%と多くなっている。(図表1-3-5)

平成18年調査との比較については、母数が少ないため参考にとどまる。(図表1-3-6)

図表1-3-5 親との会話が少ない理由(職業別)



図表1-3-6 親との会話が少ない理由(年代別経年比較)



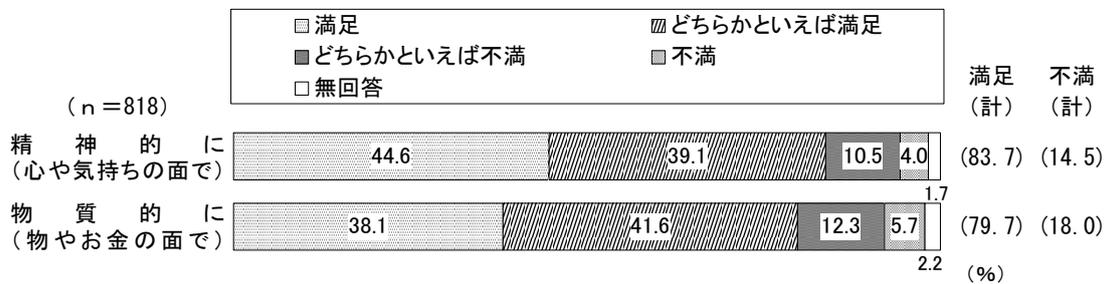
(4) 家庭・家族の満足度

◇<精神的に>と<物質的に>いずれも『満足(計)』は8割前後

問15 あなたは家庭や家族のことで満足していますか。「精神的に」「物質的に」のそれぞれについて、1つ選んで○をしてください。
(類似質問：満10歳～14歳30ページ、保護者232ページ参照)

家族や家庭のことで満足しているか聞いたところ、「満足」と「どちらかといえば満足」の2つを合わせた『満足(計)』の割合は、<精神的に(心や気持ちの面で)>(83.7%)、<物質的に(物やお金の面で)>(79.7%)の両面ともに8割前後と高くなっている。(図表1-4-1)

図表1-4-1



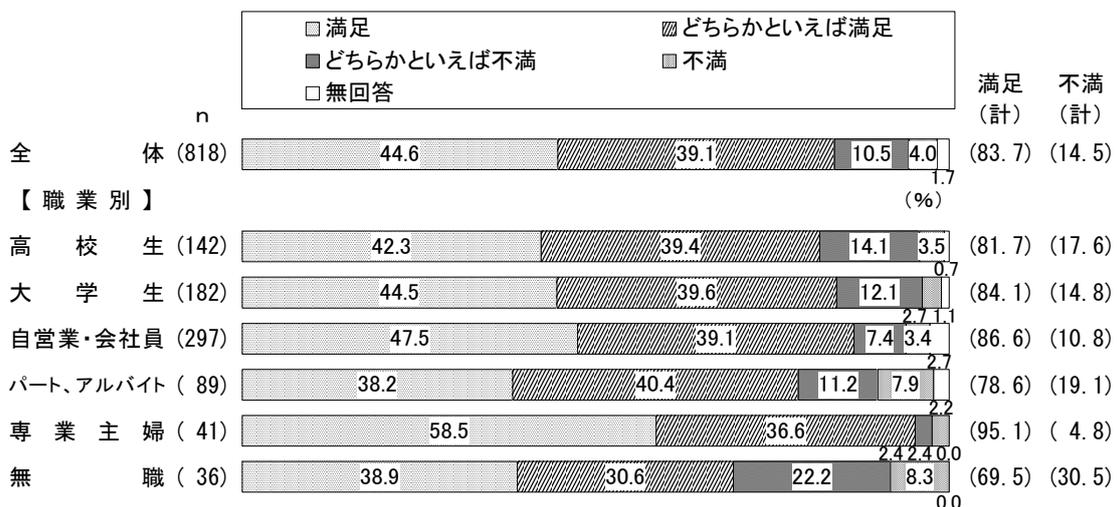
職業別にみると、<精神的に(心や気持ちの面で)>は、『満足(計)』の割合は専業主婦が95.1%で最も多くなっている。(図表1-4-2)

<物質的に(物やお金の面で)>でも、『満足(計)』の割合は専業主婦が85.4%で最も多くなっている。(図表1-4-3)

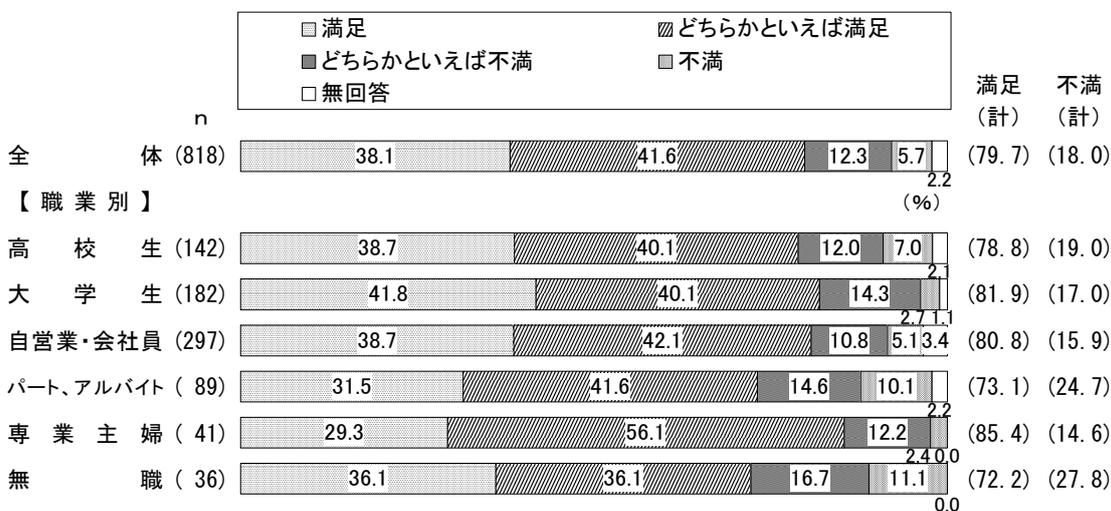
また、過去の調査との比較は、今回調査では「どちらともいえない」の選択肢を省いているため参考にとどまるが、『満足(計)』の割合は高校生、大学生ともに、<精神的に(心や気持ちの面で)>、<物質的に(物やお金の面で)>の両面で増加している。

(図表1-4-4、図表1-4-5)

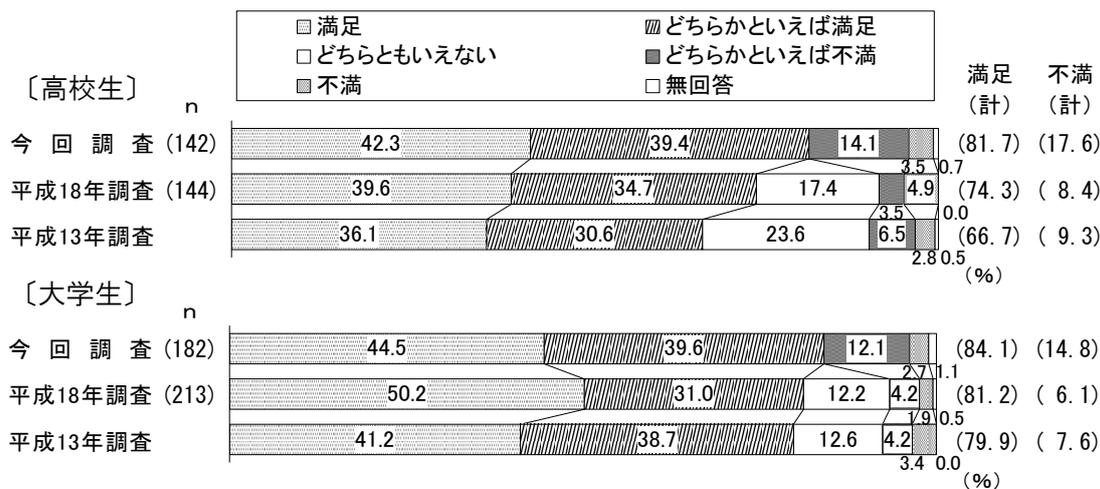
図表1-4-2 家庭・家族の満足度<精神的に(心や気持ちの面で)>(職業別)



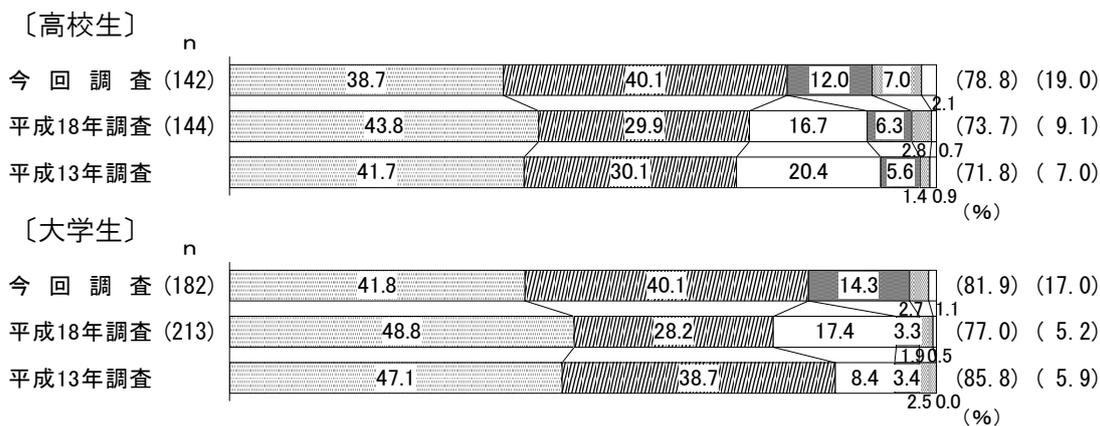
図表 1-4-3 家庭・家族の満足度＜物質的に（物やお金の面で）＞（職業別）



図表 1-4-4 家庭・家族の満足度＜精神的に（心や気持ちの面で）＞（年代別経年変化）



図表 1-4-5 家庭・家族の満足度＜物質的に（物やお金の面で）＞（年代別経年変化）



(5) おこづかいの額

◇ 「5,000円～7,000円未満」が29.0%、「3,000円～5,000円未満」が21.4%

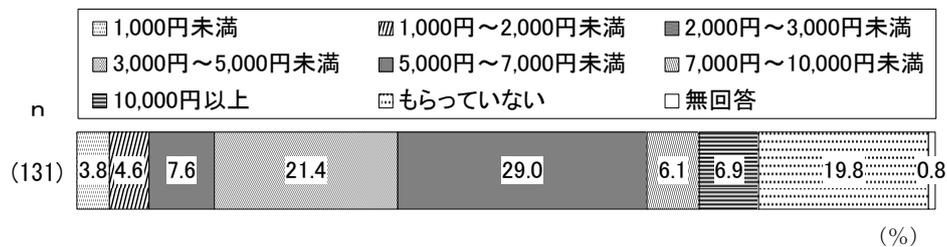
(18歳未満の方にうかがいます)

問16 あなたは、1か月におこづかいをいくら（決まっていない場合は1か月の平均金額）もらっていますか。次の中から1つ選んで○をしてください。

(類似質問：満10歳～14歳26ページ参照)

1か月におこづかいをいくらもらっているか聞いたところ、「5,000円～7,000円未満」が29.0%、「3,000円～5,000円未満」が21.4%、「もらっていない」が19.8%となっている。次いで「2,000円～3,000円未満」が7.6%、「10,000円以上」が6.9%などとなっている。(図表1-5-1)

図表1-5-1



(6) おこづかいの額の満足度

◇『満足(計)』は67.1%

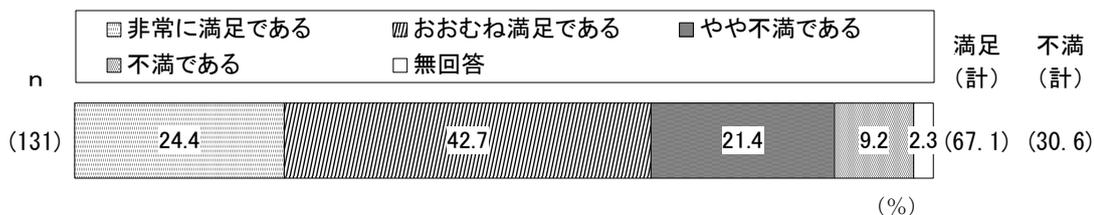
(18歳未満の方にうかがいます)

問17 あなたは今のおこづかいの金額をどのように感じていますか。

(類似質問：満10歳～14歳27ページ参照)

今のおこづかいの金額をどのように感じているか聞いたところ、「非常に満足である」(24.4%)と「おおむね満足である」(42.7%)の2つを合わせた『満足(計)』が67.1%となっている。「やや不満である」(21.4%)と「不満である」(9.2%)の2つを合わせた『不満(計)』は30.6%である。(図表1-6-1)

図表1-6-1



(7) 家庭での不満や不安

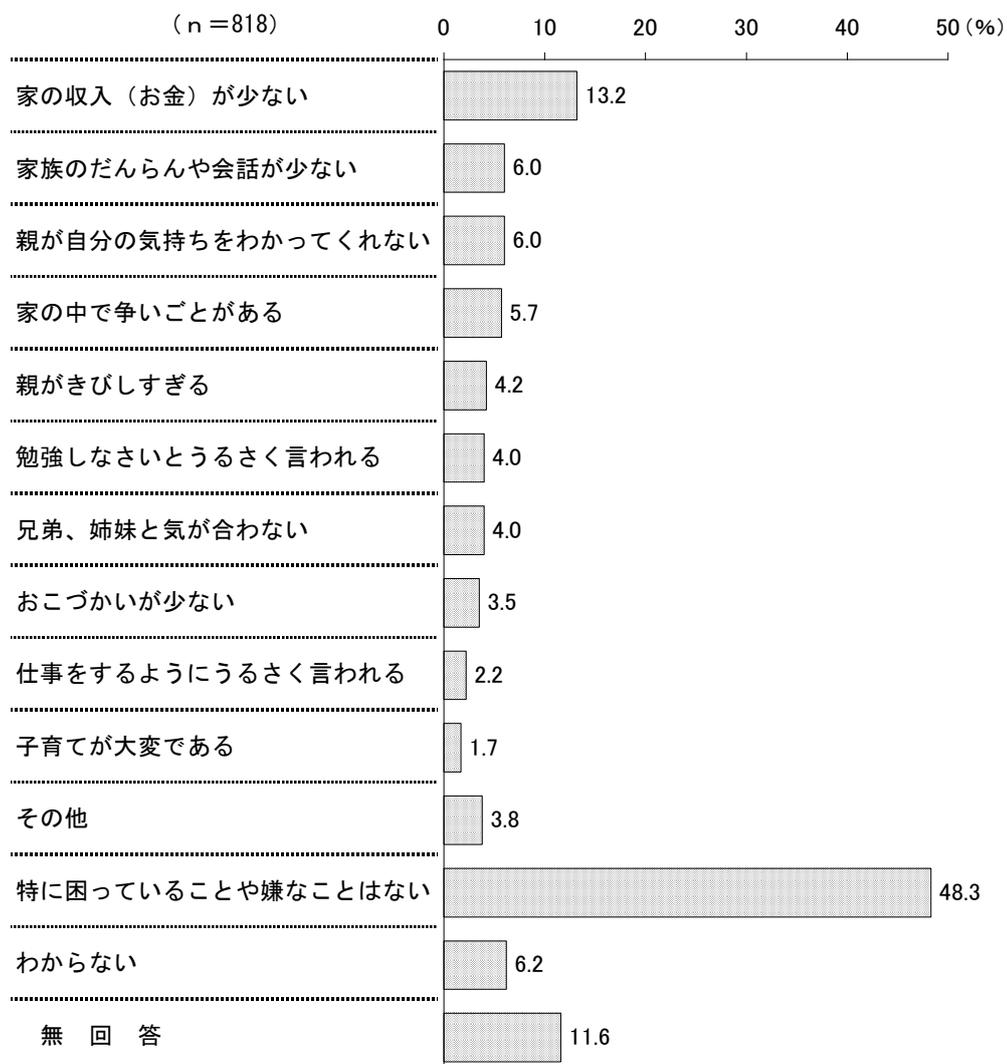
◇「家の収入（お金）が少ない」が13.2%、「特に困っていることや嫌なことはない」は48.3%

問18 あなたは、あなたの家のことで何か困っていることやいやなことがありますか。次の中で、あてはまるものすべてに○をしてください。

(類似質問：満10歳～14歳32ページ参照)

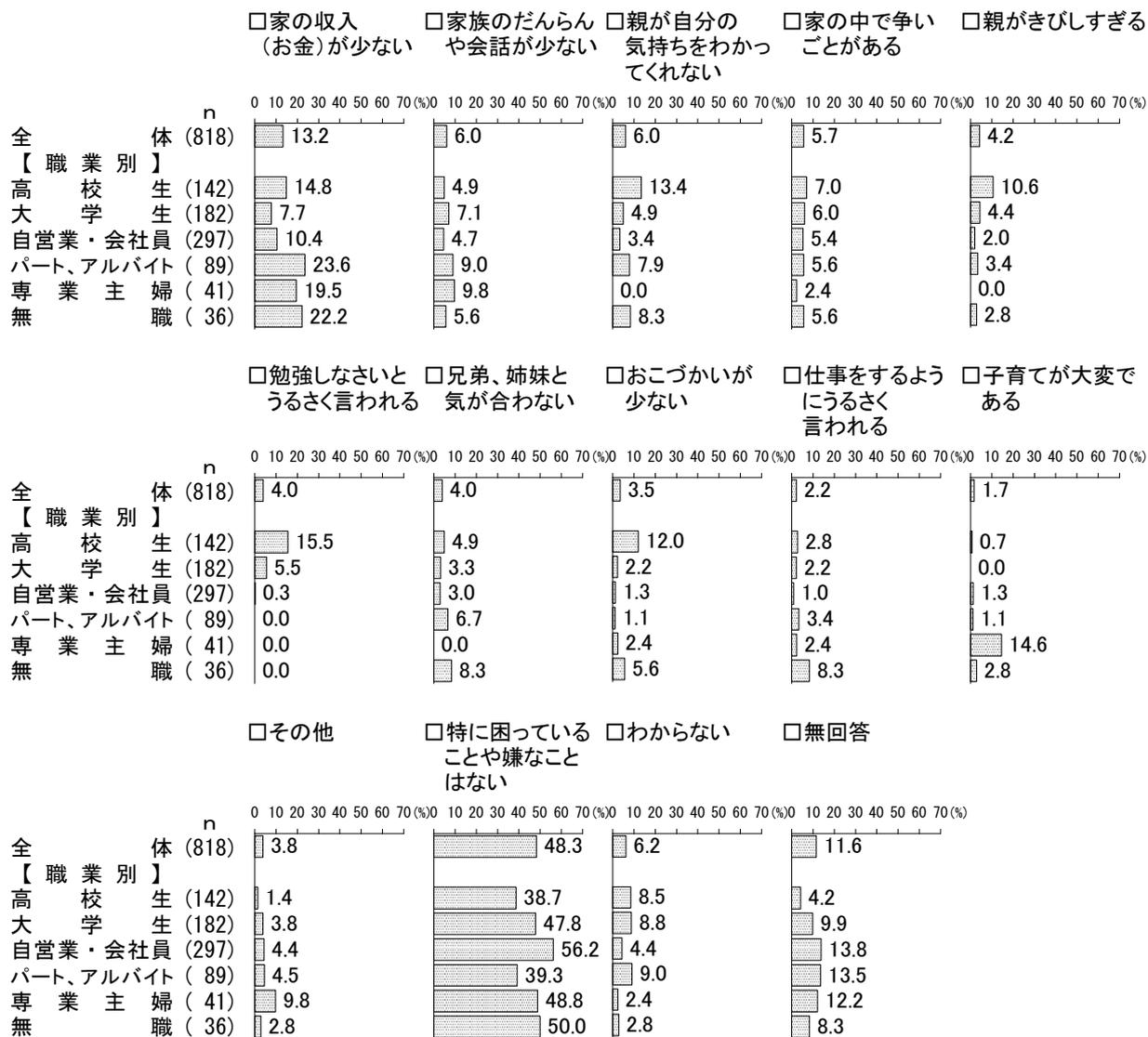
家のことで困っていることやいやなことは何か聞いたところ、「家の収入（お金）が少ない」が13.2%で最も多く、次いで「家族のだんらんや会話が少ない」、「親が自分の気持ちをわかってくれない」（ともに6.0%）、「家の中で争いごとがある」（5.7%）などの順となっている。「特に困っていることや嫌なことはない」は48.3%である。（図表1-7-1）

図表1-7-1



職業別にみると、高校生で割合が他の職業と比べて多いのは、「勉強しなさいとうるさく言われる」(15.5%)、「親が自分の気持ちをわかってくれない」(13.4%)、「おこづかいが少ない」(12.0%)、「親がきびしすぎる」(10.6%) となっている。また、「家の収入(お金)が少ない」はパート、アルバイトが23.6%と最も多くなっている。(図表1-7-2)

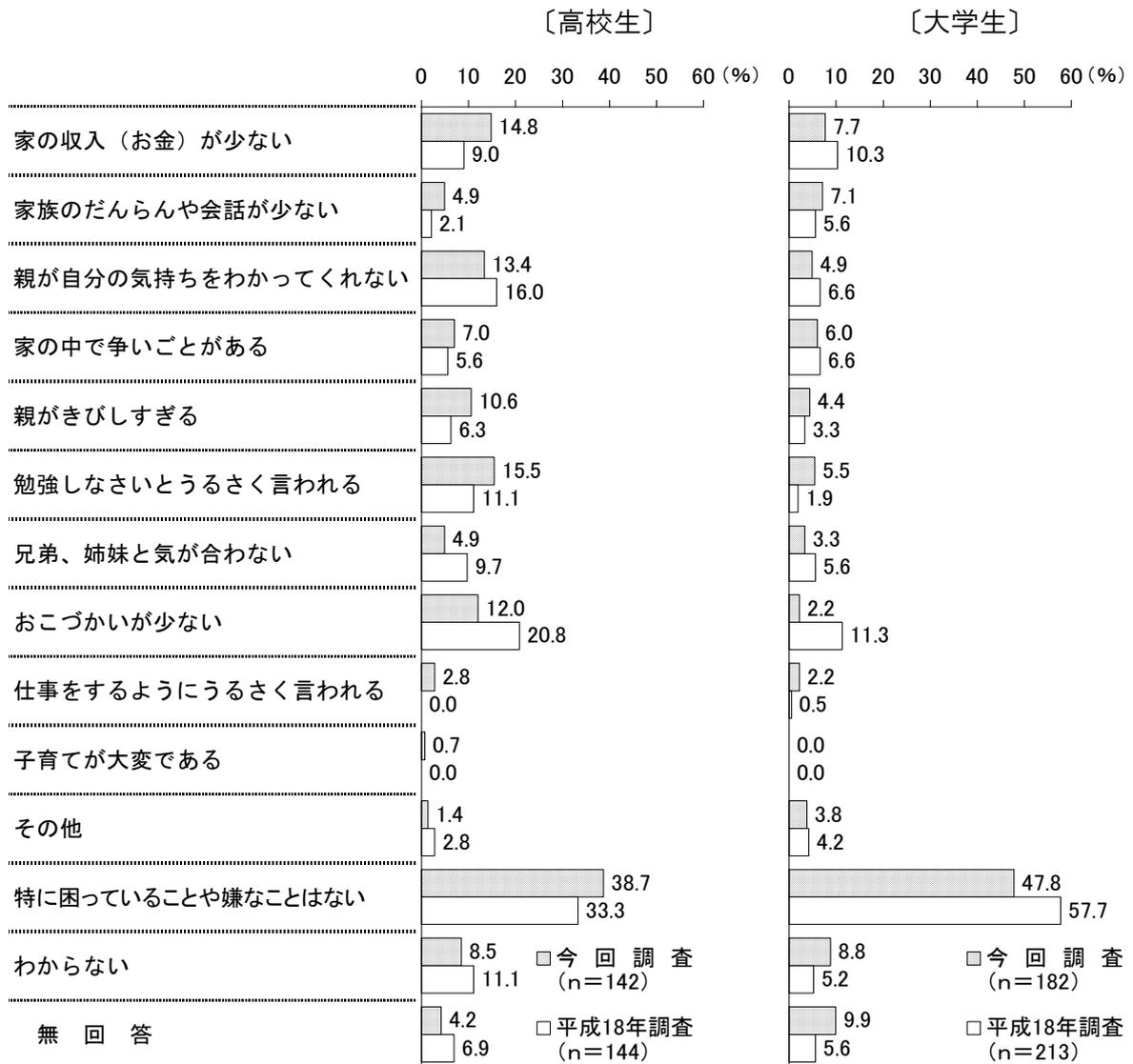
図表1-7-2 家庭での不満や不安(職業別)



平成18年調査と比較すると、「家の収入（お金）が少ない」は高校生で5.8ポイント増加している。「勉強しなさいとうるさく言われる」は高校生で4.4ポイント、大学生で3.6ポイント増加している。一方、「おこづかいが少ない」は大学生で9.1ポイント、高校生で8.8ポイント減少している。「兄弟、姉妹と気が合わない」は高校生で4.8ポイント、大学生で2.3ポイント減少している。

(図表1-7-3)

図表1-7-3 家庭での不満や不安（年代別経年比較）



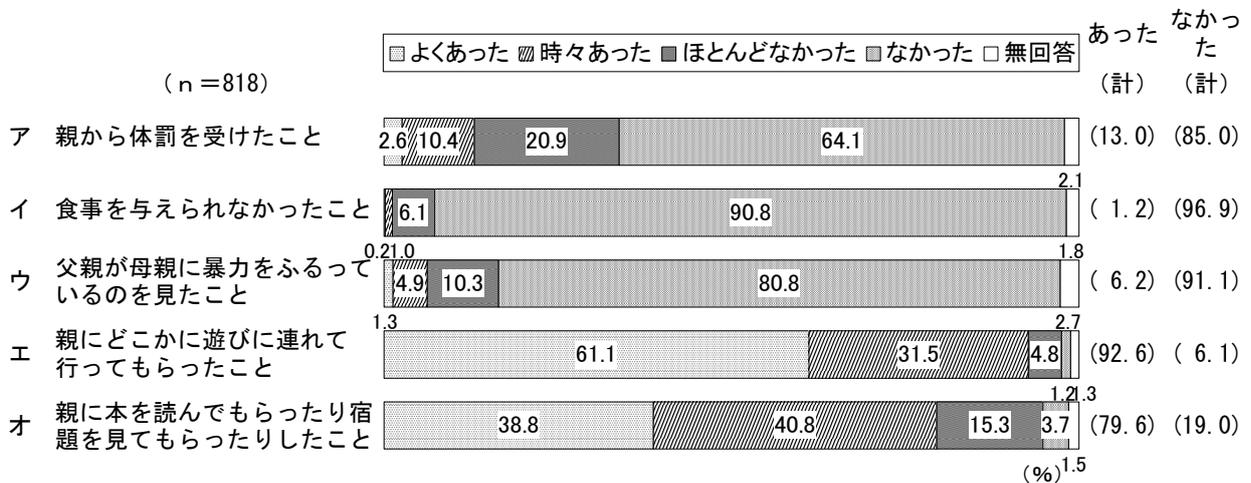
(8) 子どものころの家庭生活

◇『あった (計)』は<親にどこかに遊びに連れて行ってもらったこと>が92.6%

問19 あなたには、子どもの頃、次のことがありましたか。アからオのそれぞれについて、1つ選んで○をつけてください。(類似質問：保護者259ページ参照)

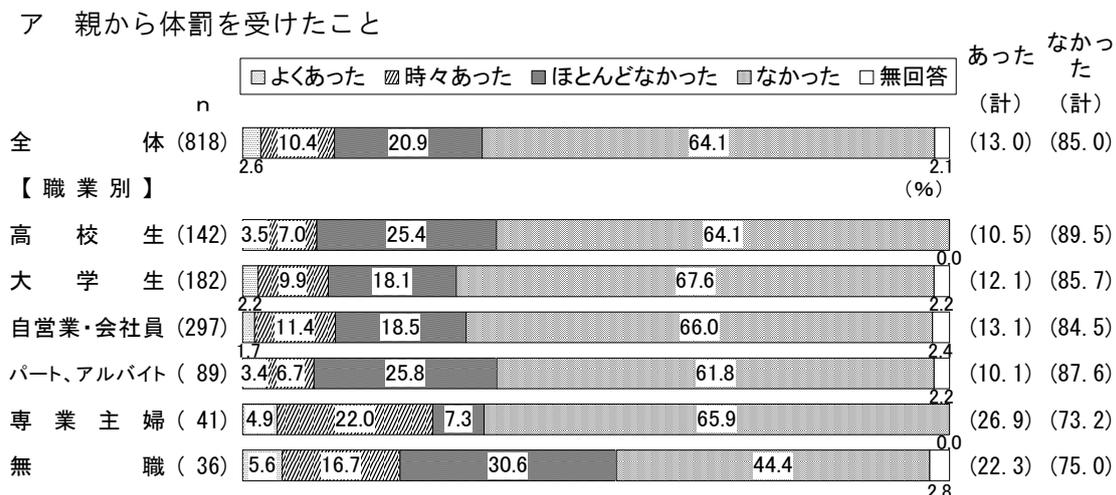
子どものころの家庭生活について、5項目に分けて聞いたところ、「よくあった」と「時々あった」の2つを合わせた『あった (計)』は、<エ 親にどこかに遊びに連れて行ってもらったこと>で92.6%、<オ 親に本を読んでもらったり宿題を見てもらったりしたこと>で79.6%となっている。(図表1-8-1)

図表1-8-1



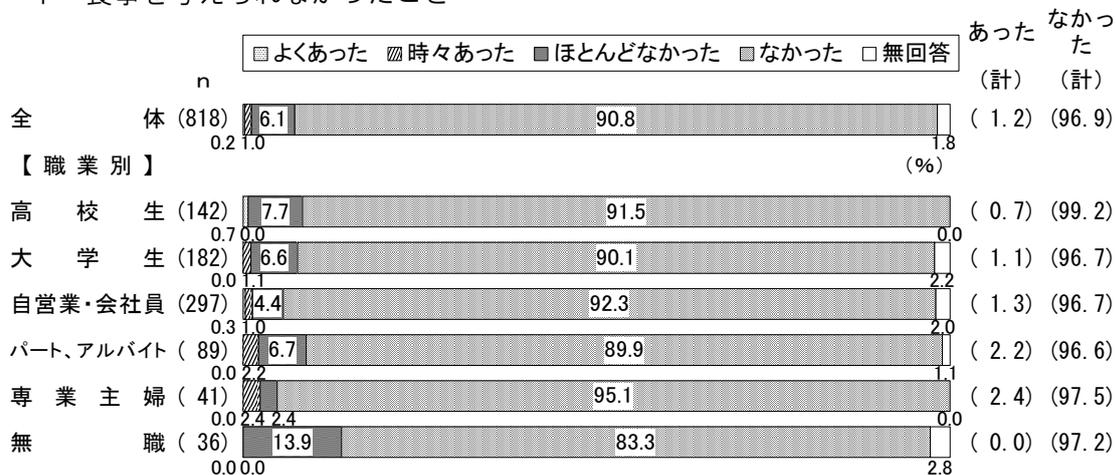
職業別にみると、専業主婦で『あった (計)』の割合が多いのは、<ア 親から体罰を受けたこと>、<ウ 父親が母親に暴力をふるっているのを見たこと>、<オ 親に本を読んでもらったり宿題を見てもらったりしたこと>の3項目で、特に<オ 親に本を読んでもらったり宿題を見てもらったりしたこと>は90.2%と多くなっている。(図表1-8-2～図表1-8-4)

図表1-8-2 子どものころの家庭生活 (職業別)

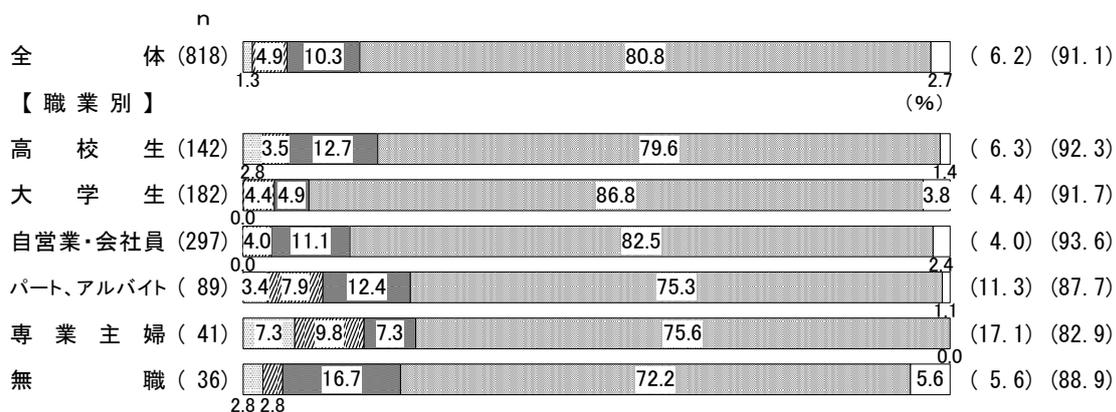


図表 1-8-3 子どものころの家庭生活（職業別）（つづき）

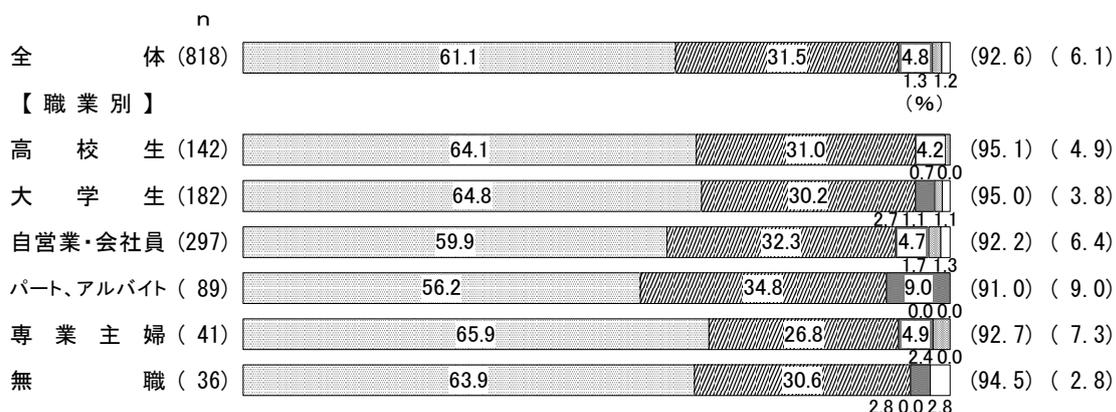
イ 食事を与えられなかったこと



ウ 父親が母親に暴力をふるっているのを見たこと

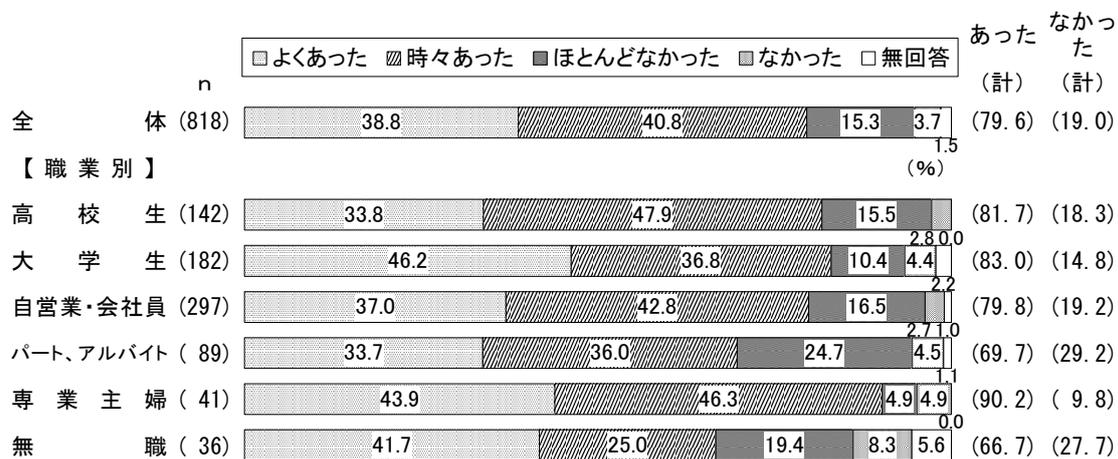


エ 親にどこかに遊びに連れて行ってもらったこと



図表 1-8-4 子どものころの家庭生活（職業別）（つづき）

オ 親に本を読んでもらったり宿題を見てもらったりしたこと



2 学校生活などについて

(1) 学校に通う理由

◇「友人や仲間を得るため」が75.6%

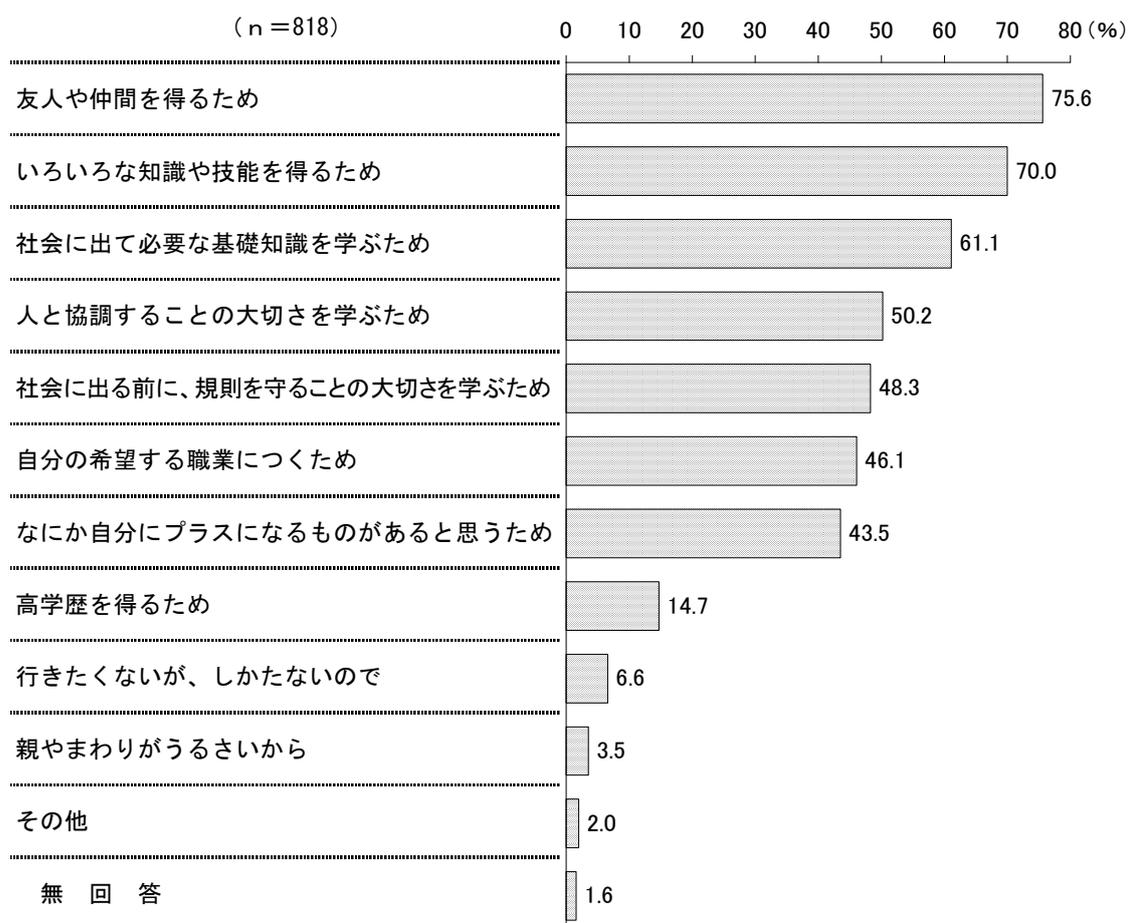
(学校に通っていない方も、お答えをお願いいたします)

問20 あなたは、学校に通うのは何のためだと思いますか。次の中からあてはまるものすべてに○をしてください。

学校に通うのは何のためだと思うか聞いたところ、「友人や仲間を得るため」が75.6%で最も多く、次いで「いろいろな知識や技能を得るため」(70.0%)、「社会に出て必要な基礎知識を学ぶため」(61.1%)、「人と協調することの大切さを学ぶため」(50.2%)などの順となっている。

(図表2-1-1)

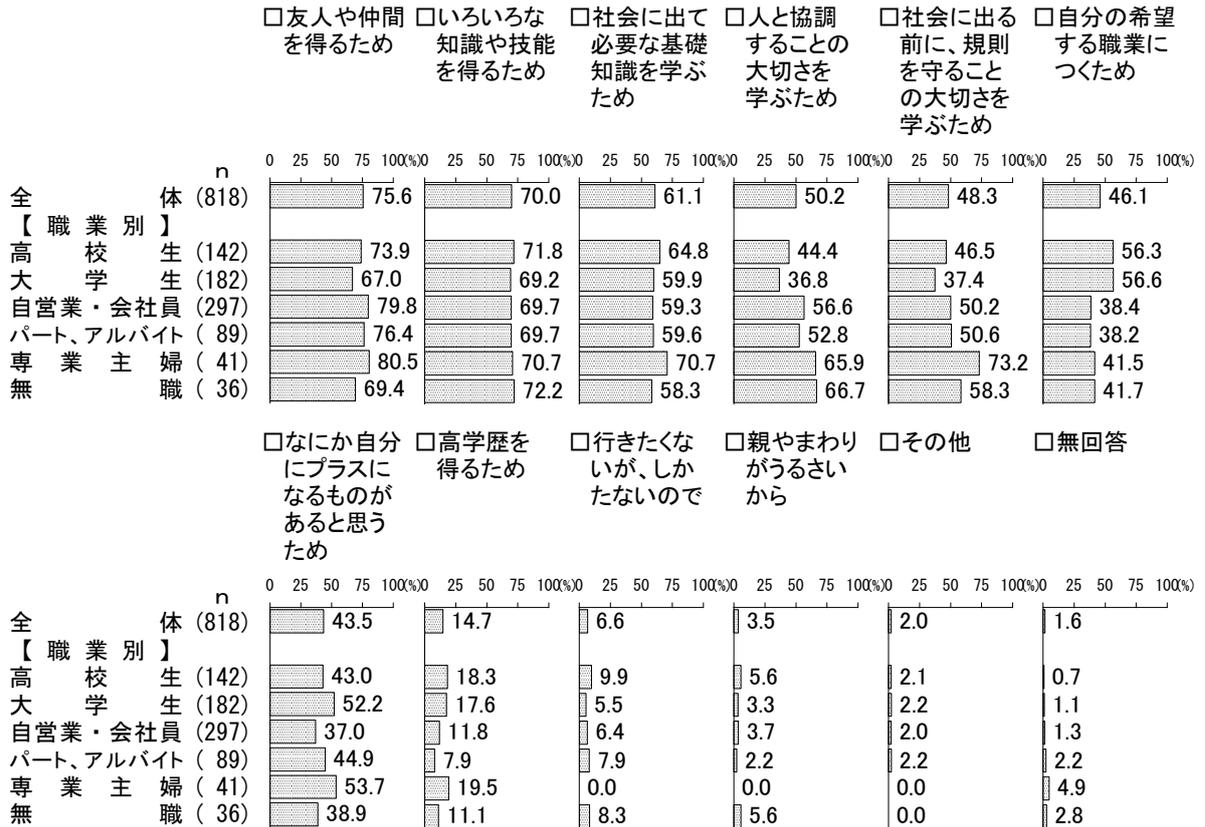
図表2-1-1



職業別にみると、「友人や仲間を得るため」、「社会に出て必要な基礎知識を学ぶため」、「社会に出る前に、規則を守ることの大切さを学ぶため」は専業主婦で7割以上と最も多くなっている。「自分の希望する職業につくため」は高校生、大学生で5割台と多くなっている。

(図表2-1-2)

図表2-1-2 学校に通う理由（職業別）

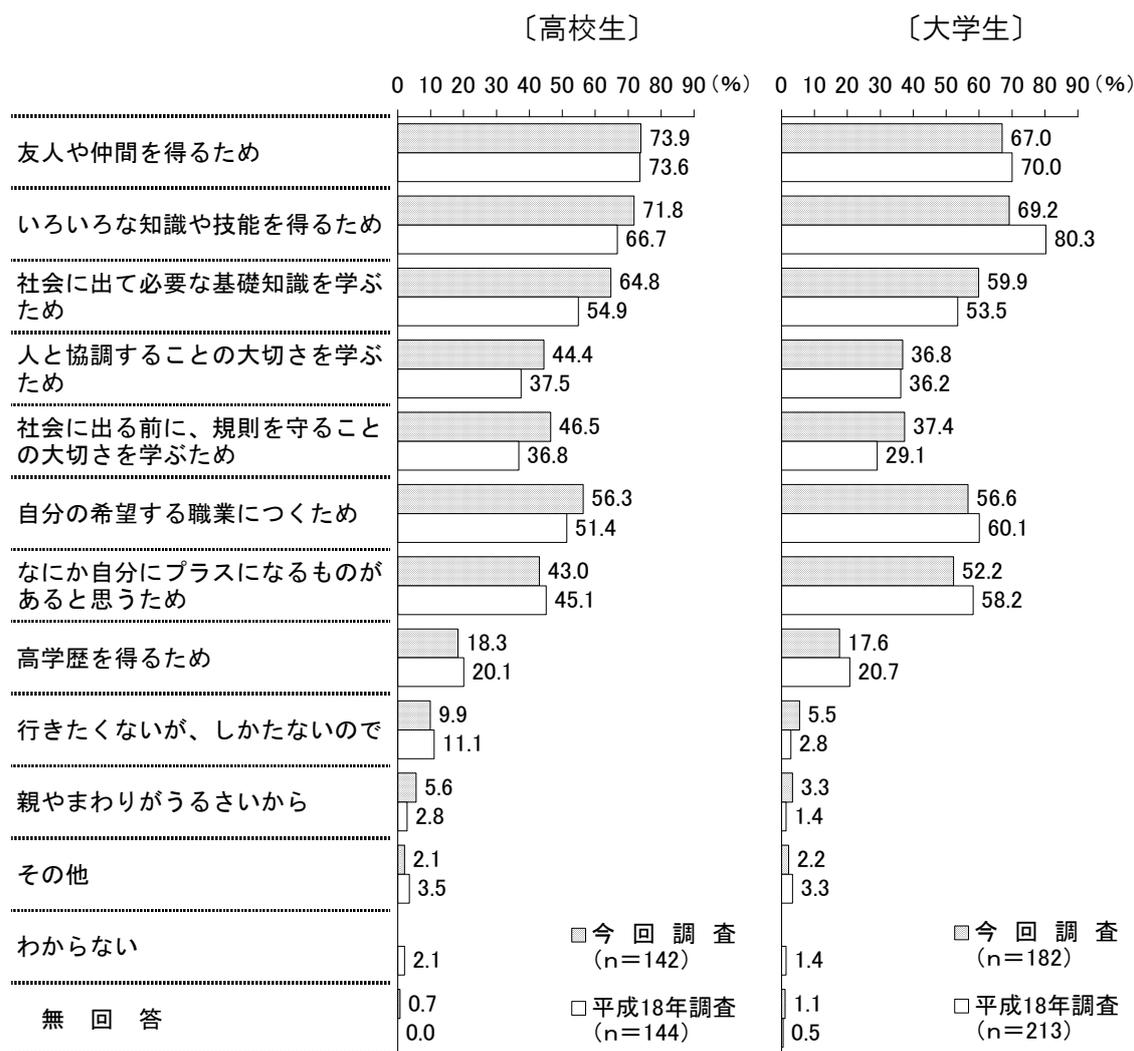


平成18年調査と比較すると、「社会に出て必要な基礎知識を学ぶため」は高校生で9.9ポイント、大学生で6.4ポイント増加している。「社会に出る前に、規則を守ることの大切さを学ぶため」は高校生で9.7ポイント、大学生で8.3ポイント増加している。

一方、「いろいろな知識や技能を得るため」は大学生で11.1ポイント減少している。

(図表2-1-3)

図表2-1-3 学校に通う理由 (年代別経年比較)



(注) 「わからない」の選択肢は今回調査では省いている。

(2) 学校生活の満足度

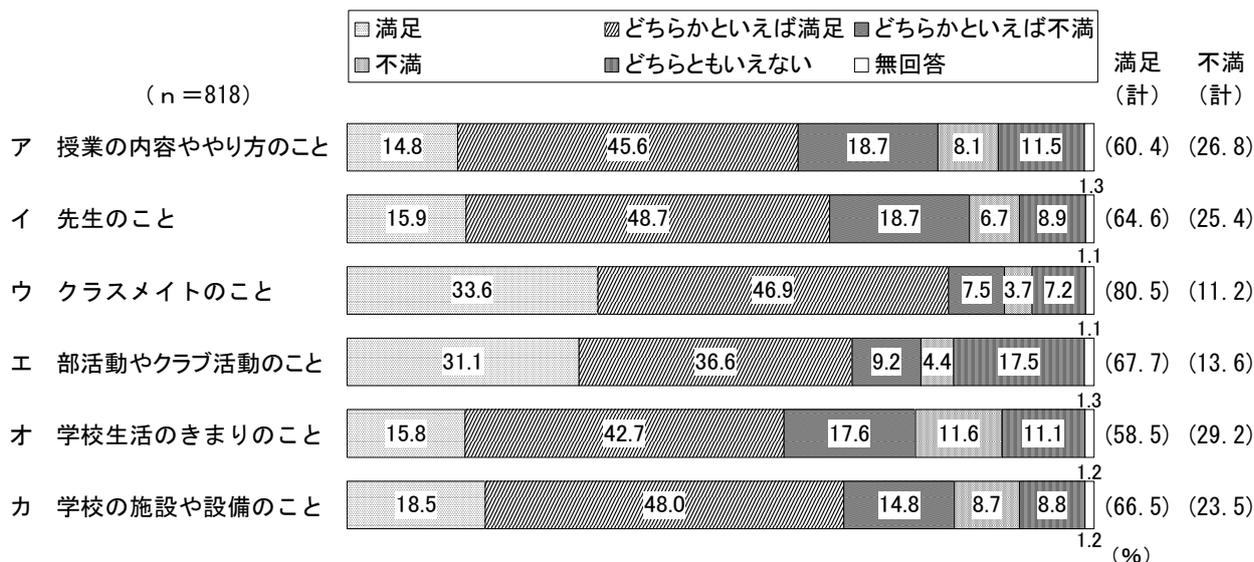
◇『満足（計）』は<ウ クラスメイトのこと>が80.5%

(すべての人がお答えください)

問21 あなたは、学校での生活に満足していますか。(満足していましたか。) それぞれについて、1つ選んで○をしてください。(類似質問：満10歳～14歳36ページ参照)

学校での生活に満足しているか、6項目に分けて聞いたところ、「満足」と「どちらかといえば満足」の2つを合わせた『満足（計）』は、<ウ クラスメイトのこと> (80.5%) が最も多く、次いで<エ 部活動やクラブ活動のこと> (67.7%)、<カ 学校の施設や設備のこと> (66.5%) などの順となっている。(図表2-2-1)

図表2-2-1



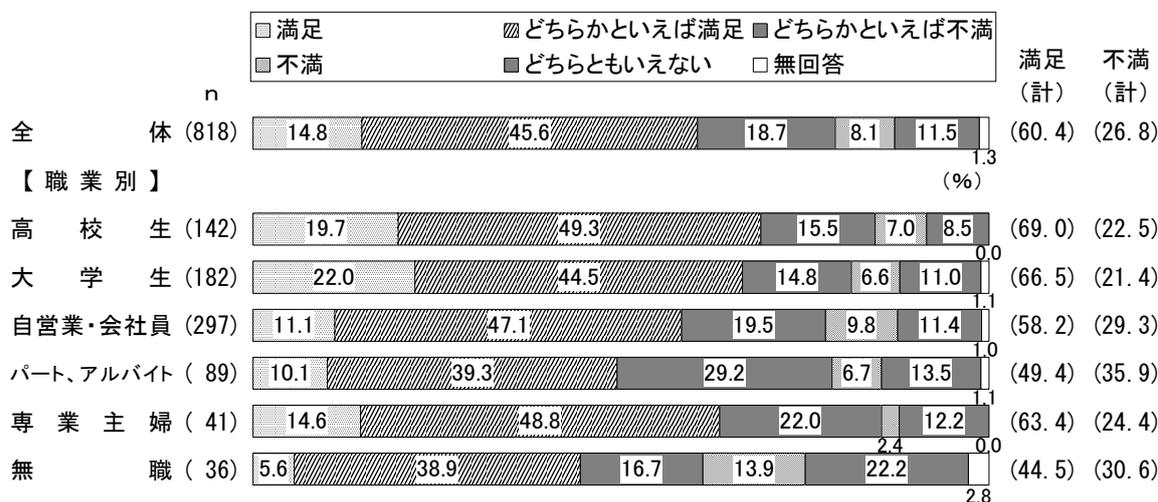
職業別にみると、『満足（計）』は<ウ クラスメイトのこと>でパート、アルバイトが83.1%で最も多く、次いで大学生が83.0%、専業主婦が82.9%と多くなっており、<イ 先生のこと>では高校生が70.4%、大学生が70.3%と多くなっている。(図表2-2-2、2-2-3)

平成18年調査と比較すると、ほとんどの項目で高校生、大学生ともに『満足（計）』の割合が増加しており、特に<イ 先生のこと>では、高校生で19.0ポイント、大学生10.2ポイント増加している。一方、ほとんどの項目で高校生、大学生ともに『不満（計）』の割合は減少しているが、<オ 学校生活のきまりのこと>では大学生が2.6ポイント増加している。

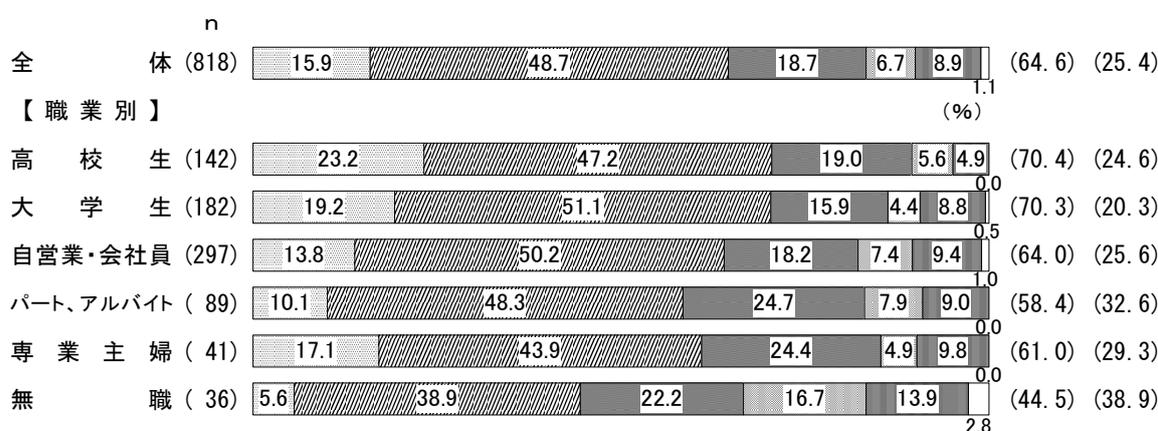
(図表2-2-4、2-2-5)

図表 2-2-2 学校生活の満足度（職業別）

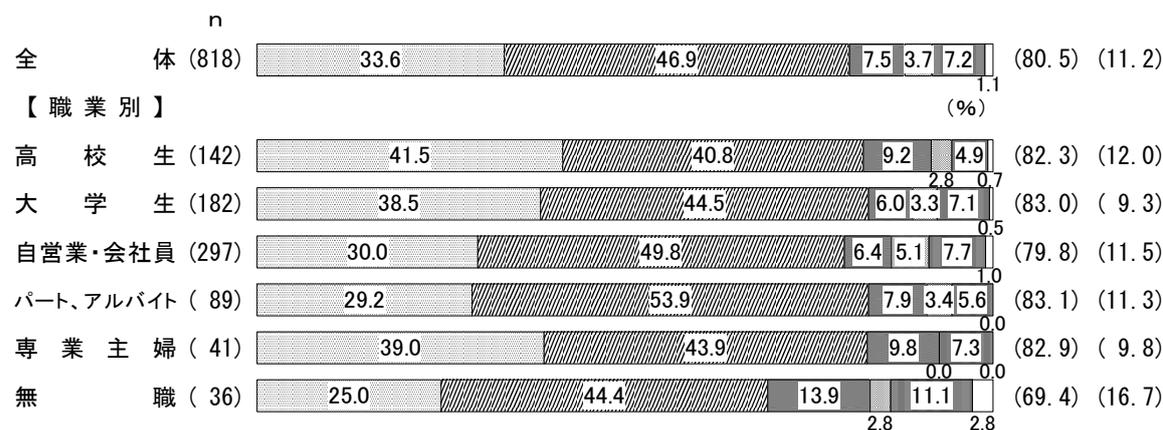
ア 授業の内容ややり方のこと



イ 先生のこと

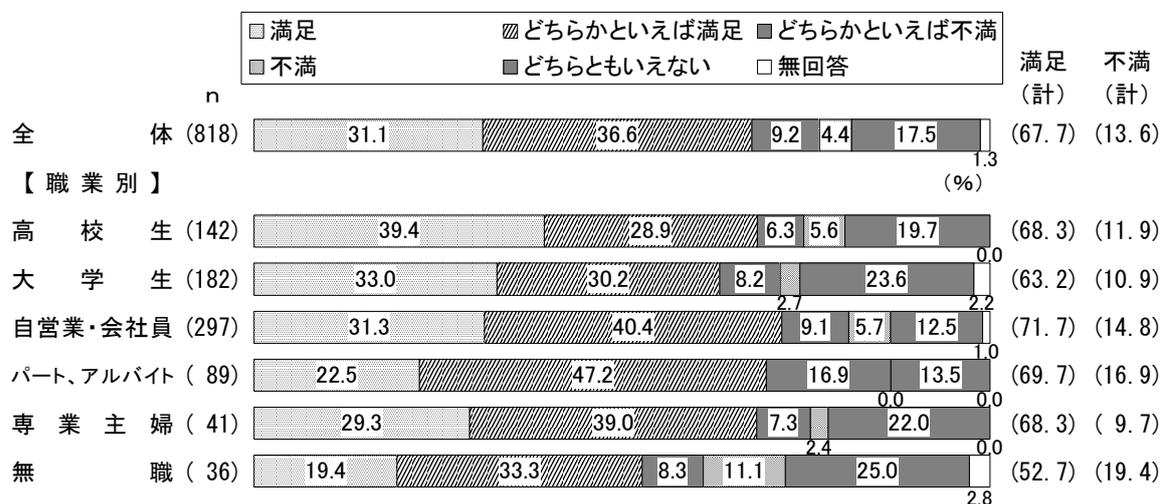


ウ クラスメイトのこと

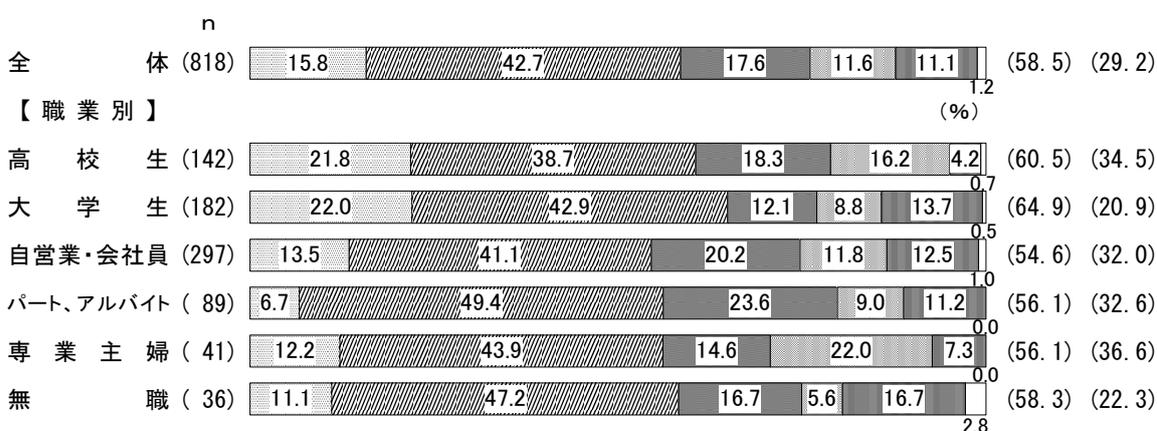


図表 2-2-3 学校生活の満足度（職業別）（つづき）

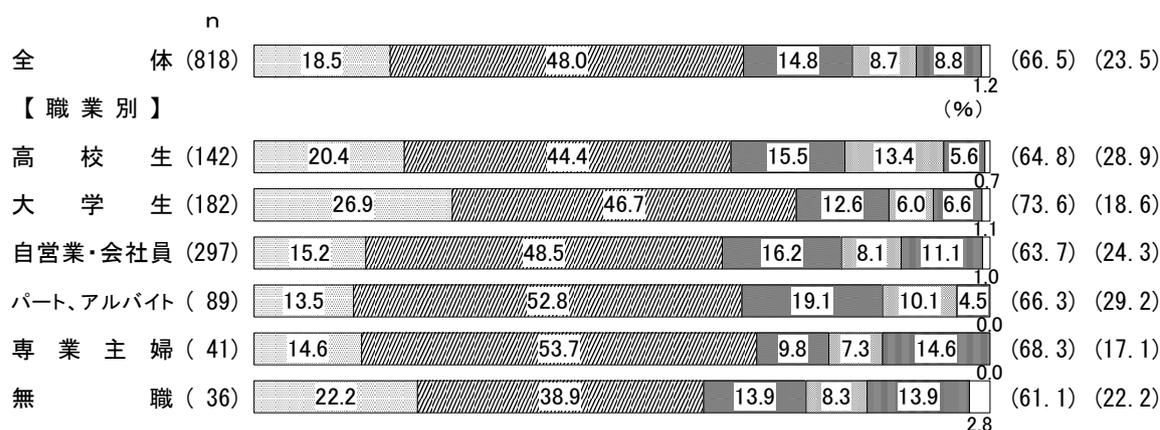
エ 部活動やクラブ活動のこと



オ 学校生活のきまりのこと

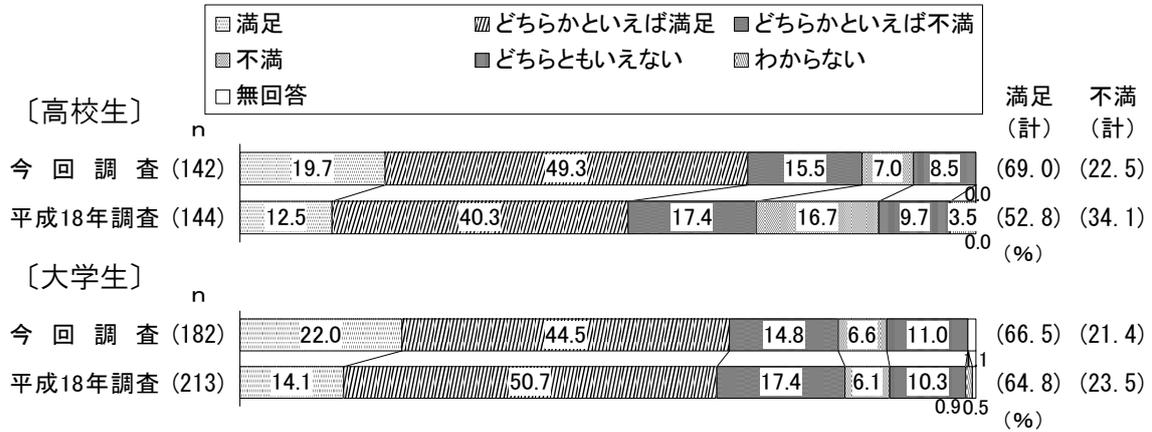


カ 学校の施設や設備のこと

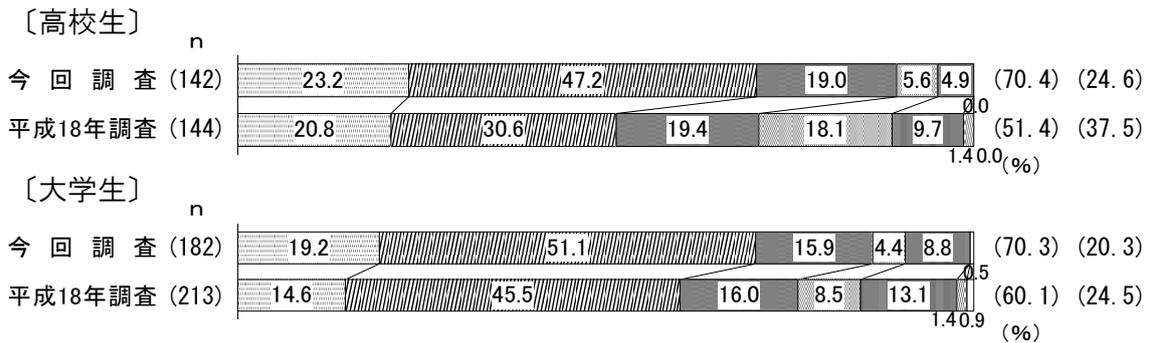


図表 2-2-4 学校生活の満足度（年代別経年比較）

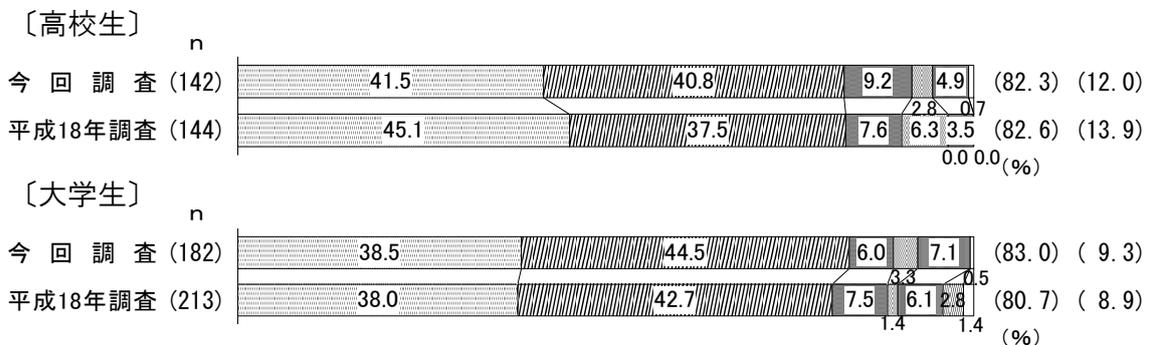
ア 授業の内容ややり方のこと



イ 先生のこと

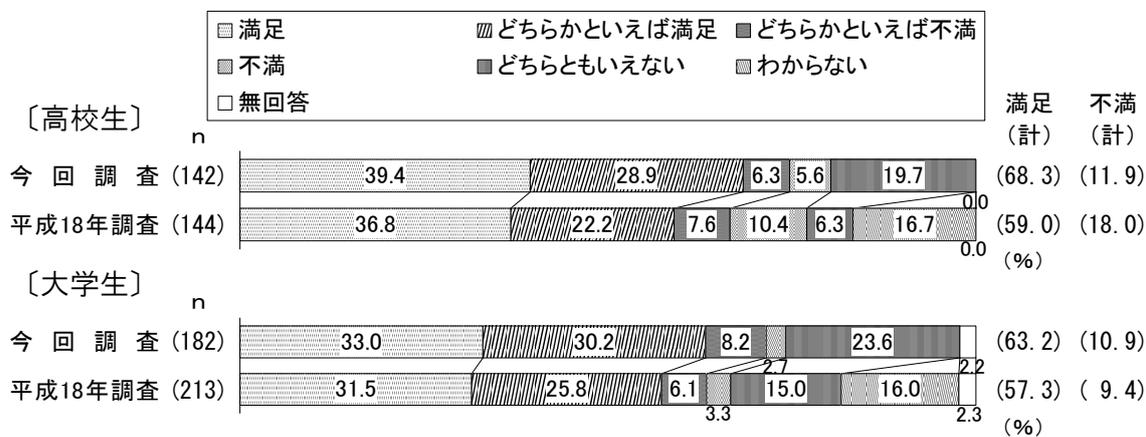


ウ クラスメイトのこと

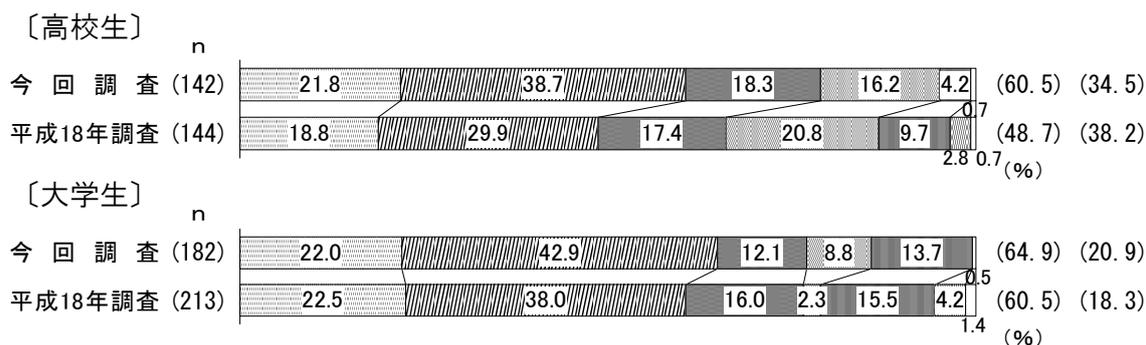


図表 2-2-5 学校生活の満足度（年代別経年比較）（つづき）

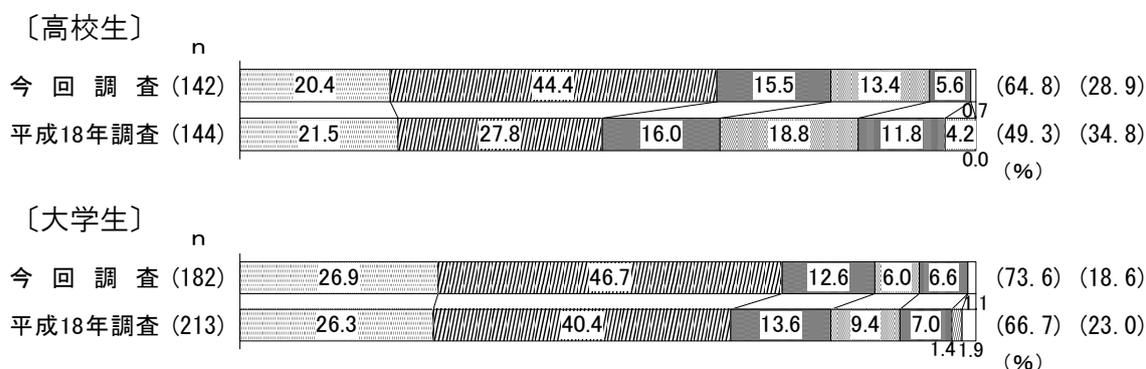
エ 部活動やクラブ活動のこと



オ 学校生活のきまりのこと



カ 学校の施設や設備のこと



(3) 学校以外での学習時間

◇「ほとんどしない」が39.8%、「1時間くらい」が18.3%、「30分くらい」が11.5%、

(現在学校に通っている方に伺います)

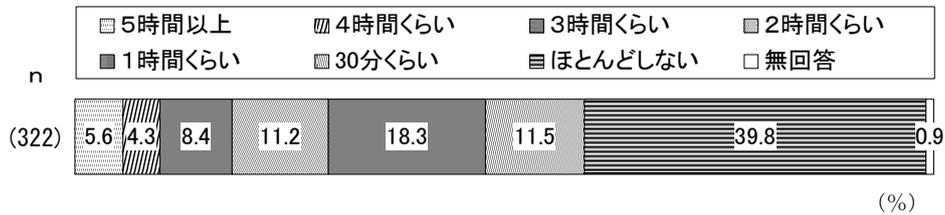
問22 あなたは、学校以外で1日にどのくらい勉強しますか。次の中から1つ選んで○をしてください。(予備校、学習塾などでの勉強も含めてお答えください。)

(類似質問：満10歳～14歳48ページ参照)

学校以外で1日にどのくらい勉強するか聞いたところ、「ほとんどしない」が39.8%で最も多く、次いで「1時間くらい」が18.3%、「30分くらい」が11.5%などの順となっている。

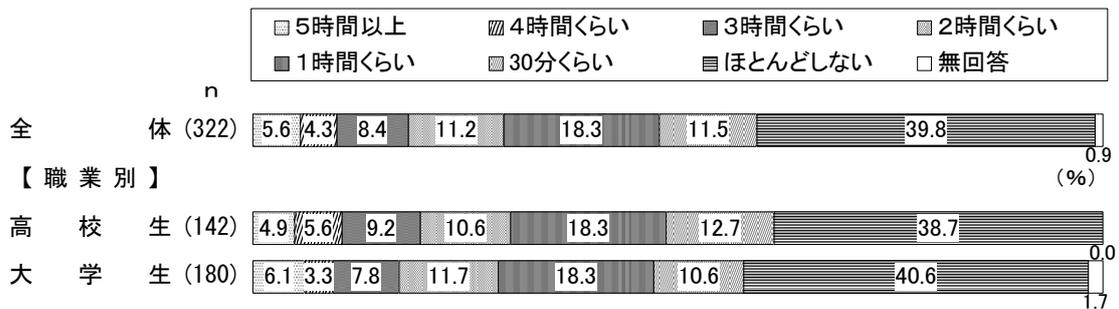
(図表2-3-1)

図表2-3-1



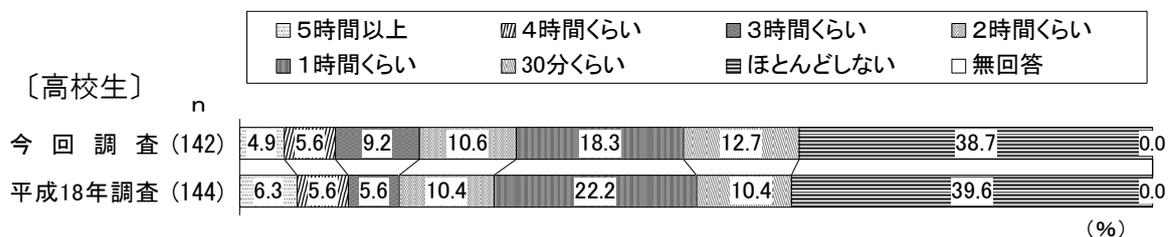
職業別にみると、大きな傾向の違いはみられない。(図表2-3-2)

図表2-3-2 学校以外での学習時間 (職業別)



平成18年調査と比較すると、ほぼ同じ傾向になっている。(図表2-3-3)

図表2-3-3 学校以外での学習時間 (年代別経年比較)



3 職場や職業について

(1) 働く理由

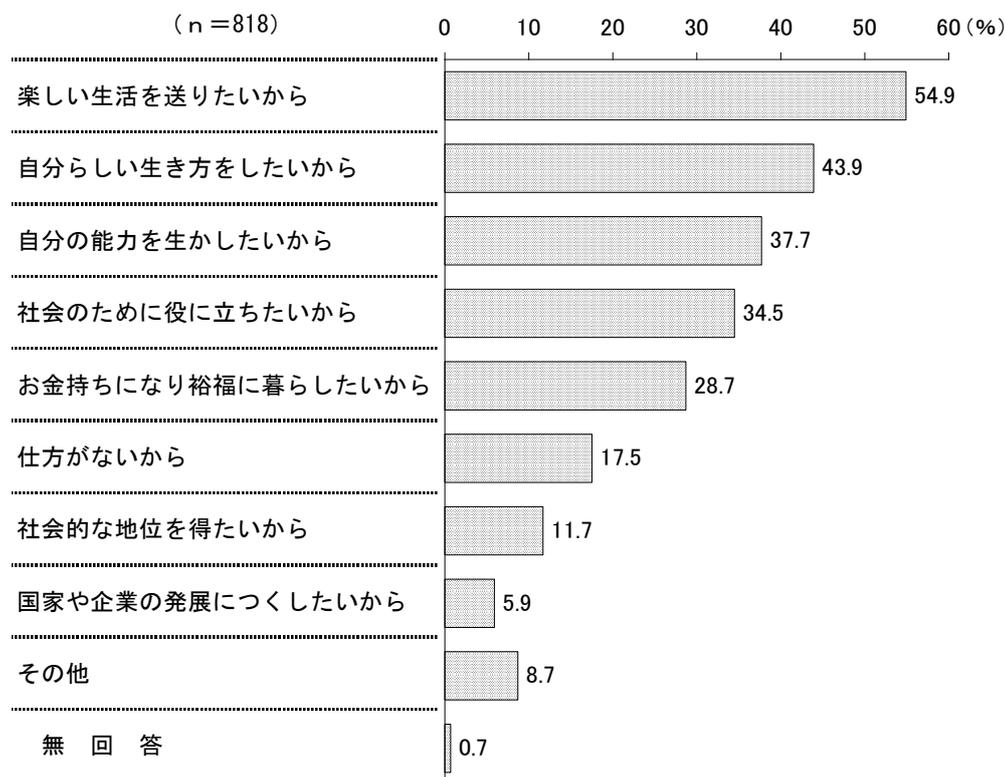
◇「楽しい生活を送りたいから」が54.9%

(まだ仕事をしていない方も、お答えをお願いいたします)

問23 あなたが、働くのは何のためだと思えますか。次の中からあてはまるものすべてに○をしてください。

働くのは何のためだと思うか聞いたところ、「楽しい生活を送りたいから」が54.9%で最も多く、次いで「自分らしい生き方をしたいから」(43.9%)、「自分の能力を生かしたいから」(37.7%)、「社会のために役に立ちたいから」(34.5%)などの順となっている。(図表3-1-1)

図表3-1-1

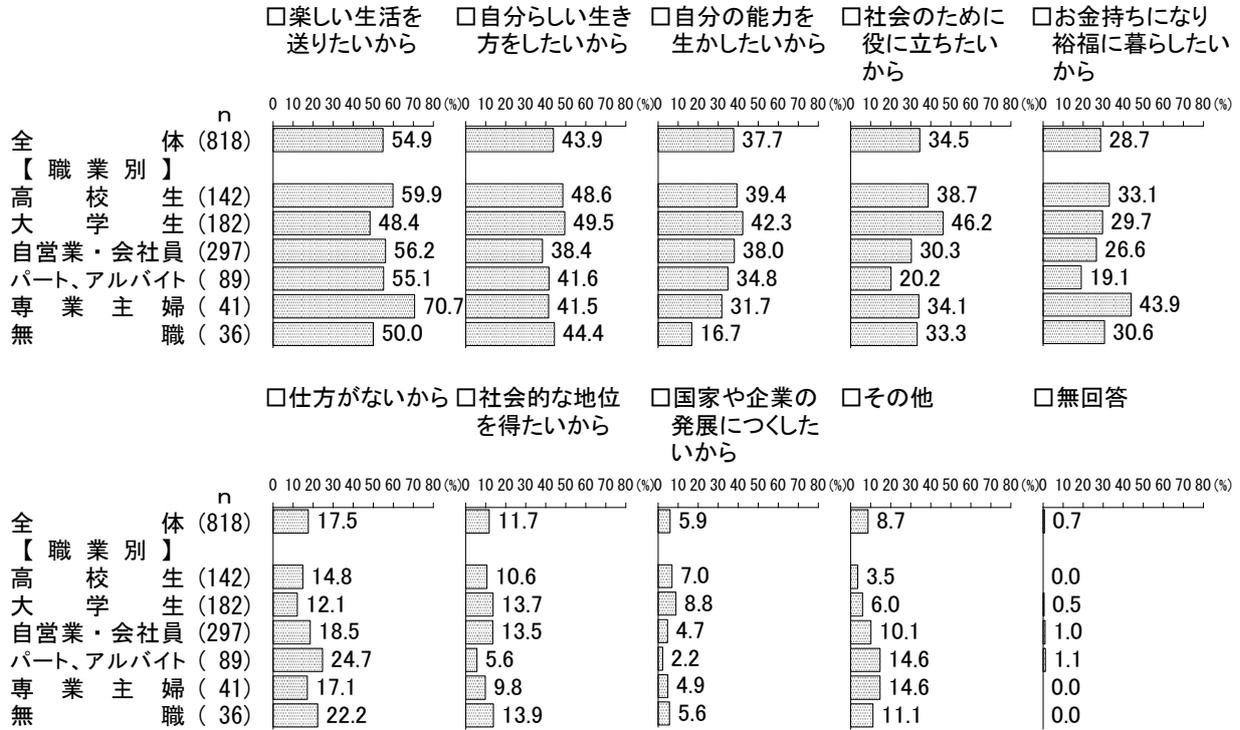


職業別にみると、「楽しい生活を送りたいから」は専業主婦で70.7%と最も多くなっている。「自分らしい生き方をしたいから」は大学生が49.5%、高校生が48.6%と多くなっている。

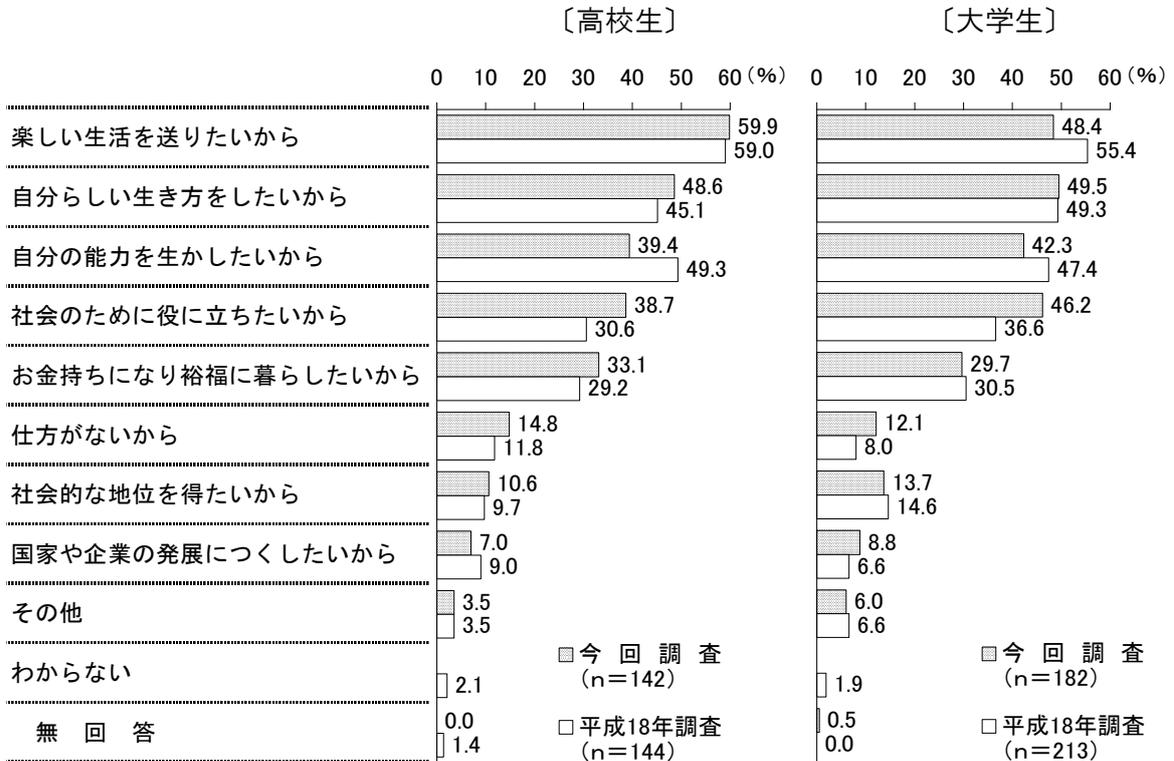
(図表3-1-2)

平成18年調査と比較すると、「社会のために役に立ちたいから」は高校生で8.1ポイント、大学生で9.6ポイント増加している。一方、「自分の能力を生かしたいから」は高校生で9.9ポイント、大学生で5.1ポイント減少している。(図表3-1-3)

図表 3-1-2 働く理由（職業別）



図表 3-1-3 働く理由（年代別経年比較）



(注) 「わからない」の選択肢は今回調査では省いている。

(2) 希望する職場

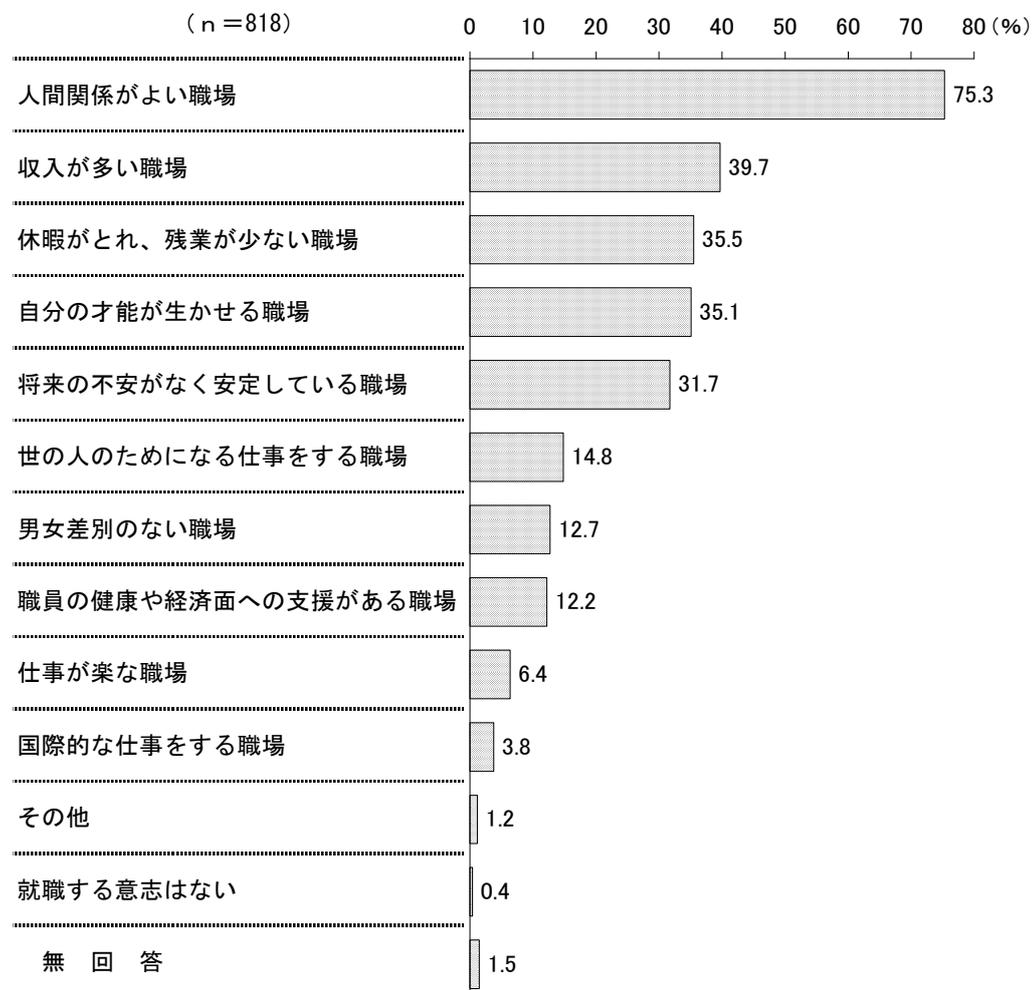
◇「人間関係がよい職場」が75.3%

(まだ仕事をしていない方も、お答えをお願いいたします)

問24 あなたは、どんな職場で働きたいと思いますか。次の中から3つまで選んで○をしてください。

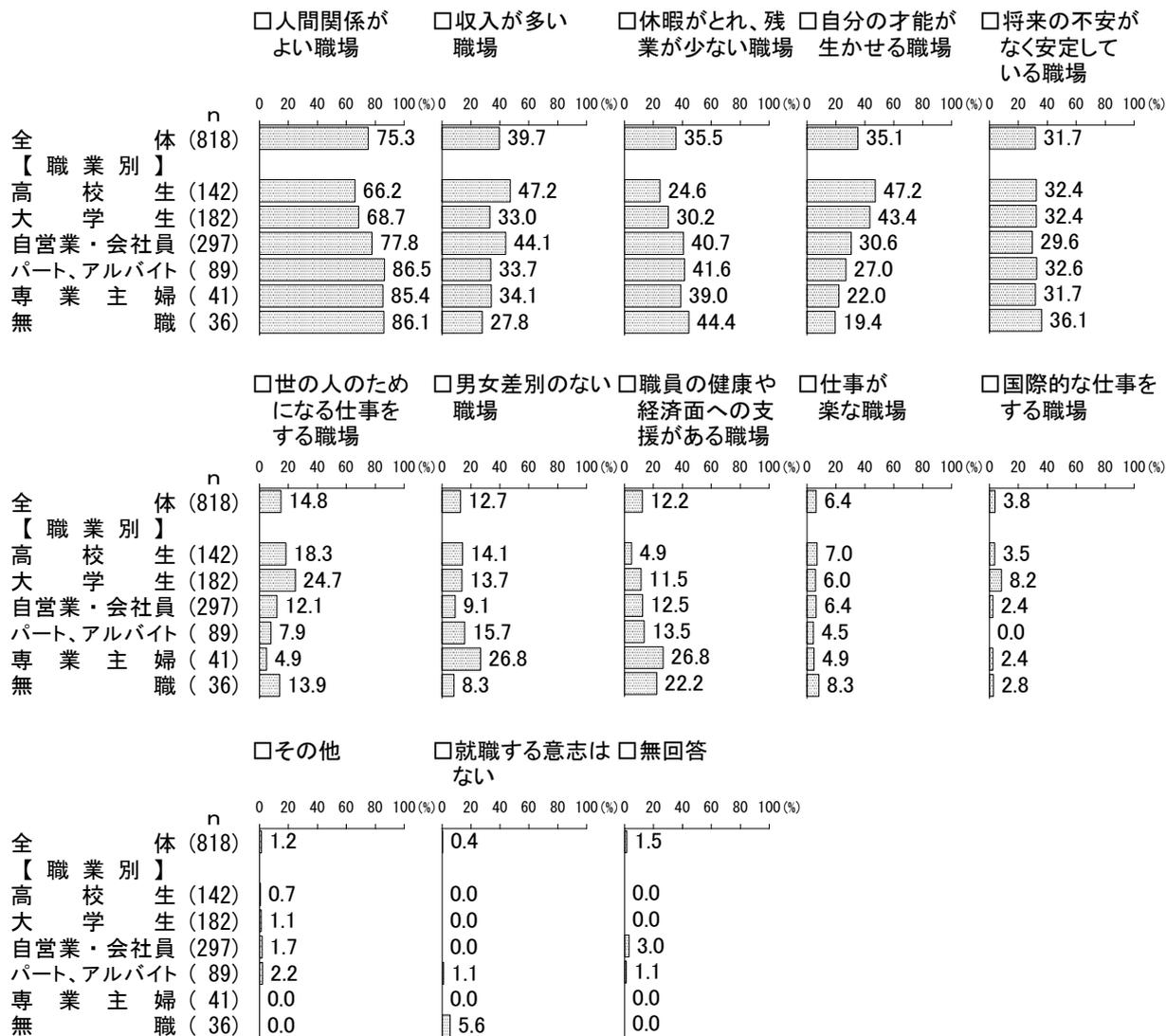
どんな職場で働きたいと思うか聞いたところ、「人間関係がよい職場」が75.3%で最も多く、次いで「収入が多い職場」(39.7%)、「休暇がとれ、残業が少ない職場」(35.5%)、「自分の才能が生かせる職場」(35.1%)などの順となっている。(図表3-2-1)

図表3-2-1



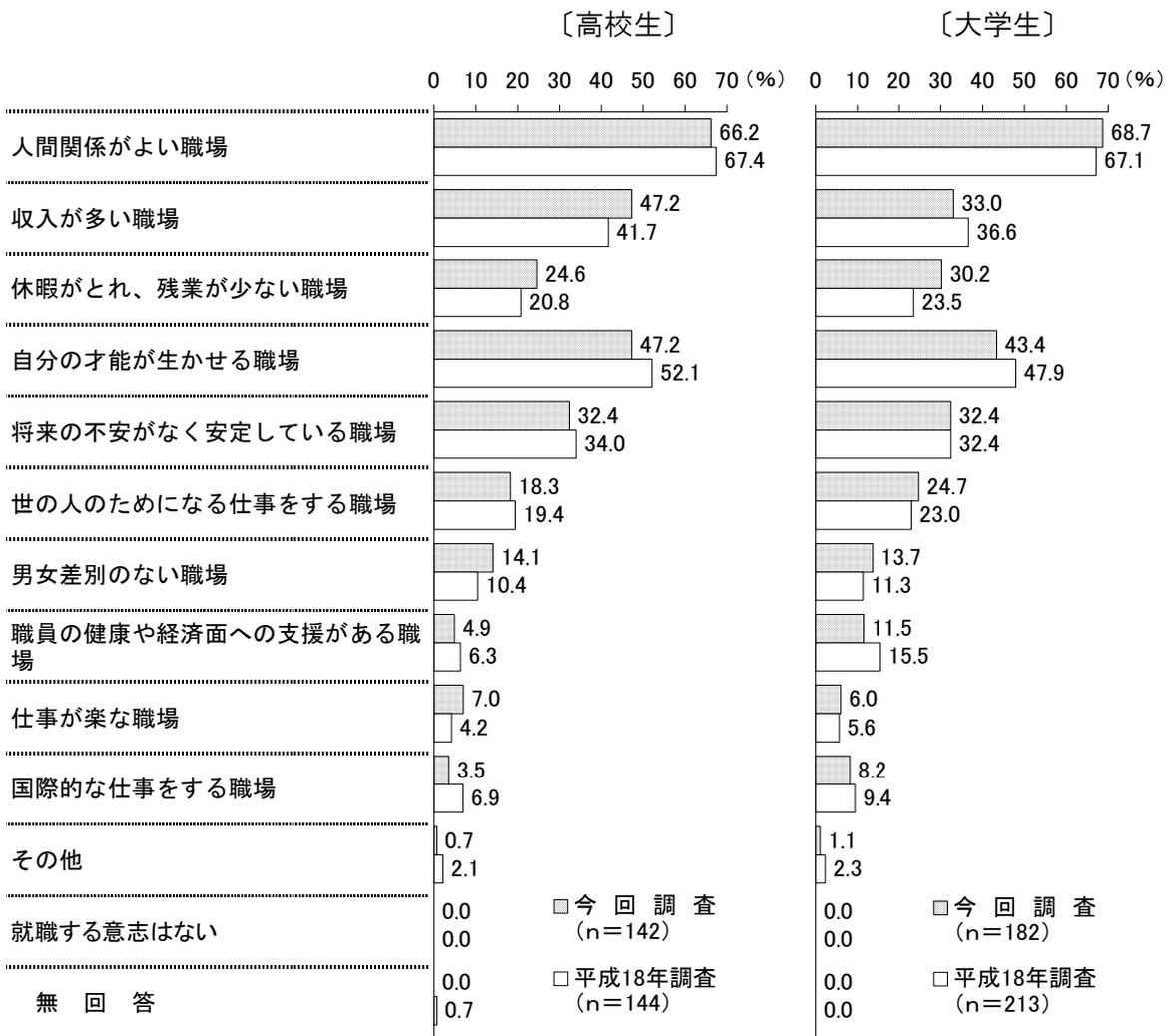
職業別にみると、「人間関係がよい職場」はパート、アルバイトが86.5%、無職が86.1%、専業主婦が85.4%と多くなっている。「自分の才能が生かせる職場」は高校生が47.2%、大学生が43.4%と多くなっている。(図表3-2-2)

図表3-2-2 希望する職場（職業別）



平成18年調査と比較すると、「収入が多い職場」は高校生で5.5ポイント増加し、「休暇がとれ、残業が少ない職場」は大学生で6.7ポイント増加している。一方、「自分の才能が生かせる職場」は高校生で4.9ポイント、大学生で4.5ポイント減少している。(図表3-2-3)

図表3-2-3 希望する職場 (年代別経年比較)



(3) 就職していない理由

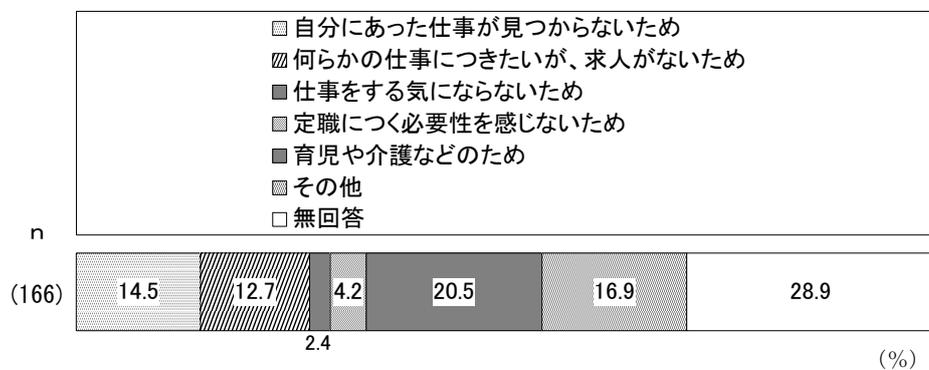
◇「育児や介護などのため」が20.5%

(学生の方以外で、仕事をしていない方に伺います。フリーターの方もお答えください)

問25 あなたが就職していない理由は何ですか。次の中から1つ選んで○をしてください。

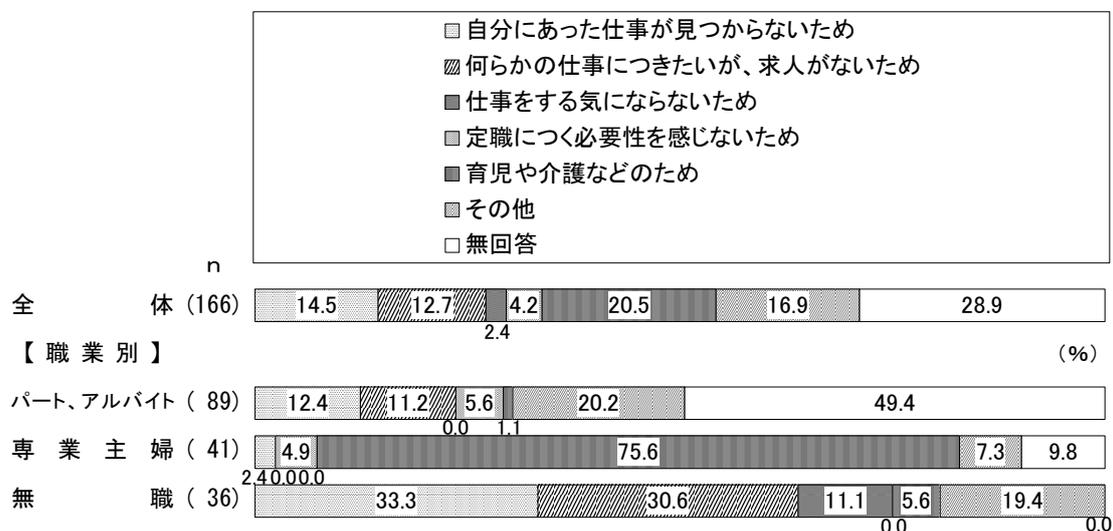
就職していない理由を聞いたところ、「育児や介護などのため」が20.5%で最も多く、次いで「自分にあった仕事が見つからないため」(14.5%)、「何らかの仕事につきたいが、求人がないため」(12.7%)などの順となっている。(図表3-3-1)

図表3-3-1



職業別にみると、「育児や介護などのため」は専業主婦で75.6%と最も多くなっている。「自分にあった仕事が見つからないため」は無職で33.3%と最も多くなっている。(図表3-3-2)

図表3-3-2 就職していない理由 (職業別)



(4) 転職意向・理由

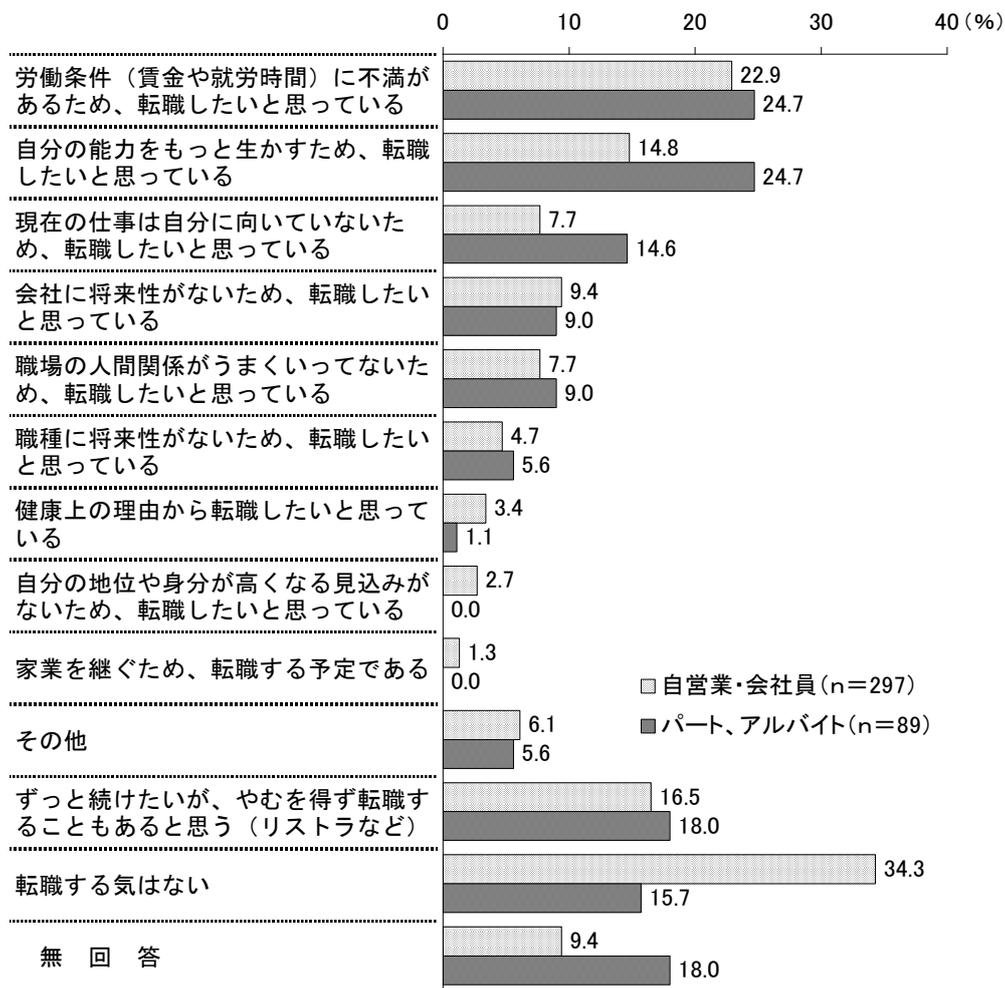
◇自営業・会社員では「労働条件（賃金や就労時間）に不満があるため、転職したいと思っている」が22.9%

パート、アルバイトでは「労働条件（賃金や就労時間）に不満があるため、転職したいと思っている」と「自分の能力をもっと生かすため、転職したいと思っている」がともに24.7%

問26 あなたは、転職したいと思っていますか。転職したい場合、その理由は何ですか。次の中から3つまで選んで○をしてください。

転職したいと思うか、また転職したい場合、その理由は何かを聞いたところ、自営業・会社員では「労働条件（賃金や就労時間）に不満があるため、転職したいと思っている」が22.9%で最も多く、パート、アルバイトでは「労働条件（賃金や就労時間）に不満があるため、転職したいと思っている」と「自分の能力をもっと生かすため、転職したいと思っている」がともに24.7%で最も多くなっている。一方、「転職する気はない」は自営業・会社員では34.3%、パート、アルバイトでは15.7%となっている。（図表3-4-1）

図表3-4-1 転職意向・理由（職業別）



4 価値観について

(1) 価値観

◇『そう思う(計)』は<人の役に立つ人間になりたい><勇気のある人間になりたい><将来のためにも、今、頑張りたいと思う>で8割台

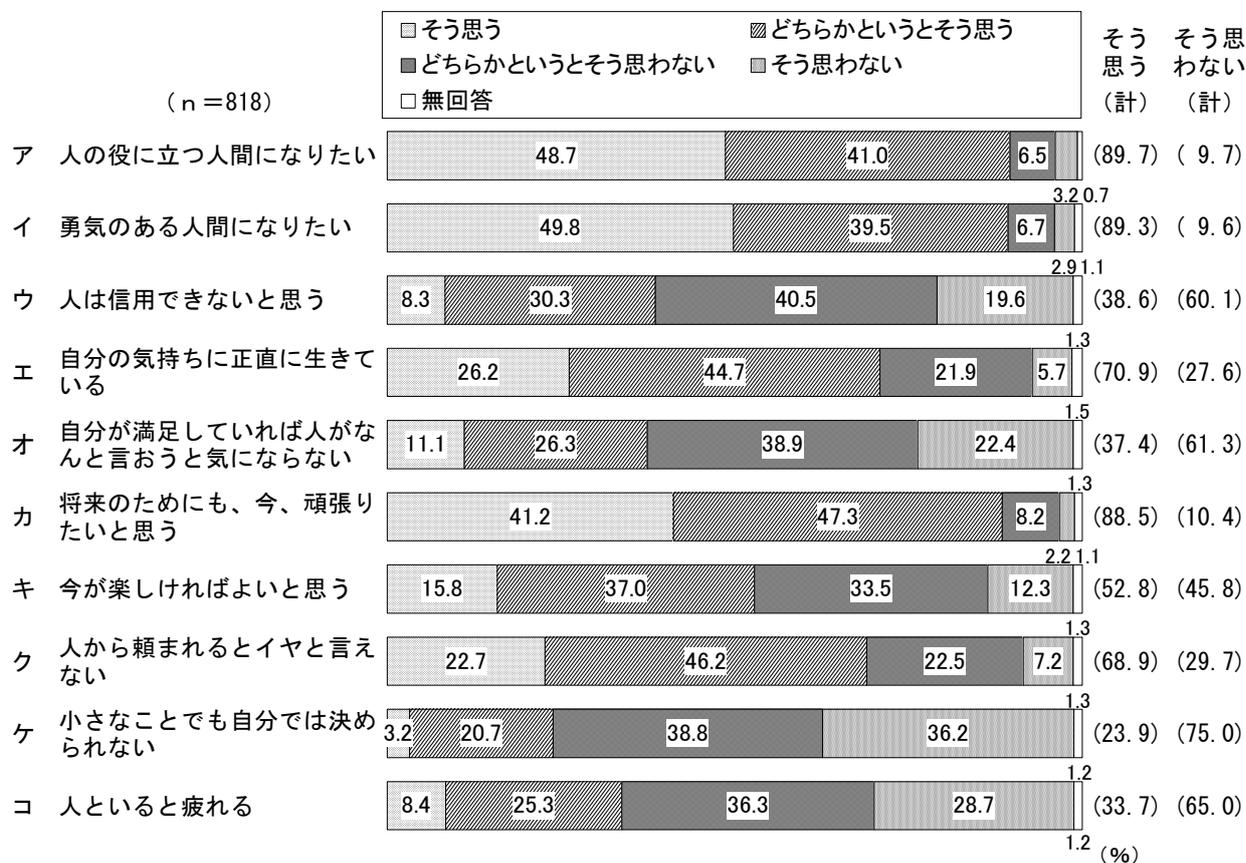
問27 あなたは、ここにあげてあることについて、どう思いますか。アからコのそれぞれについて、1つ選んで○をつけてください。

(類似質問：満10歳～14歳49ページ、保護者261ページ参照)

価値観について、10項目に分けてどう思うか聞いたところ、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の2つを合わせた『そう思う(計)』の割合は、<ア 人の役に立つ人間になりたい>(89.7%)、<イ 勇気のある人間になりたい>(89.3%)、<カ 将来のためにも、今、頑張りたいと思う>(88.5%)の3項目で8割台となっている。

「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」の2つを合わせた『そう思わない(計)』は、<ケ 小さなことでも自分では決められない>(75.0%)、<コ 人といると疲れる>(65.0%)、<オ 自分が満足していれば人がなると言おうと気にならない>(61.3%)、<ウ 人は信用できないと思う>(60.1%)で6割以上となっている。(図表4-1-1)

図表4-1-1

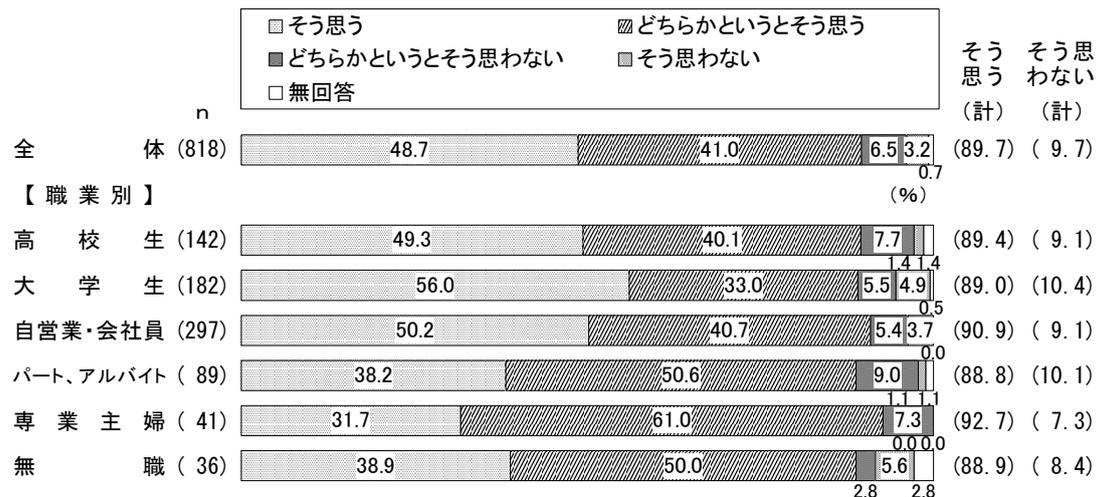


職業別にみると、『そう思う（計）』は、＜ア 人の役に立つ人間になりたい＞がすべての職業で9割前後と多く、専業主婦が92.7%で最も多くなっている。一方、『そう思わない（計）』は、＜ケ 小さなことでも自分では決められない＞が自営業・会社員で80.8%と最も多くなっている。

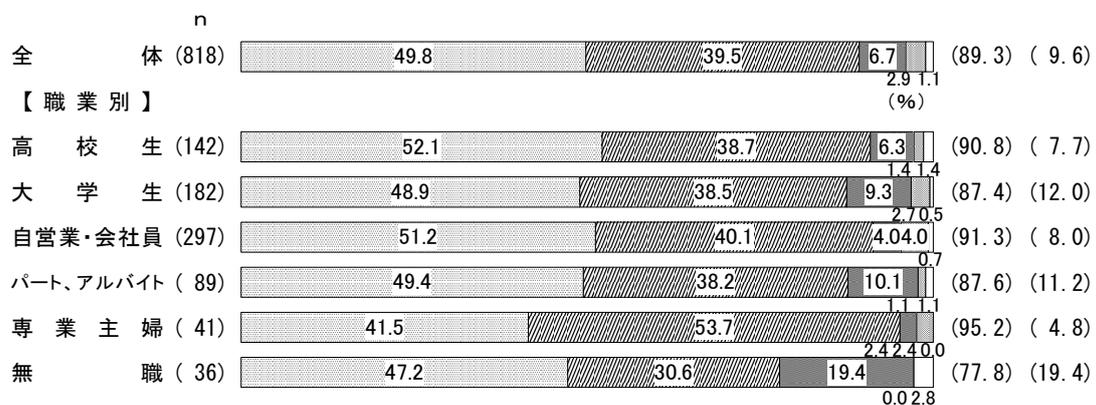
(図表4-1-2～図表4-1-5)

図表4-1-2 価値観（職業別）

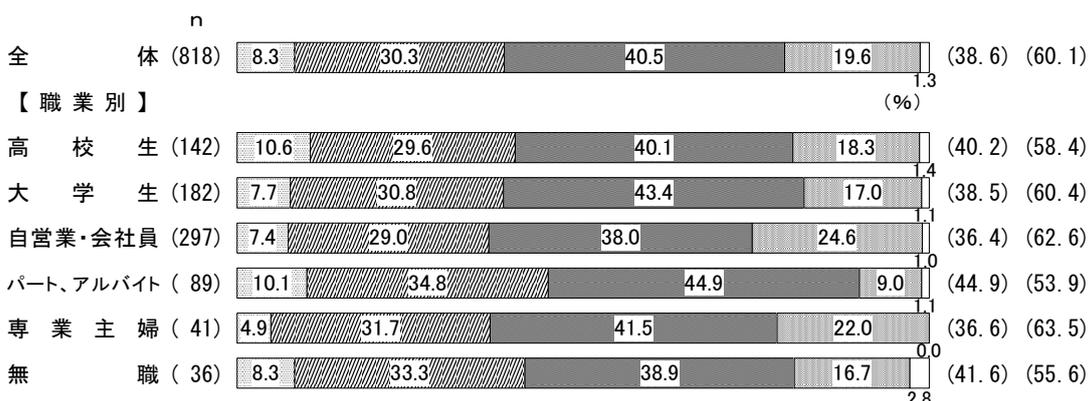
ア 人の役に立つ人間になりたい



イ 勇気のある人間になりたい

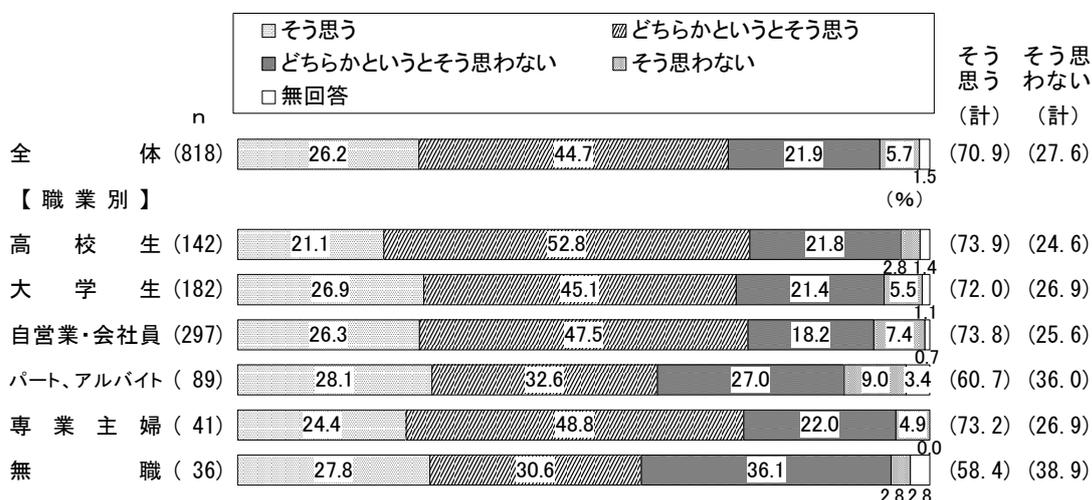


ウ 人は信用できないと思う

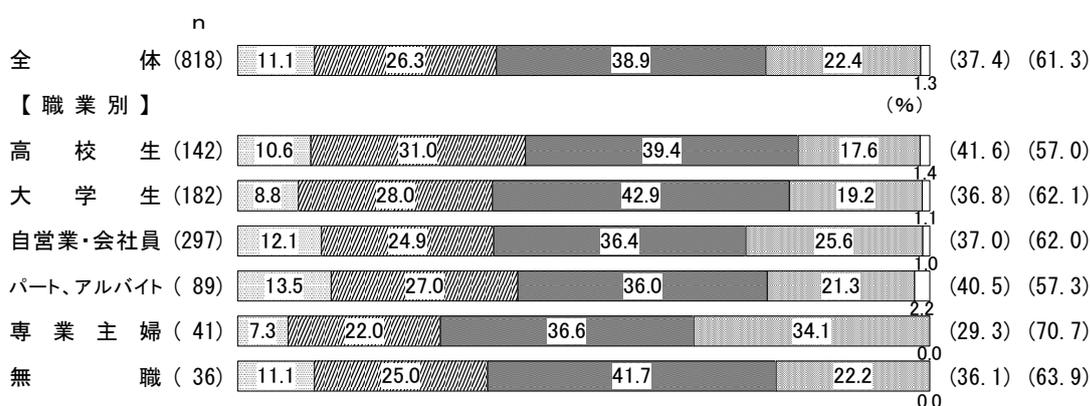


図表4-1-3 価値観（職業別）（つづき）

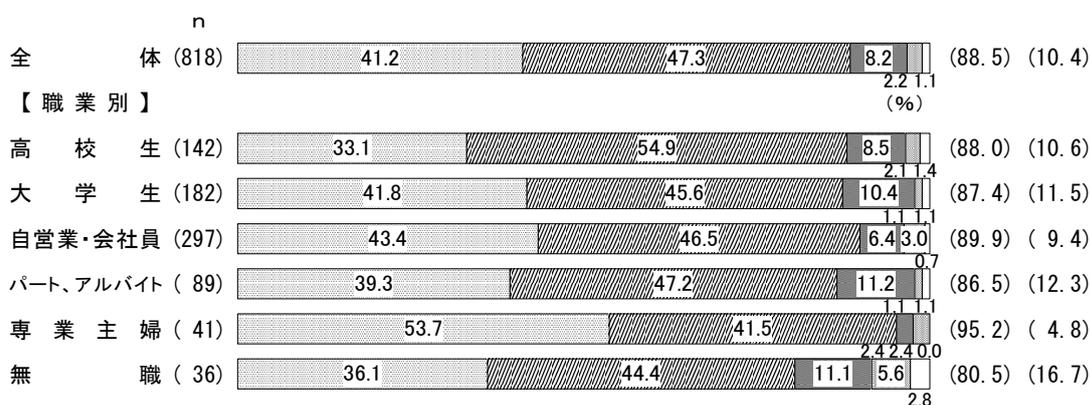
エ 自分の気持ちに正直に生きている



オ 自分が満足していれば人がなんと云おうと気にならない

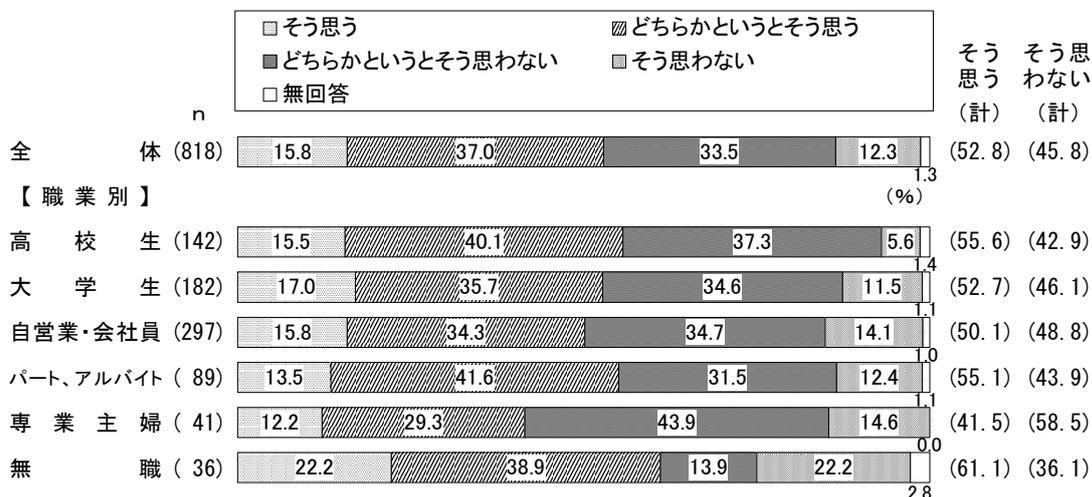


カ 将来のためにも、今、頑張りたいと思う

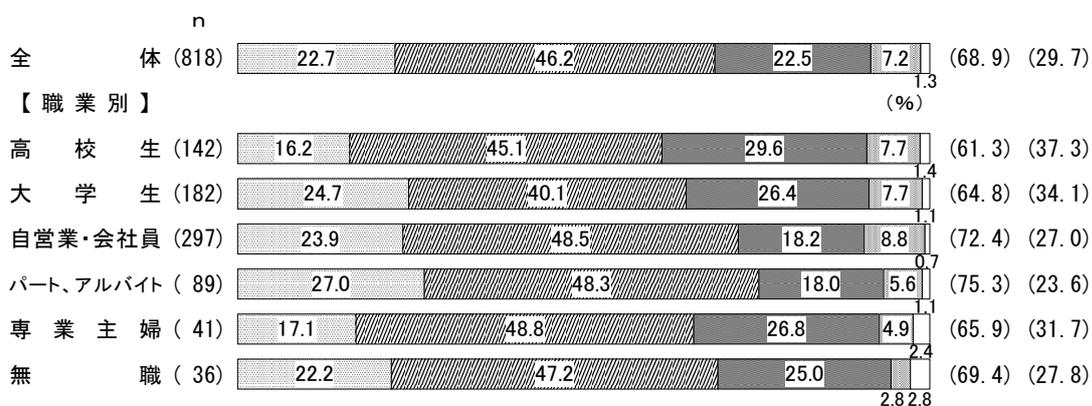


図表4-1-4 価値観（職業別）（つづき）

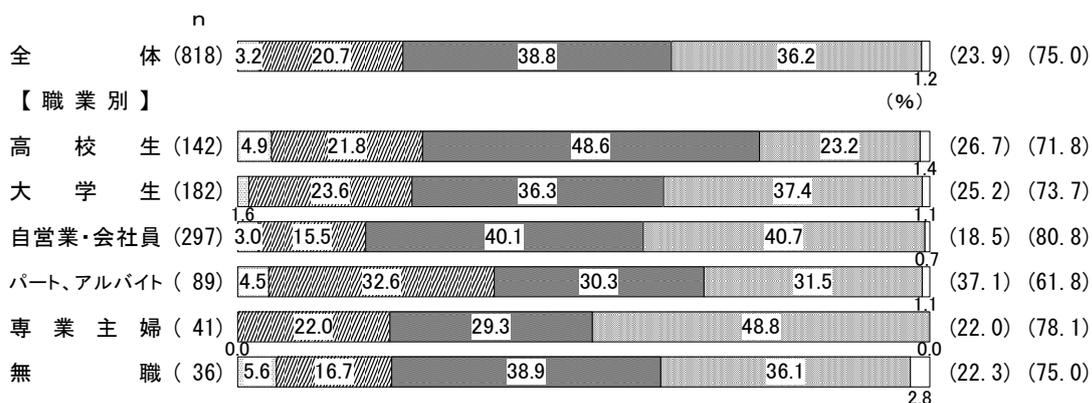
キ 今が楽しければよいと思う



ク 人から頼まれるとイヤと言えない

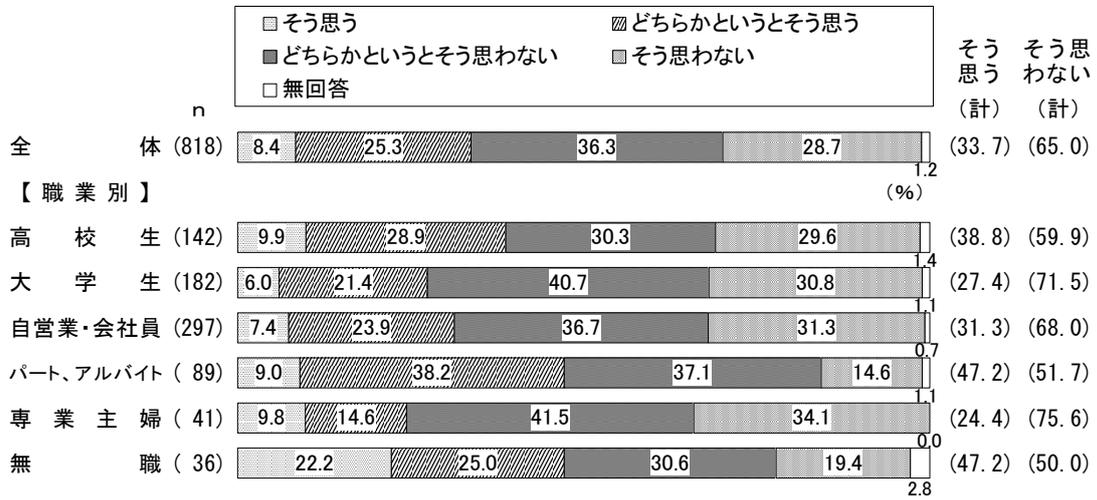


ケ 小さなことでも自分では決められない



図表 4-1-5 価値観（職業別）（つづき）

コ 人といると疲れる



5 将来の希望などについて

(1) 将来の夢や生きがい

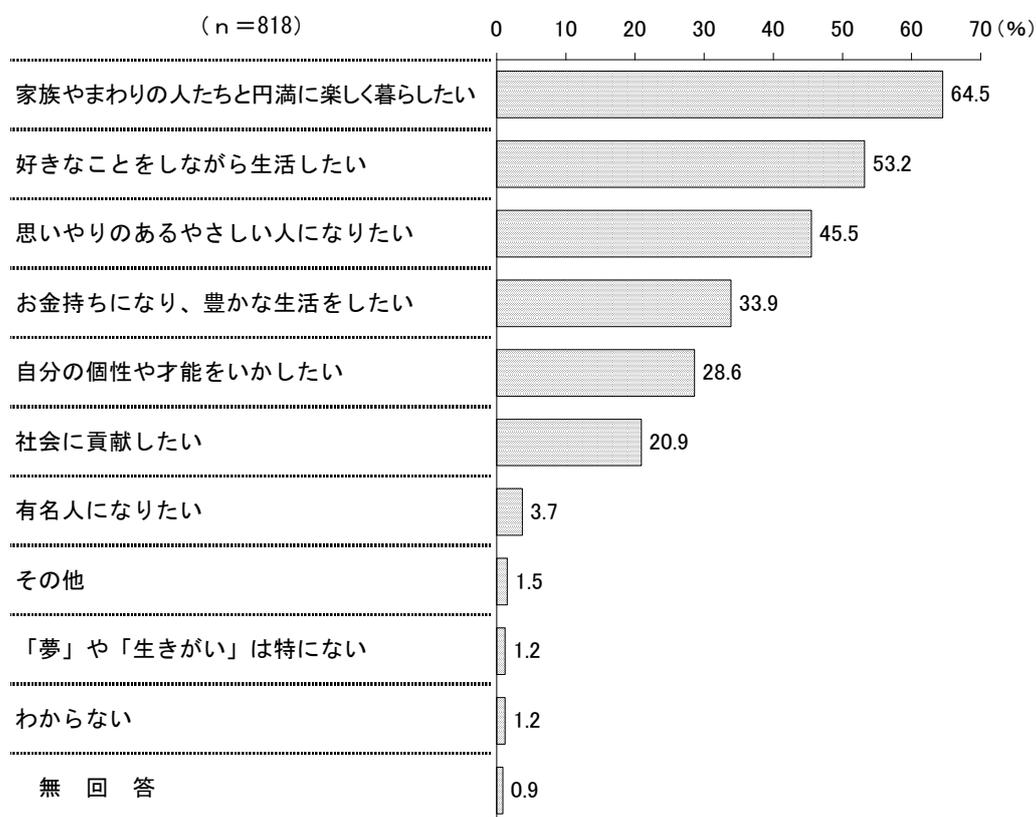
◇「家族やまわりの人たちと円満に楽しく暮らしたい」が64.5%

問28 あなたは、どのような「夢」や「生きがい」を持っていますか。次の中から3つまで選んで○をしてください。(類似質問：満10歳～14歳53ページ参照)

どのような「夢」や「生きがい」を持っているか聞いたところ、「家族やまわりの人たちと円満に楽しく暮らしたい」が64.5%で最も多く、次いで「好きなことをしながら生活したい」(53.2%)、「思いやりのあるやさしい人になりたい」(45.5%)、「お金持ちになり、豊かな生活をしたい」(33.9%)、「自分の個性や才能をいかしたい」(28.6%)などの順となっている。

(図表5-1-1)

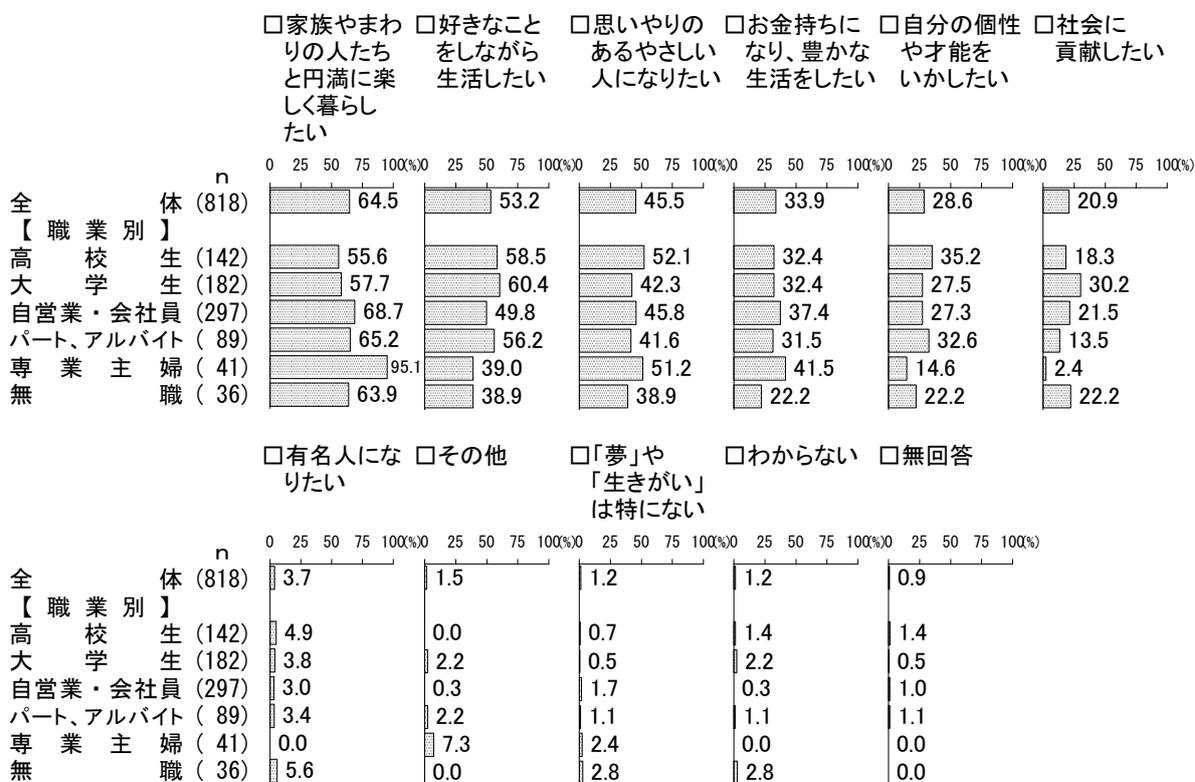
図表5-1-1



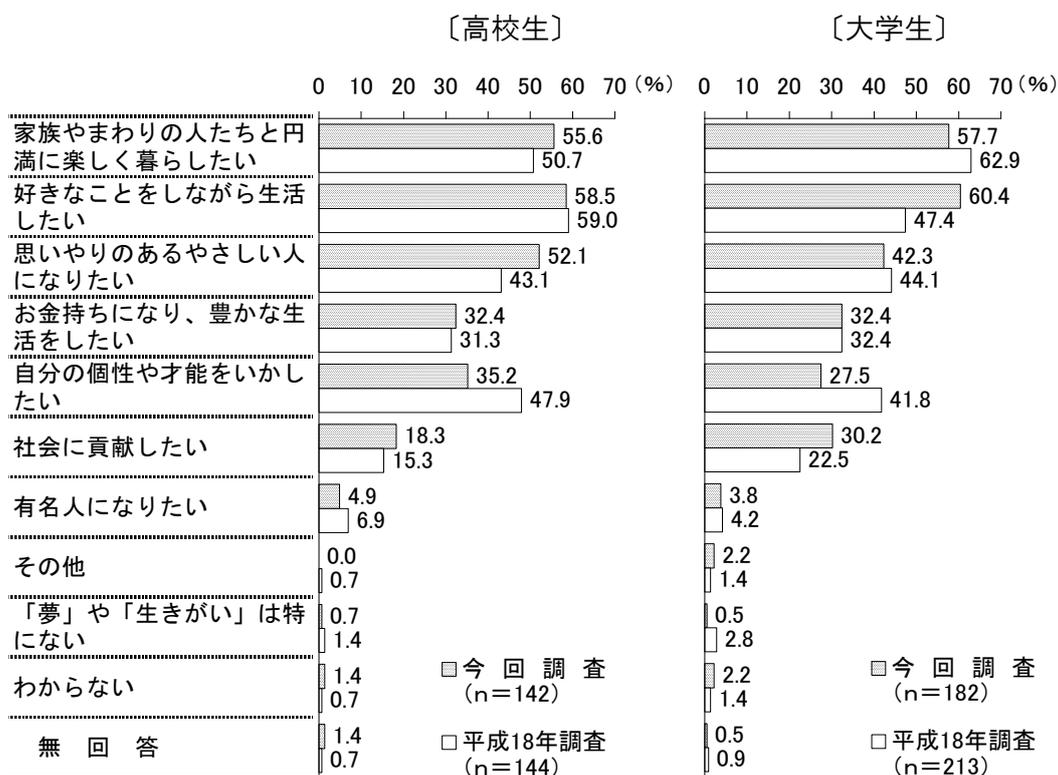
職業別にみると、「家族やまわりの人たちと円満に楽しく暮らしたい」は専業主婦で95.1%と最も多くなっている。「好きなことをしながら生活したい」は大学生が60.4%、高校生が58.5%と多くなっている。(図表5-1-2)

平成18年調査と比較すると、「好きなことをしながら生活したい」は大学生で13.0ポイント増加している。一方、「自分の個性や才能をいかしたい」は大学生で14.3ポイント、高校生で12.7ポイント減少している。(図表5-1-3)

図表5-1-2 将来の夢や生きがい（職業別）



図表5-1-3 将来の夢や生きがい（年代別経年比較）



(2) 将来つきたい職業

◇「公務員（一般事務など）」が8.2%

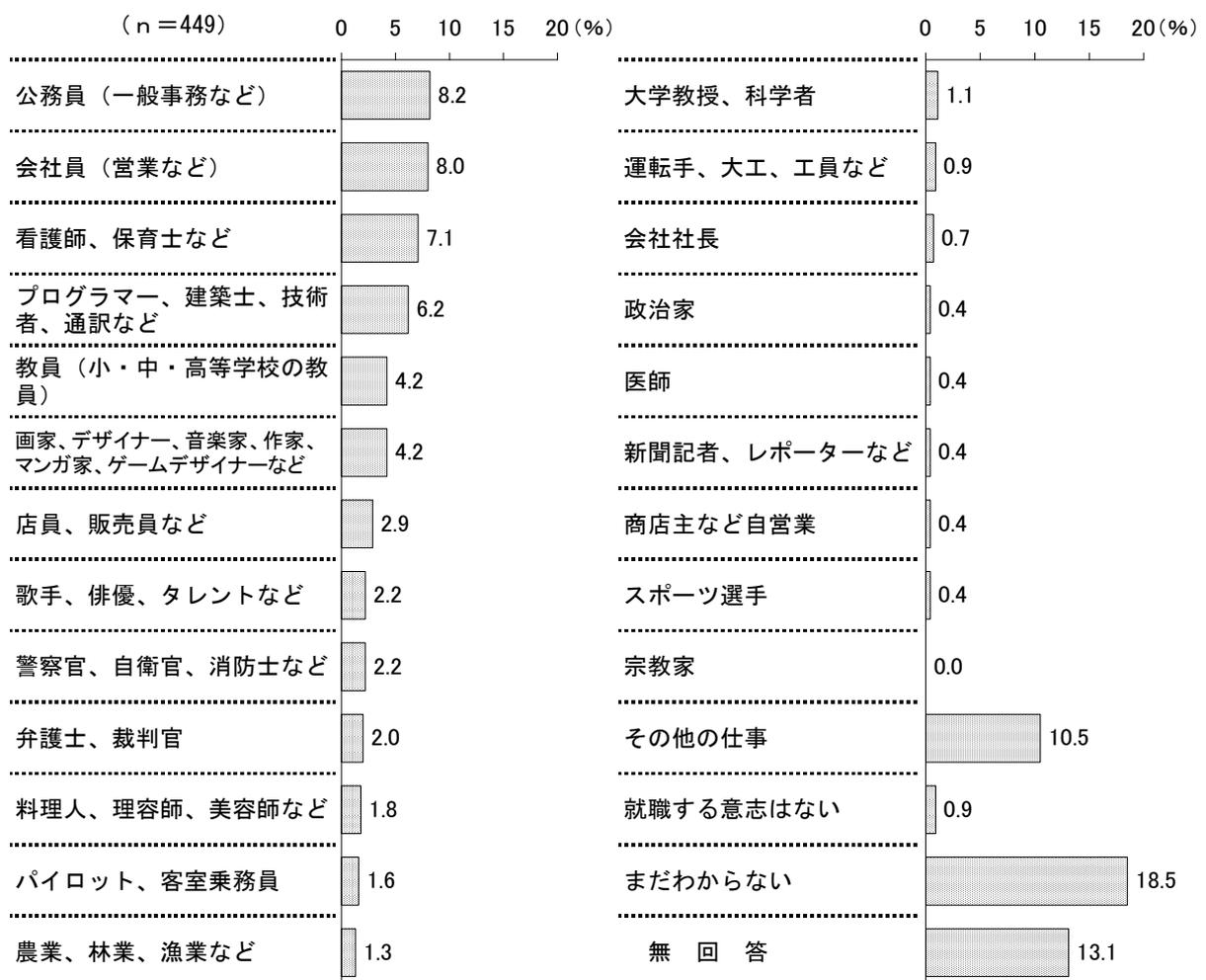
(まだ仕事をしていない方に伺います。フリーターの方もお答えください)

問29 あなたは、将来どのような職業につきたいと思っていますか。次の中から1つ選んで○をしてください。(類似質問：満10歳～14歳55ページ参照)

将来どのような職業につきたいか聞いたところ、「公務員(一般事務など)」が8.2%で最も多く、次いで「会社員(営業など)」(8.0%)、「看護師、保育士など」(7.1%)、「プログラマー、建築士、技術者、通訳など」(6.2%)、「教員(小・中・高等学校の教員)」と「画家、デザイナー、音楽家、作家、マンガ家、ゲームデザイナーなど」(ともに4.2%)などの順となっている。

(図表5-2-1)

図表5-2-1



職業別にみると、「会社員（営業など）」は大学生とパート、アルバイトで第1位となっており、高校生では第5位となっている。「公務員（一般事務など）」は無職で第1位、大学生で第2位、高校生とパート、アルバイトで第4位となっている。（図表5-2-2）

図表5-2-2 将来つきたい職業（職業別）

順位	高校生 (n=142)	(人)	順位	大学生 (n=182)	(人)	順位	パート、アルバイト (n=89)	(人)	順位	無職 (n=36)	(人)	
1位	看護師、保育士など	15	1位	会社員（営業など）	24	1位	会社員（営業など）	5	1位	公務員（一般事務など）	7	
2位	教員（小・中・高等学校の教員）	10	2位	公務員（一般事務など）	20	2位	画家、デザイナー、音楽家、作家、マンガ家、ゲームデザイナーなど	3	2位	店員、販売員など	5	
3位	プログラマー、建築士、技術者、通訳など	9	3位	プログラマー、建築士、技術者、通訳など	17	3位	歌手、俳優、タレントなど	3	3位	画家、デザイナー、音楽家、作家、マンガ家、ゲームデザイナーなど	2	
4位	公務員（一般事務など）	8	4位	看護師、保育士など	16		公務員（一般事務など）	2		看護師、保育士など	1	
5位	会社員（営業など）	7	5位	教員（小・中・高等学校の教員）	8		プログラマー、建築士、技術者、通訳など	2		警察官、自衛官、消防士など	1	
6位	画家、デザイナー、音楽家、作家、マンガ家、ゲームデザイナーなど	6	6位	画家、デザイナー、音楽家、作家、マンガ家、ゲームデザイナーなど	8	4位	店員、販売員など	2	4位	料理人、理容師、美容師など	1	
	歌手、俳優、タレントなど	6		店員、販売員など	5		警察官、自衛官、消防士など	2		パイロット、客室乗務員	1	
8位	料理人、理容師、美容師など	4	7位	弁護士、裁判官	5		弁護士、裁判官	2		会社社長	1	
9位	警察官、自衛官、消防士など	3	9位	警察官、自衛官、消防士など	4		運転手、大工、工員など	2		会社員（営業など）	-	
	農業、林業、漁業など	3		パイロット、客室乗務員	4		教員（小・中・高等学校の教員）	1		プログラマー、建築士、技術者、通訳など	-	
11位	弁護士、裁判官	2	11位	料理人、理容師、美容師など	3	10位	農業、林業、漁業など	1		教員（小・中・高等学校の教員）	-	
	パイロット、客室乗務員	2		大学教授、科学者	3			商店主など自営業	1		歌手、俳優、タレントなど	-
	大学教授、科学者	2		農業、林業、漁業など	2			スポーツ選手	1		弁護士、裁判官	-
	運転手、大工、工員など	2		医師	2			看護師、保育士など	-		農業、林業、漁業など	-
	新聞記者、レポーターなど	2		歌手、俳優、タレントなど	1			料理人、理容師、美容師など	-		大学教授、科学者	-
16位	店員、販売員など	1	16位	会社社長	1		パイロット、客室乗務員	-		運転手、大工、工員など	-	
	会社社長	1		政治家	1		大学教授、科学者	-		政治家	-	
	政治家	1		商店主など自営業	1		会社社長	-		医師	-	
	スポーツ選手	1		運転手、大工、工員など	-		政治家	-		新聞記者、レポーターなど	-	
無回答	医師	-	無回答	新聞記者、レポーターなど	-		医師	-		商店主など自営業	-	
	商店主など自営業	-		スポーツ選手	-		新聞記者、レポーターなど	-		スポーツ選手	-	
	宗教家	-		宗教家	-		宗教家	-		宗教家	-	
	その他の仕事	16		その他の仕事	21		その他の仕事	4		その他の仕事	6	
	就職する意志はない	-		就職する意志はない	1		就職する意志はない	2		就職する意志はない	1	
	まだわからない	34		まだわからない	24		まだわからない	15		まだわからない	10	
	無回答	7		無回答	11		無回答	41		無回答	0	

過去の調査結果と比較すると、「会社員（営業など）」は大学生で平成18年調査から引き続き第1位となっており、高校生でも引き続き第5位となっている。「看護師、保育士など」は高校生で平成18年調査では第3位であったが、今回調査では第1位となっており、大学生では上位5項目に入っていなかったが、今回調査では第4位となっている。（図表5-2-3）

図表5-2-3 将来つきたい職業（年代別経年比較）（上位5項目）

調査年 順位	高 校 生		
	今回調査	平成18年度	平成13年度
第1位	看護師、保育士など	プログラマー、建築士、技術者、通訳など	プログラマー、建築士、技術者、通訳など
第2位	教員 （小・中・高等学校の教員）	画家、デザイナー、音楽家、作家、マンガ家、ゲームデザイナーなど	看護師、保育士など
第3位	プログラマー、建築士、技術者、通訳など	看護師、保育士など	画家、デザイナー、音楽家、作家、マンガ家、ゲームデザイナーなど
第4位	公務員（一般事務など）	教員 （小・中・高等学校の教員）	教員 （小・中・高等学校の教員）
第5位	会社員（営業など）	会社員／公務員	歌手、俳優、タレントなど

調査年 順位	大 学 生		
	今回調査	平成18年度	平成13年度
第1位	会社員（営業など）	会社員	公務員
第2位	公務員（一般事務など）	プログラマー、建築士、技術者、通訳など	会社員
第3位	プログラマー、建築士、技術者、通訳など	公務員	プログラマー、建築士、技術者、通訳など
第4位	看護師、保育士など	画家、デザイナー、音楽家、作家、マンガ家、ゲームデザイナーなど	画家、デザイナー、音楽家、作家、マンガ家、ゲームデザイナーなど
第5位	教員（小・中・高等学校の教員）／画家、デザイナー、音楽家、作家、マンガ家、ゲームデザイナーなど	教員 （小・中・高等学校の教員）	店員、販売員など

(3) 夢や希望をかなえるためにやらなければいけないこと

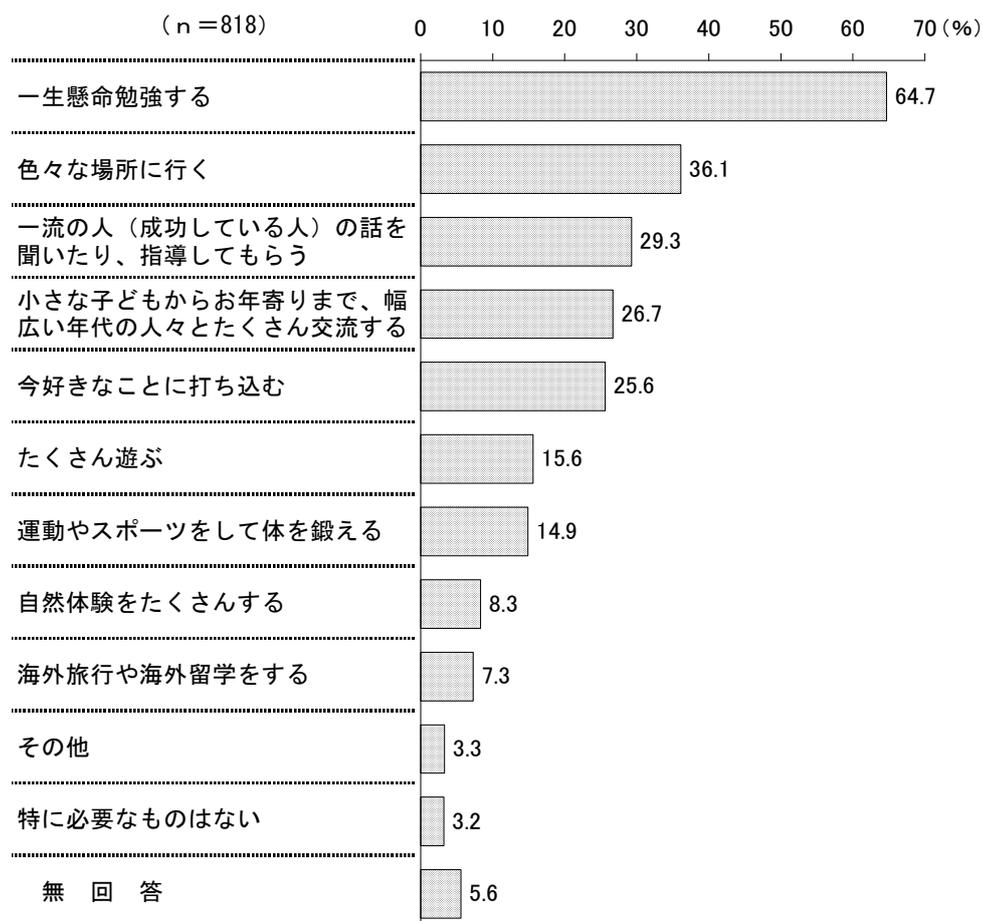
◇「一生懸命勉強する」が64.7%

問30 あなたは、あなたの夢の実現や、希望の職業に就くためには、どのようなことが必要だと思えますか。次の中から3つまで選んで○をしてください。

(類似質問：満10歳～14歳58ページ、保護者244ページ参照)

夢をかなえたり、希望する仕事をするためにどのようなことが必要だと思うか聞いたところ、「一生懸命勉強する」が64.7%で最も多く、次いで「色々な場所に行く」(36.1%)、「一流の人(成功している人)の話を聞いたり、指導してもらう」(29.3%)、「小さな子どもからお年寄りまで、幅広い年代の人々とたくさん交流する」(26.7%)、「今好きなことに打ち込む」(25.6%)などの順となっている。(図表5-3-1)

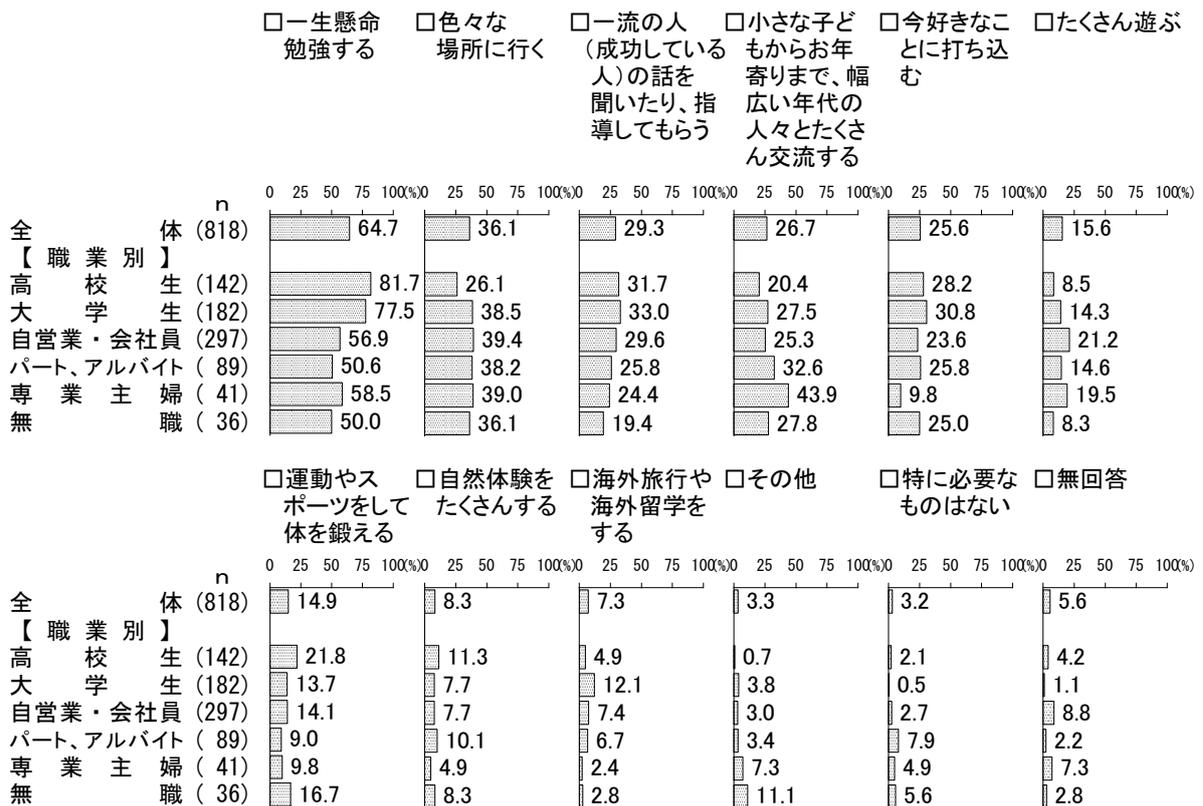
図表5-3-1



職業別にみると、「一生懸命勉強する」は高校生で81.7%、大学生で77.5%と多くなっている。「小さな子どもからお年寄りまで、幅広い年代の人々とたくさん交流する」は専業主婦で43.9%と最も多くなっている。「たくさん遊ぶ」は自営業・会社員で21.2%と最も多くなっている。

(図表5-3-2)

図表5-3-2 夢や希望をかなえるためにやらなければならないこと（職業別）



6 余暇や友人関係について

(1) テレビ視聴時間

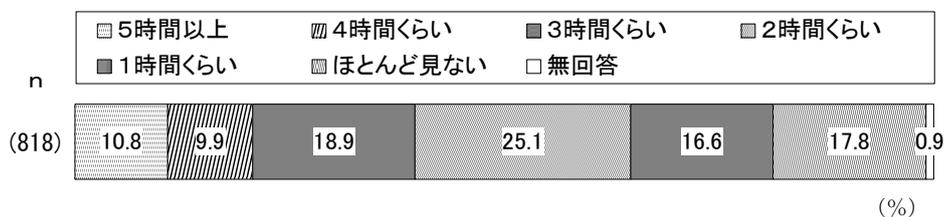
◇「2時間くらい」が25.1%、「3時間くらい」が18.9%、「ほとんど見ない」が17.8%

問31 あなたは、1日にどのくらいテレビを見ますか。次の中から1つ選んで○をしてください。(類似質問：満10歳～14歳60ページ参照)

1日にどのくらいテレビを見るか聞いたところ、「2時間くらい」が25.1%、「3時間くらい」が18.9%、「ほとんど見ない」が17.8%、「1時間くらい」が16.6%などの順となっている。

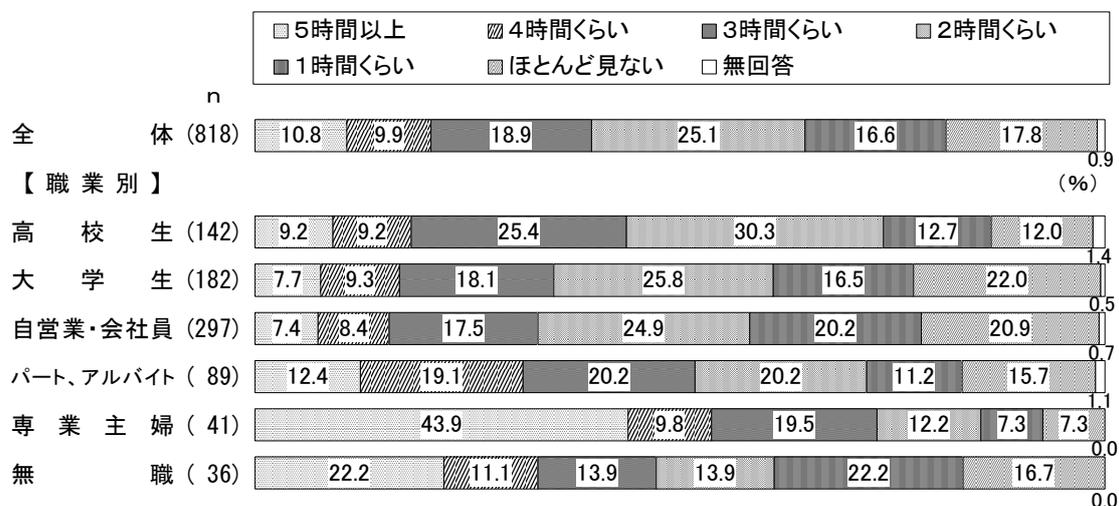
(図表6-1-1)

図表6-1-1



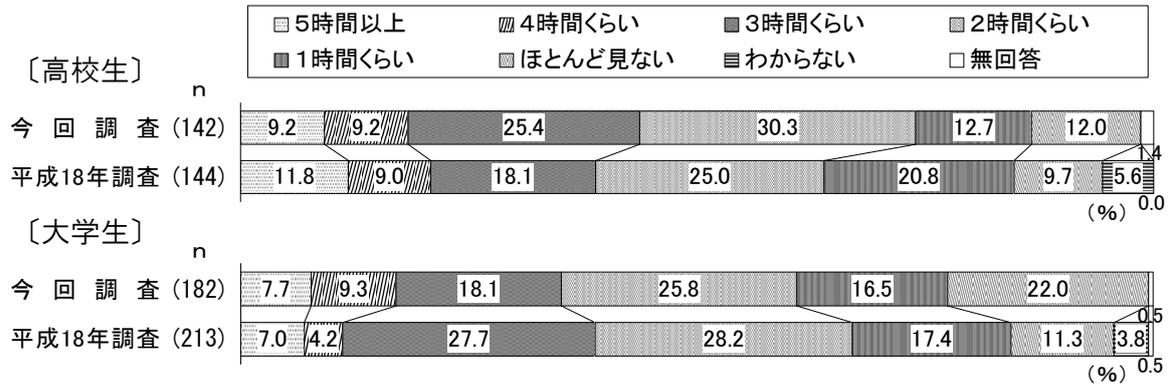
職業別にみると、高校生では「2時間くらい」(30.3%)と「3時間くらい」(25.4%)の割合が最も多くなっている。「ほとんど見ない」は大学生が22.0%、自営業・会社員が20.9%と2割台になっている。「5時間以上」は専業主婦で43.9%と最も多くなっている。(図表6-1-2)

図表6-1-2 テレビ視聴時間(職業別)



平成18年調査と比較すると、高校生では「3時間くらい」が7.3ポイント増加し、「1時間くらい」が8.1ポイント減少している。大学生では「ほとんど見ない」が10.7ポイント増加し、「3時間くらい」が9.6ポイント減少している。(図表6-1-3)

図表6-1-3 テレビ視聴時間 (年代別経年比較)



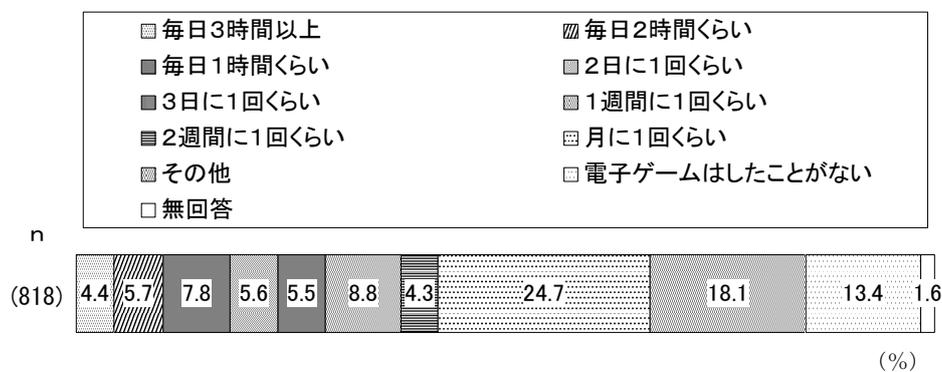
(2) テレビゲームをする頻度

◇「月に1回くらい」が24.7%

問32 あなたは、どのくらいの割合で電子ゲーム（Wii、プレイステーション、DS、PSPなど）をしますか。次の中から1つ選んで○をしてください。
 （類似質問：満10歳～14歳61ページ参照）

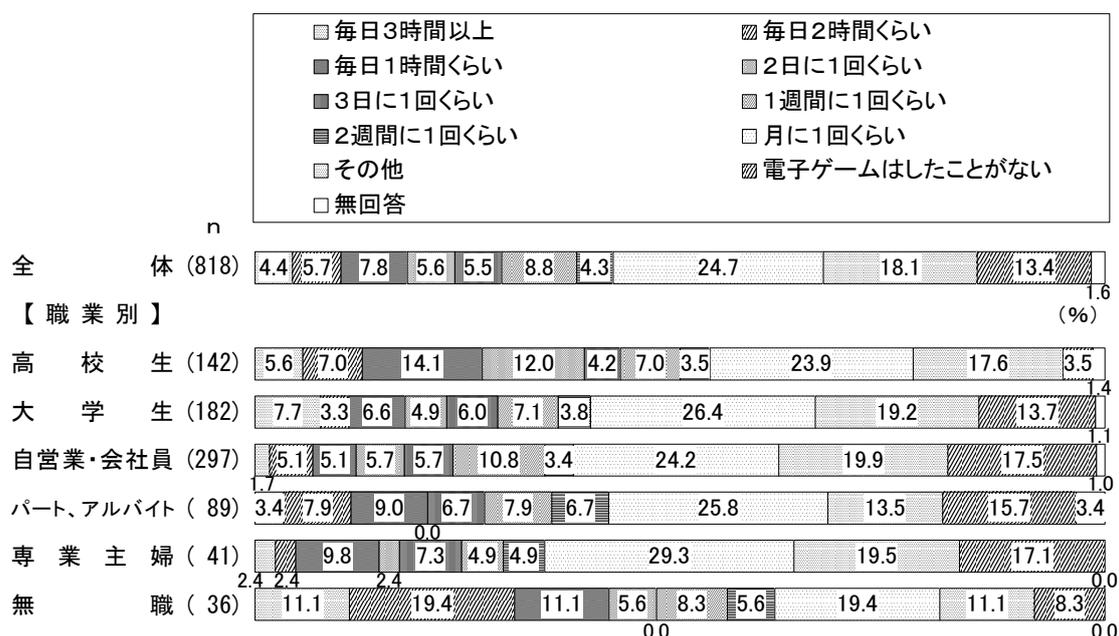
電子ゲームをどのくらいの割合でするか聞いたところ、「月に1回くらい」（24.7%）が最も多く、「毎日1時間くらい」（7.8%）、「毎日2時間くらい」（5.7%）、「毎日3時間以上」（4.4%）の3つを合わせた、毎日テレビゲームをしている人の割合は17.9%となっている。（図表6-2-1）

図表6-2-1



職業別にみると、毎日テレビゲームをしている人の割合は無職で41.6%、高校生で26.7%、パート、アルバイトで20.3%となっている。「月に1回くらい」は専業主婦で29.3%と最も多くなっている。（図表6-2-2）

図表6-2-2 テレビゲームをする頻度（職業別）



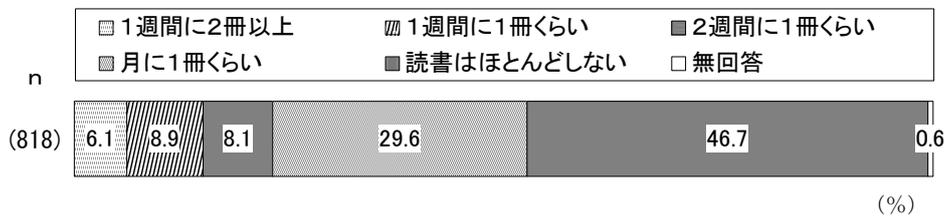
(3) 読書量

◇「読書はほとんどしない」は46.7%、「月に1冊くらい」は29.6%

問33 あなたはどのくらいの割合で読書をしますか（マンガ・雑誌は除く）。次の中から1つ選んで○をしてください。（類似質問：満10歳～14歳62ページ参照）

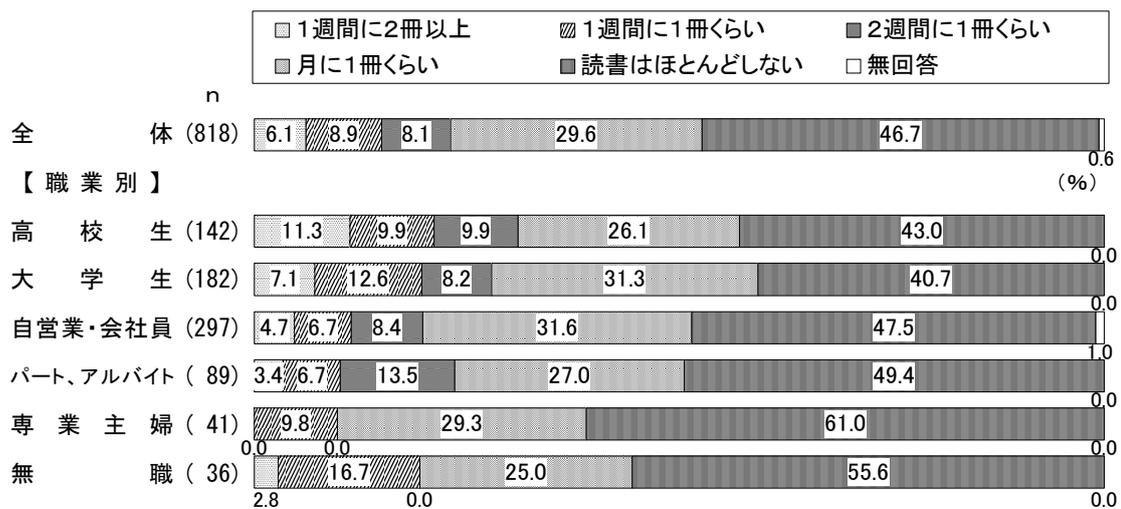
どのくらいの割合で読書をするか聞いたところ、「1週間に2冊以上」が6.1%、「1週間に1冊くらい」が8.9%、「2週間に1冊くらい」が8.1%、「月に1冊くらい」が29.6%となっている。また、「読書はほとんどしない」は46.7%となっている。（図表6-3-1）

図表6-3-1



職業別にみると、「読書はほとんどしない」は専業主婦で61.0%、無職で55.6%となっている。「月に1冊くらい」はすべての職業で3割前後となっている。（図表6-3-2）

図表6-3-2 読書量（職業別）



(4) 携帯電話のメール送信頻度

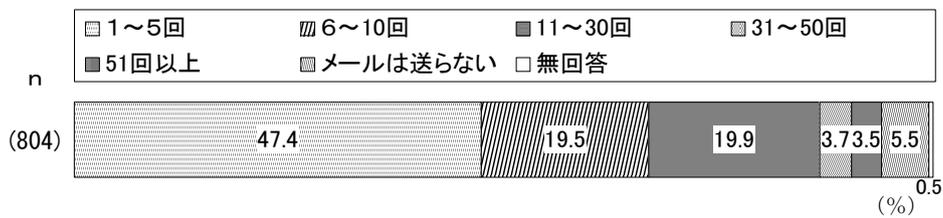
◇「1～5回」が47.4%、「11～30回」が19.9%

(携帯電話 (PHSを含む) を持っているすべての方に伺います)

問34 あなたは平均して1日に、携帯電話 (PHSを含む) を使って何回くらいメールを送りますか。次の中から1つ選んで○をしてください。

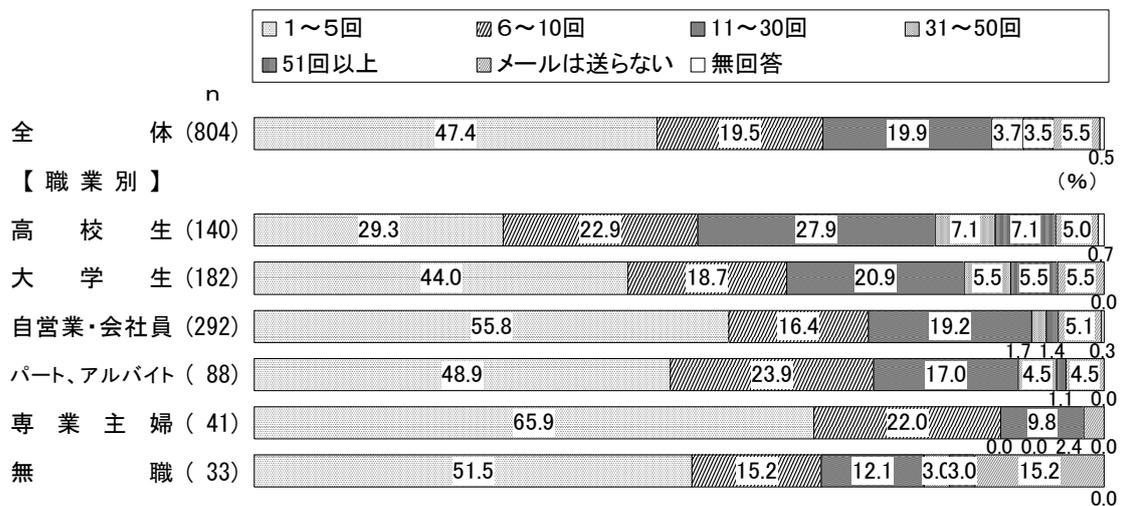
1日に携帯電話 (PHSを含む) を使って何回くらいメールを送るか聞いたところ、「1～5回」が47.4%、「6～10回」が19.5%、「11～30回」が19.9%、「31～50回」が3.7%、「51回以上」が3.5%となっている。また、「メールは送らない」は5.5%となっている。(図表6-4-1)

図表6-4-1



職業別にみると、「1～5回」は専業主婦で65.9%、自営業・会社員で55.8%となっている。「11～30回」は高校生で27.9%、大学生で20.9%となっている。「メールは送らない」は無職で15.2%と最も多くなっている。(図表6-4-2)

図表6-4-2 携帯電話のメール送信頻度 (職業別)



(5) 携帯電話のメール送信先

◇<家族へのメール>は「ほとんど毎日」が21.6%

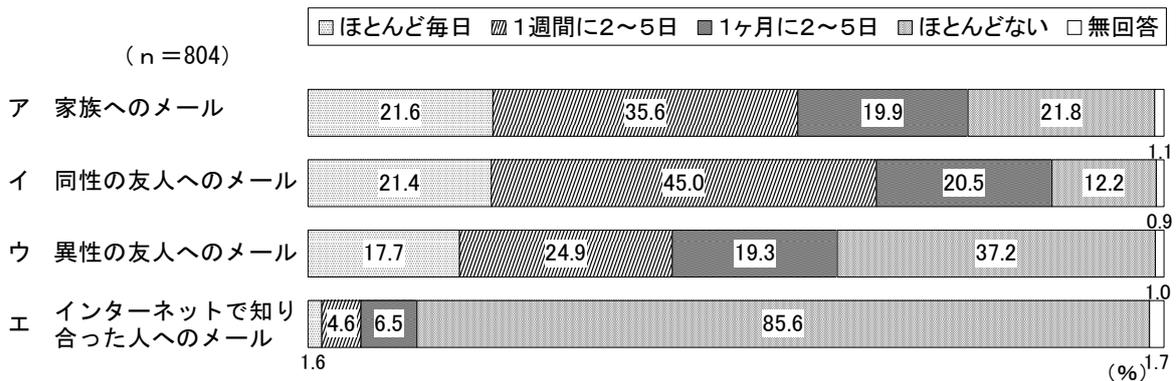
(携帯電話 (PHSを含む) を持っているすべての方に伺います)

問35 携帯電話 (PHSを含む) を使って、次の人にメールを送る日はどのくらいありますか。それぞれについて、1つ選んで○をしてください。

携帯電話 (PHSを含む) を使って、次の人にメールを送る日はどのくらいあるか聞いたところ、「ほとんど毎日」は<ア 家族へのメール> (21.6%)、<イ 同性の友人へのメール> (21.4%) で2割台となっている。「1週間に2～5日」は<イ 同性の友人へのメール> (45.0%) で最も多くなっている。「1ヶ月に2～5日」は<イ 同性の友人へのメール> (20.5%)、<ア 家族へのメール> (19.9%)、<ウ 異性の友人へのメール> (19.3%) となっている。「ほとんどない」は<エ インターネット知り合った人へのメール> (85.6%) で最も多くなっている。

(図表6-5-1)

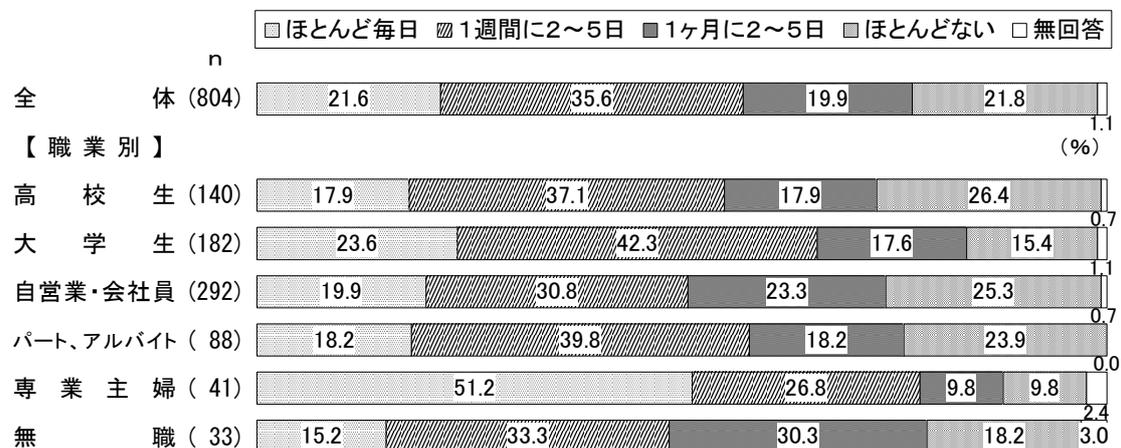
図表6-5-1



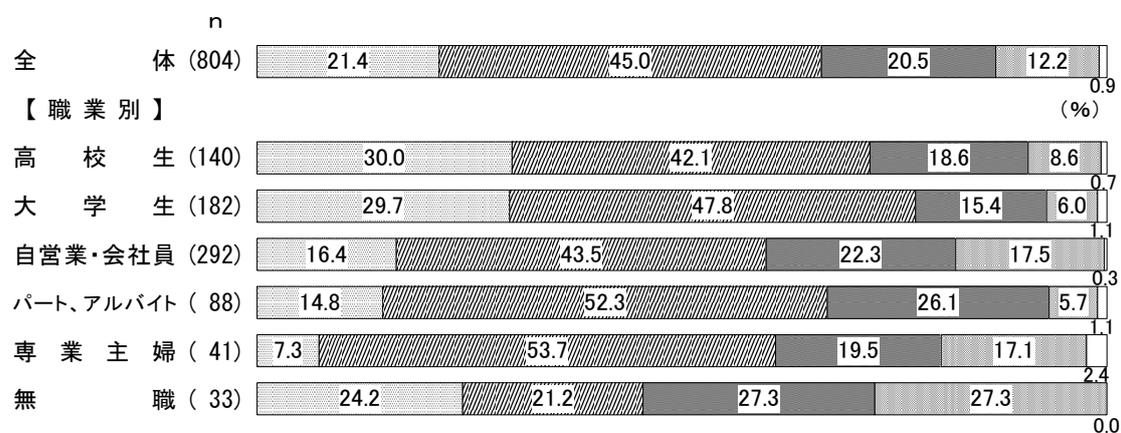
職業別にみると、<ア 家族へのメール>は専業主婦で「ほとんど毎日」が51.2%と最も多くなっている。<イ 同性の友人へのメール>は「ほとんど毎日」が高校生で30.0%、大学生で29.7%となっており、「1週間に2～5日」は専業主婦で53.7%、パート、アルバイトで52.3%と多くなっている。<ウ 異性の友人へのメール>は「ほとんど毎日」が大学生で20.3%、高校生で19.3%となっており、「ほとんどない」は専業主婦で68.3%、無職で54.5%と多くなっている。<エ インターネット知り合った人へのメール>は「ほとんどない」がすべての職業で7割以上となっている。(図表6-5-2、図表6-5-3)

図表 6-5-2 携帯電話のメール送信先（職業別）

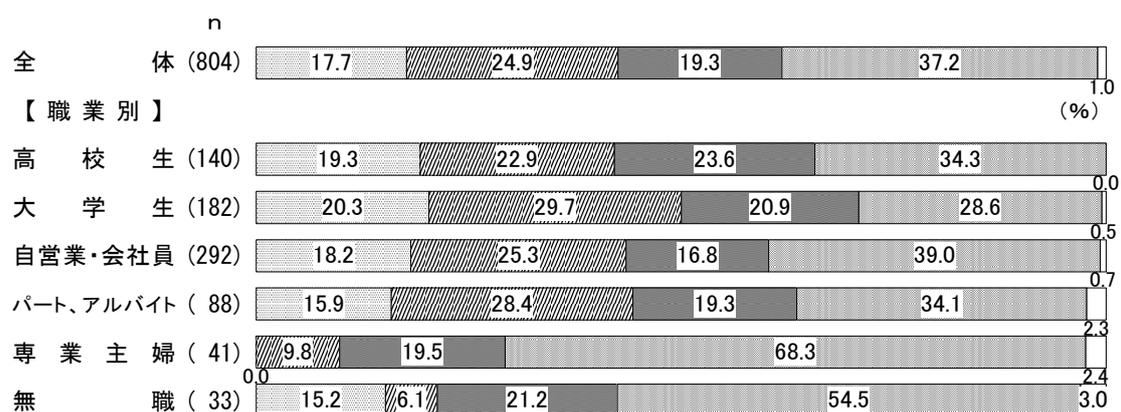
ア 家族へのメール



イ 同性の友人へのメール

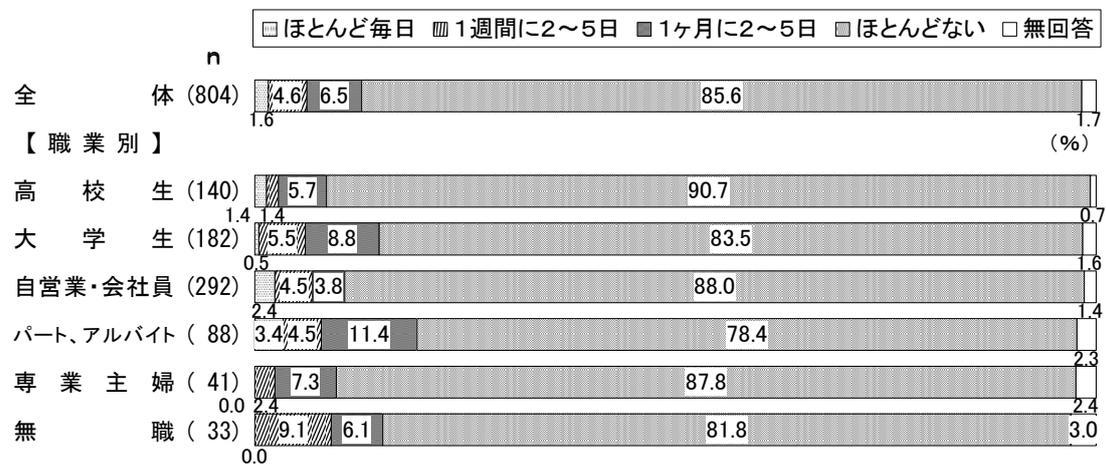


ウ 異性の友人へのメール



図表 6-5-3 携帯電話のメール送信先（職業別）（つづき）

エ インターネットで知り合った人へのメール



(6) インターネットの利用状況

◇「自分の趣味で利用する」が76.6%

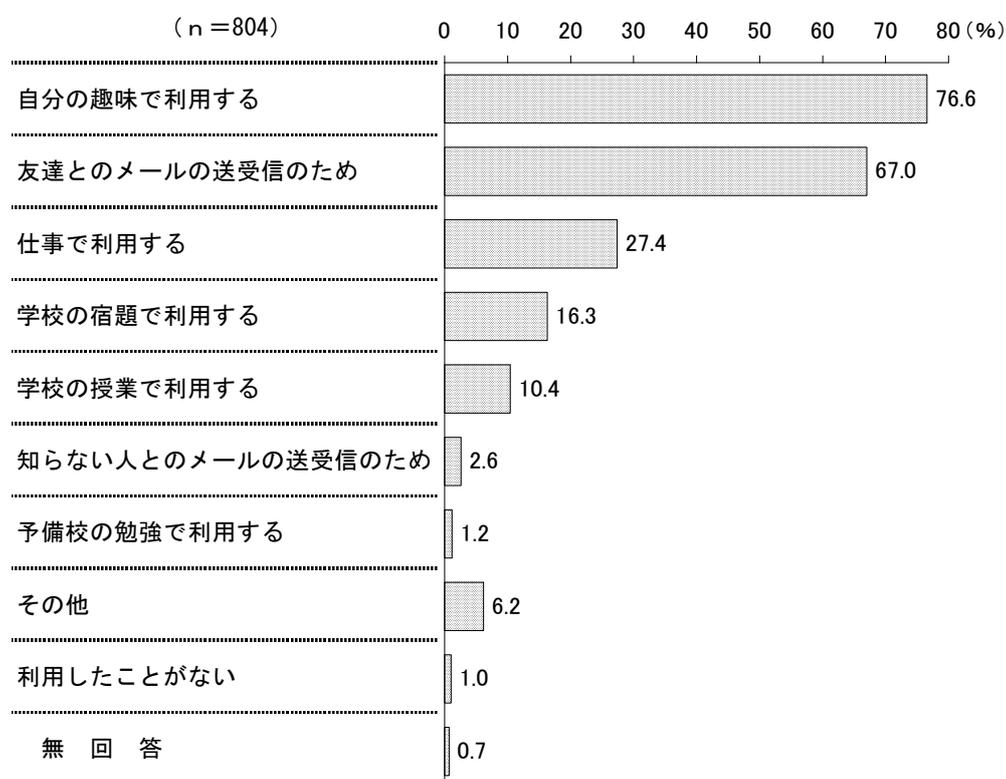
(携帯電話（PHSを含む）を持っているすべての方に伺います)

問36 あなたが普段、携帯電話（PHSを含む）やパソコンで、インターネットを利用する主な目的は何ですか。次の中で、あてはまるものすべてに○をしてください。

(類似質問：満10歳～14歳67ページ参照)

インターネットを利用する主な目的を聞いたところ、「自分の趣味で利用する」が76.6%で最も多く、次いで「友達とのメールの送受信のため利用する」(67.0%)、「仕事で利用する」(27.4%)、「学校の宿題で利用する」(16.3%)などの順となっている。(図表6-6-1)

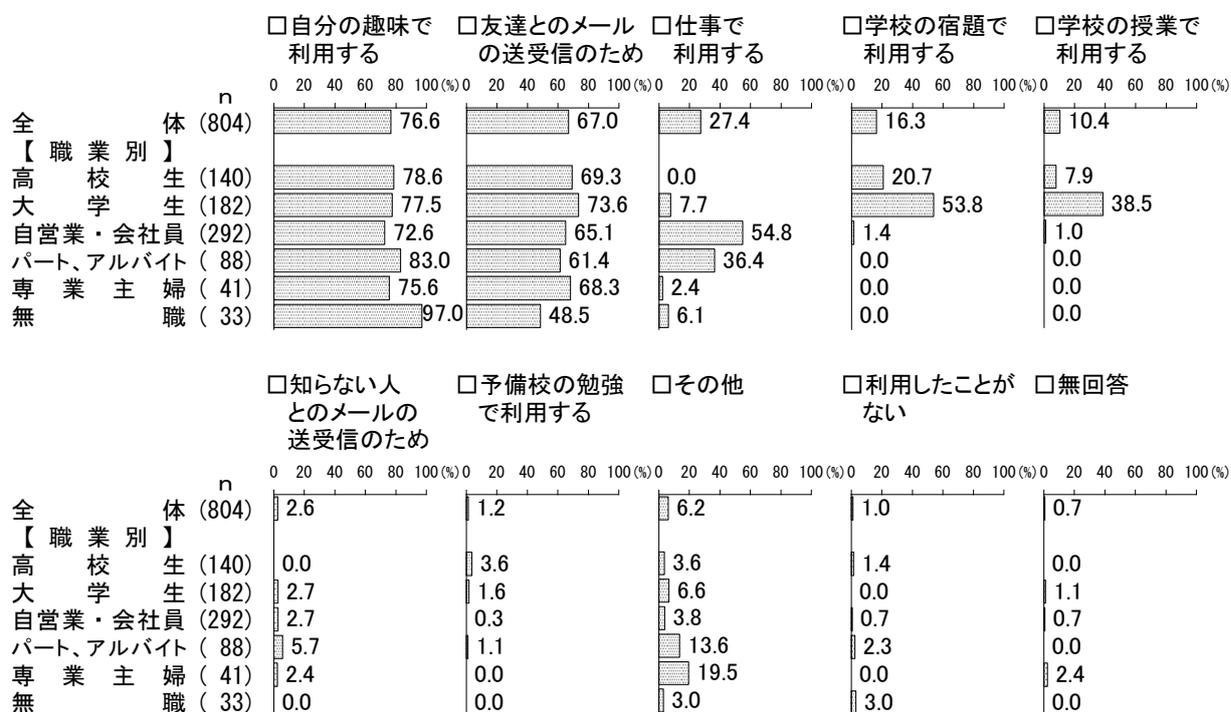
図表6-6-1



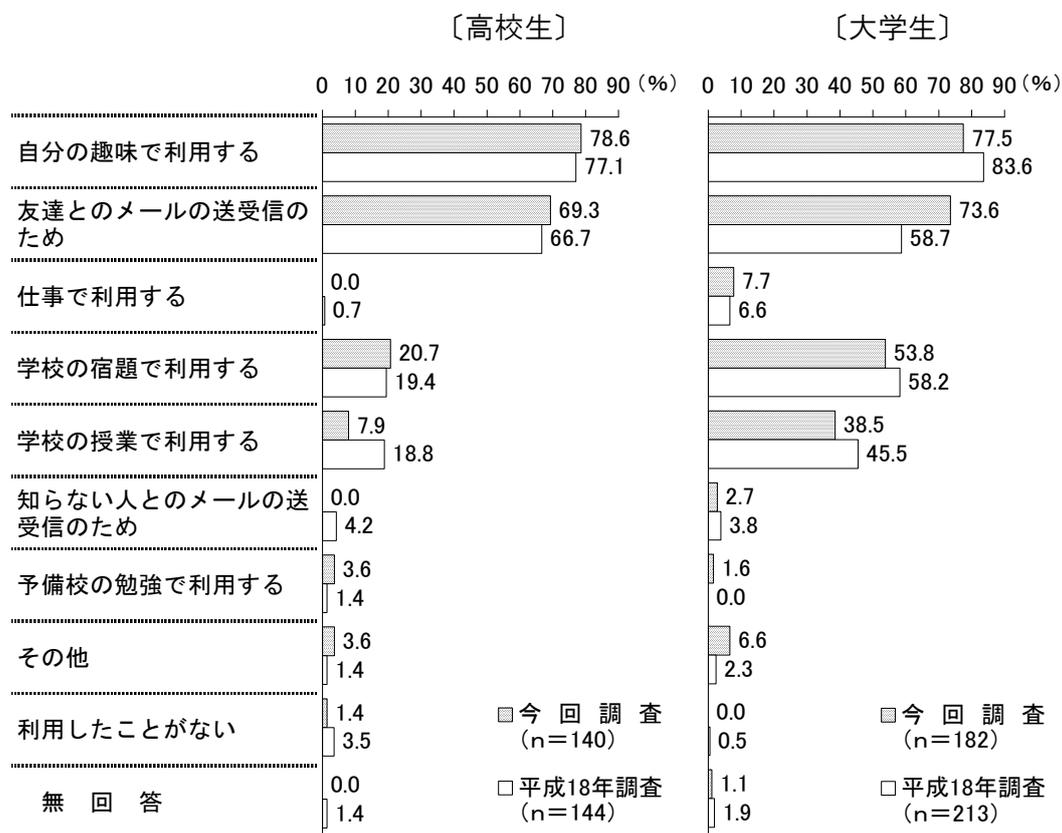
職業別にみると、「自分の趣味で利用する」は無職で97.0%と最も多くなっている。「学校の宿題で利用する」は大学生で53.8%、高校生で20.7%、「学校の授業で利用する」は大学生で38.5%、高校生で7.9%となっている。(図表6-6-2)

平成18年調査と比較すると、「友達とのメールの送受信のため利用する」は高校生で2.6ポイント、大学生で14.9ポイント増加し、「学校の授業で利用する」は高校生で10.9ポイント、大学生で7.0ポイント減少している。(図表6-6-3)

図表6-6-2 インターネットの利用状況（職業別）



図表6-6-3 インターネットの利用状況（年代別経年比較）



(7) インターネットの利用による生活の変化

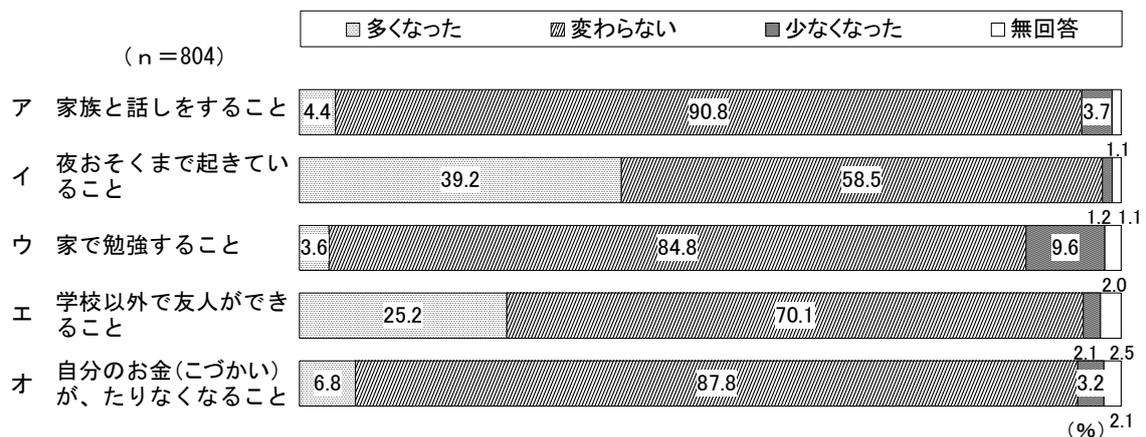
◇「多くなった」は<夜おそくまで起きていること>で39.2%

(携帯電話 (PHSを含む) を持っているすべての方に伺います)

問37 携帯電話 (PHSを含む) やパソコンからインターネットを使うようになってから、次のことは多くなりましたか。少なくなりましたか。ア～オのそれぞれについて、1つ選んで○をつけてください。

携帯電話 (PHSを含む) やパソコンからインターネットを使うようになってから、5項目について多くなったか、または少なくなったかを聞いたところ、「多くなった」は<イ 夜おそくまで起きていること> (39.2%)、<エ 学校以外で友人ができること> (25.2%) となっている。「少なくなった」は<ウ 家で勉強すること> (9.6%) となっている。(図表6-7-1)

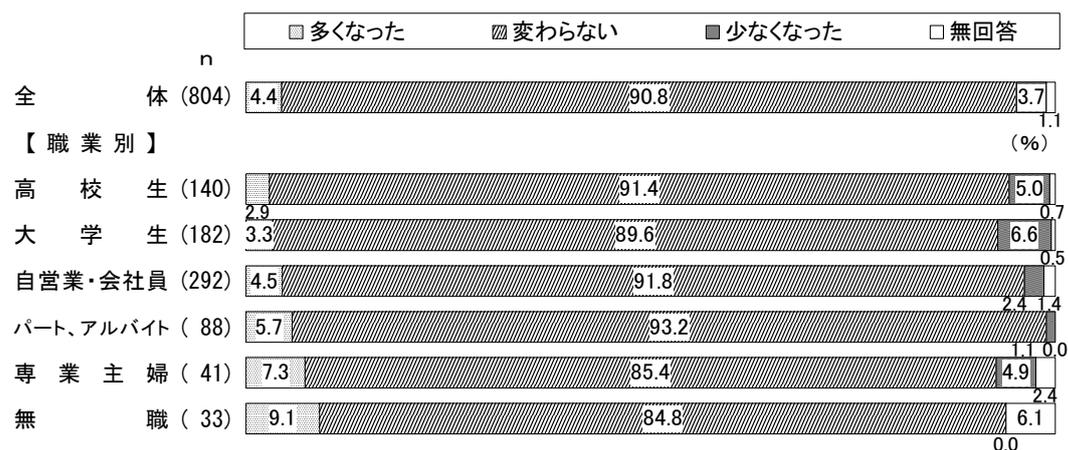
図表6-7-1



職業別にみると、<イ 夜おそくまで起きていること>では、無職、大学生、専業主婦で「多くなった」が5割台となっている。また、その他の4項目については大きな傾向の違いはみられない。(図表6-7-2～図表6-7-4)

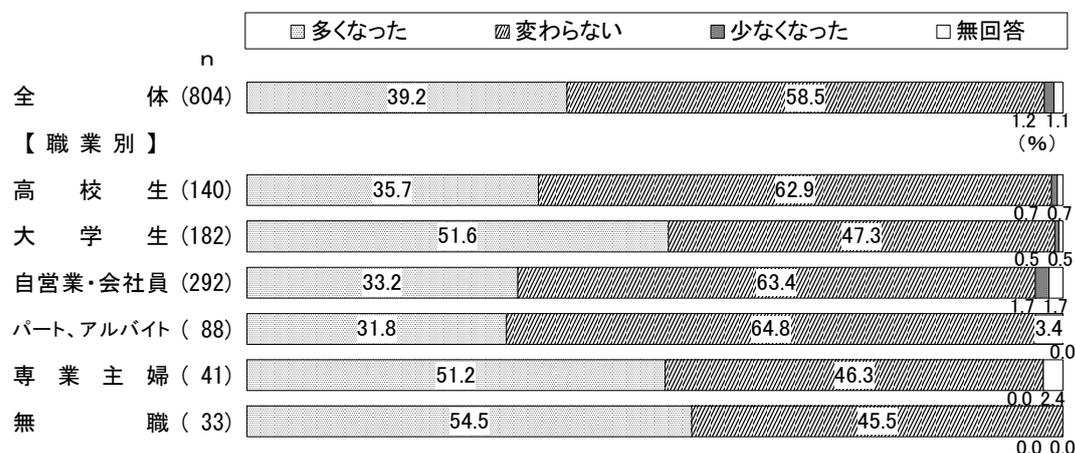
図表6-7-2 インターネットの利用による生活の変化 (職業別)

ア 家族と話しをすること

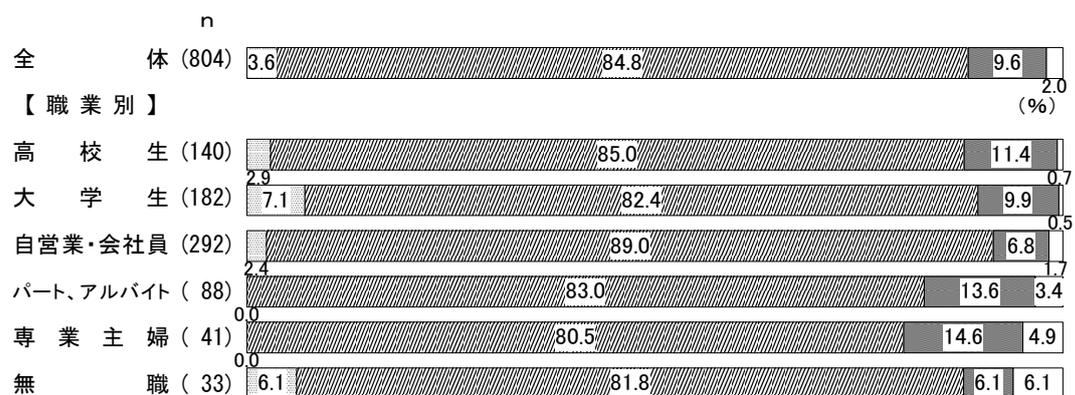


図表6-7-3 インターネットの利用による生活の変化（職業別）（つづき）

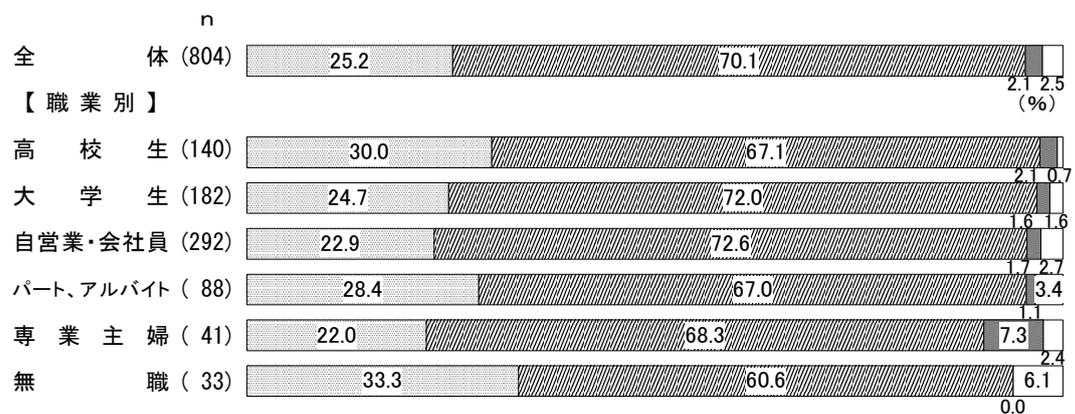
イ 夜おそくまで起きていること



ウ 家で勉強すること

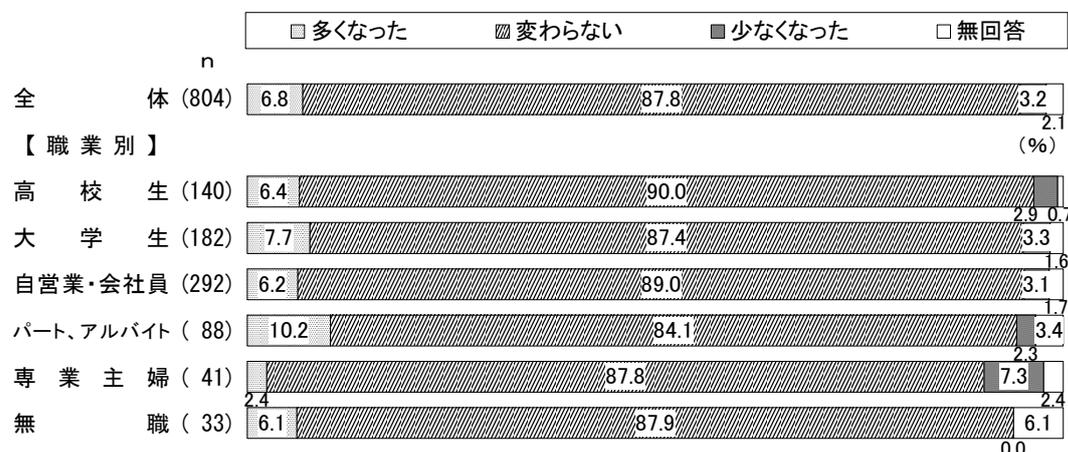


エ 学校以外で友人ができること



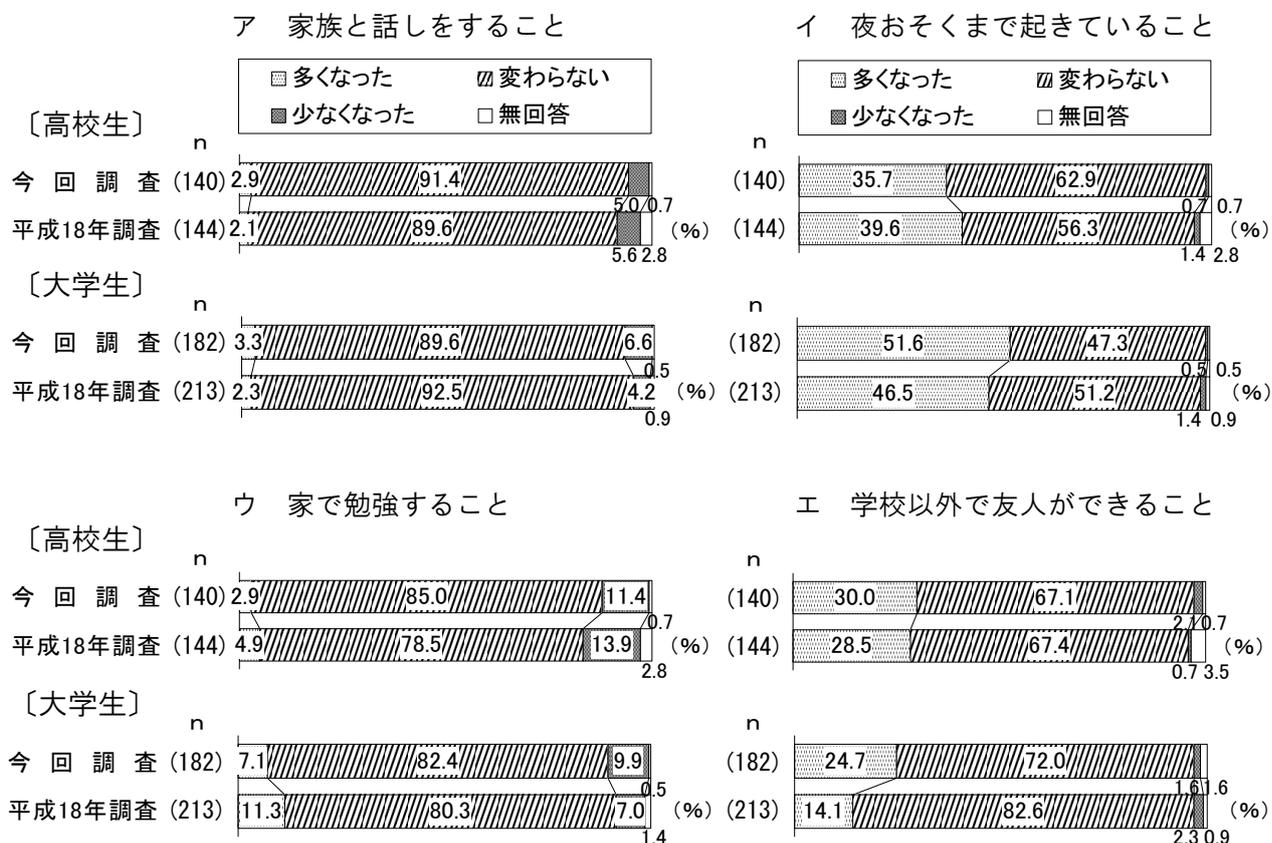
図表6-7-4 インターネットの利用による生活の変化（職業別）（つづき）

オ 自分のお金（こづかい）が、たりなくなること



平成18年調査と比較すると、〈エ 学校以外で友人ができること〉は大学生で「多くなった」が10.6ポイント増加している。（図表6-7-5）

図表6-7-5 インターネットの利用による生活の変化（年代別経年比較）



（注）〈オ 自分のお金（こづかい）が、たりなくなること〉は今回調査で新規に追加した項目である。

(8) 携帯電話の利用料金

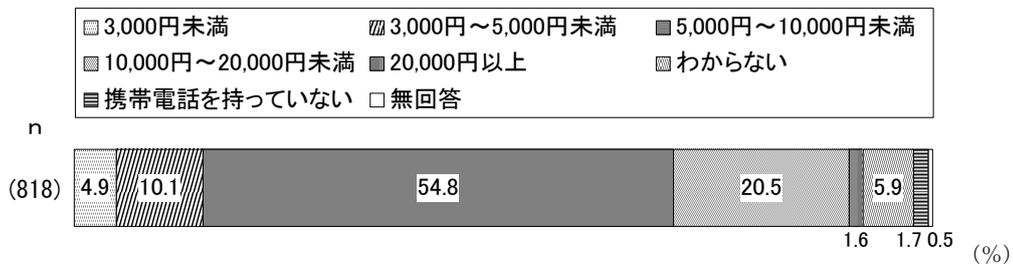
◇「5,000円以上10,000円未満」が54.8%

(携帯電話 (PHSを含む) を持っているすべての方に伺います)

問38 あなたの1か月の携帯電話利用料金はいくらぐらいですか。次の中から1つ選んで〇をしてください。(類似質問：保護者220ページ参照)

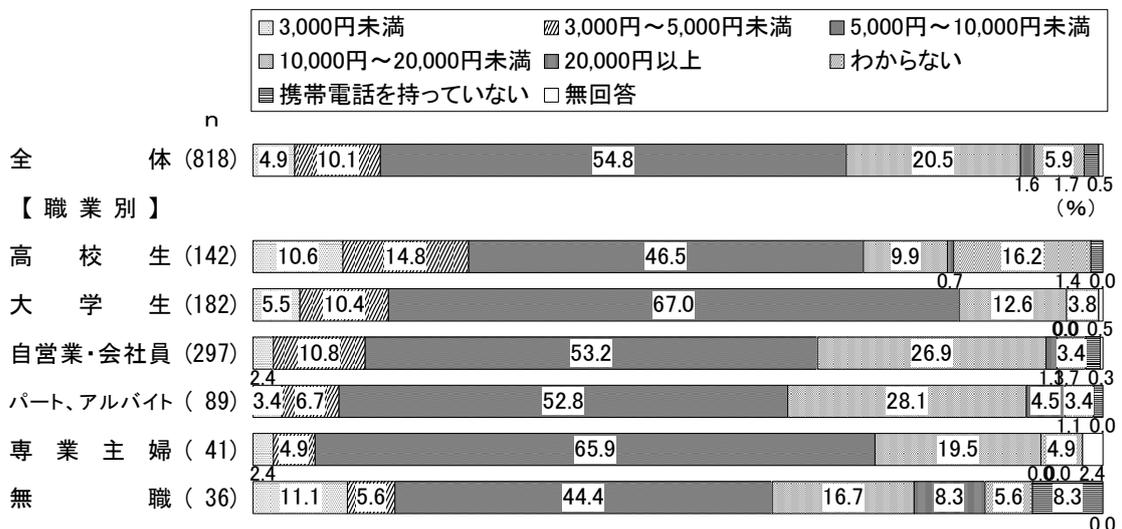
携帯電話 (PHSを含む) を持っている人に、1か月の携帯電話利用料金はいくらぐらいか聞いたところ、「3,000円未満」が4.9%、「3,000円以上5,000円未満」が10.1%、「5,000円以上10,000円未満」が54.8%、「10,000円以上20,000円未満」が20.5%、「20,000円以上」が1.6%となっている。また、「携帯電話を持っていない」は1.7%となっている。(図表6-8-1)

図表6-8-1



職業別にみると「5,000円以上10,000円未満」の割合がすべての職業で多くなっており、特に大学生では67.0%となっている。(図表6-8-2)

図表6-8-2 携帯電話の利用料金 (職業別)



(9) フィルタリングサービスの利用状況

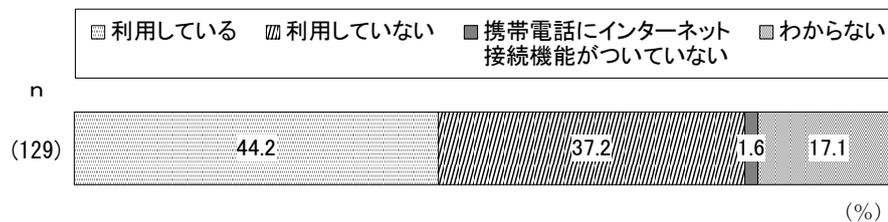
◇「利用している」は44.2%、「利用していない」は37.2%

(携帯電話（PHSを含む）を持っている18歳未満の方に伺います)

問39 あなたは携帯電話にフィルタリングサービスを利用していますか。次の中から1つ選んで○をしてください。(類似質問：満10歳～14歳65ページ、保護者218ページ参照)

携帯電話を「持っている」と答えた人に、携帯電話にフィルタリングサービスを利用しているか聞いたところ、「利用している」は44.2%、「利用していない」は37.2%となっている。また「わからない」は17.1%である。(図表6-9-1)

図表6-9-1



(10) 携帯電話の利用のルール

◇「特にルールは決めていない」が64.3%

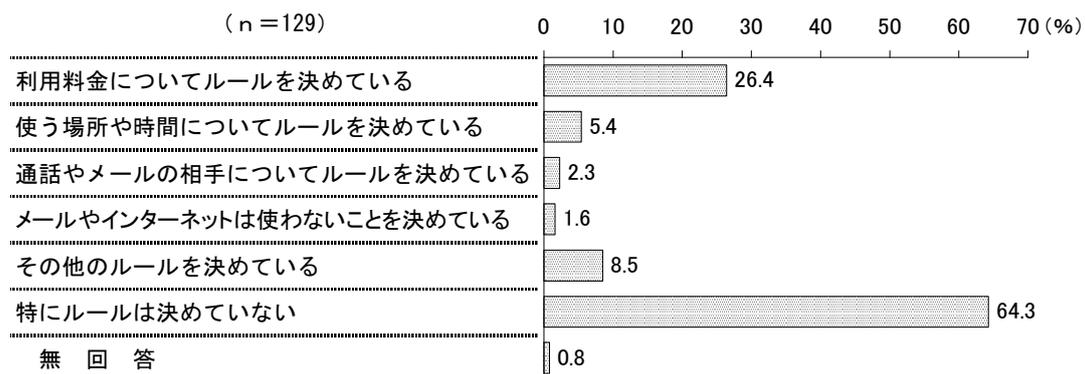
(携帯電話（PHSを含む）を持っている18歳未満の方に伺います)

問40 あなたは、携帯電話の利用について、おうちの人と何かルールを決めていますか。あてはまるものすべてに○を付けてください。

(類似質問：満10歳～14歳66ページ、保護者219ページ参照)

携帯電話を「持っている」と答えた人に、携帯電話の利用についてルールを決めているか聞いたところ、「特にルールは決めていない」が64.3%で最も多く、次いで「利用料金についてルールを決めている」(26.4%)、「その他のルールを決めている」(8.5%)、「使う場所や時間についてルールを決めている」(5.4%)などの順となっている。(図表6-10-1)

図表6-10-1



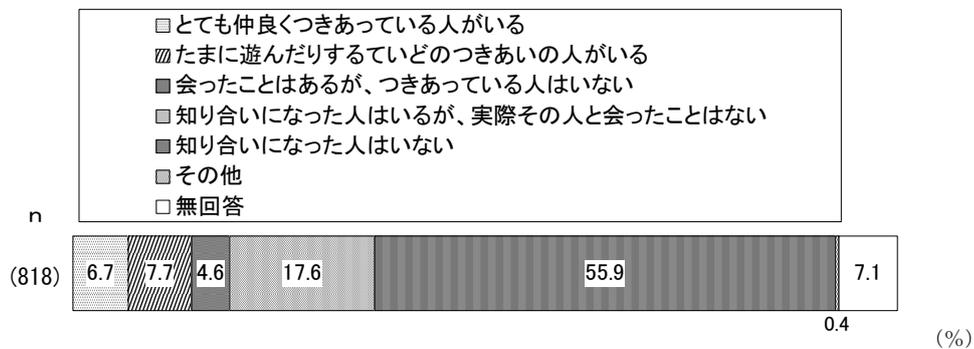
(11) インターネットを通じて知り合った人とのつきあい

◇「知り合いになった人はいない」が55.9%

問41 あなたは、インターネットで知り合った人がいますか。ある人は、そこで知り合った人とどのようなつきあいをしていますか。次の中から1つ選んで○をしてください。
(類似質問：満10歳～14歳69ページ参照)

インターネットで知り合った人がいるか、またそこで知り合った人とどのようなつきあいをしているか聞いたところ、「知り合いになった人はいない」が55.9%、「知り合いになった人はいませんが、実際その人と会ったことはない」が17.6%となっている。実際に会ったことがある人の割合は19.0%である。(図表6-11-1)

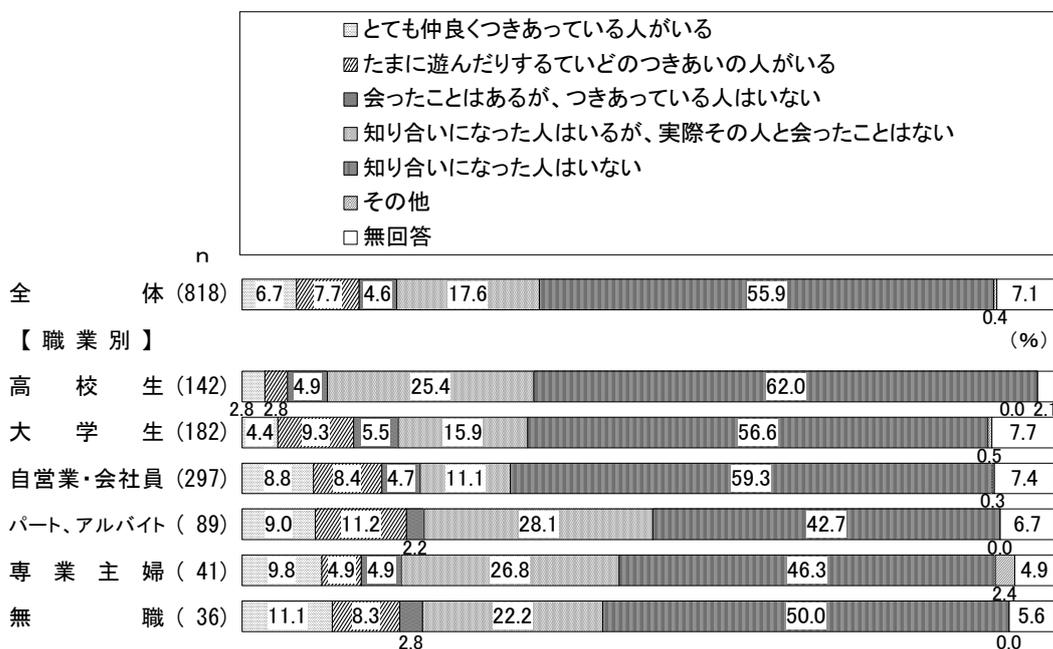
図表6-11-1



職業別にみると、「知り合いになった人はいない」は高校生で62.0%と最も多くなっている。実際に会ったことがある人の割合はパート、アルバイトで22.4%、無職で22.2%となっている。

(図表6-11-2)

図表6-11-2 インターネットを通じて知り合った人とのつきあい (職業別)



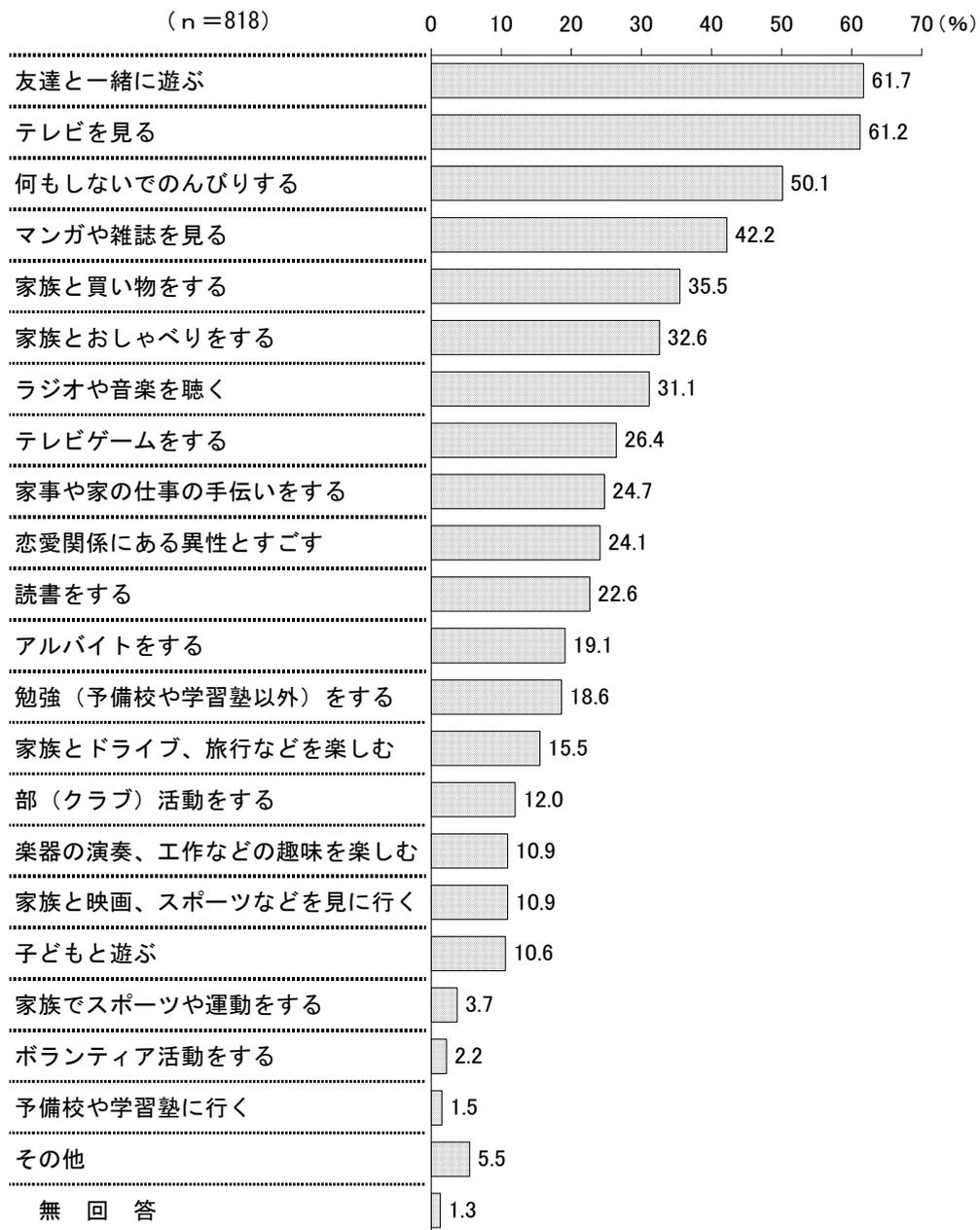
(12) 休日の過ごし方

◇「友達と一緒に遊ぶ」が61.7%、「テレビを見る」が61.2%

問43 あなたは、休日をどのように過ごしていますか。次の中からあてはまるものすべてに○をしてください。(類似質問：満10歳～14歳70ページ参照)

休日をどのように過ごしているか聞いたところ、「友達と一緒に遊ぶ」が61.7%、「テレビを見る」が61.2%で、この2項目が多く、次いで「何もしないでのんびりする」(50.1%)、「マンガや雑誌を見る」(42.2%)、「家族と買い物をする」(35.5%)、「家族とおしゃべりをする」(32.6%)などの順となっている。(図表6-12-1)

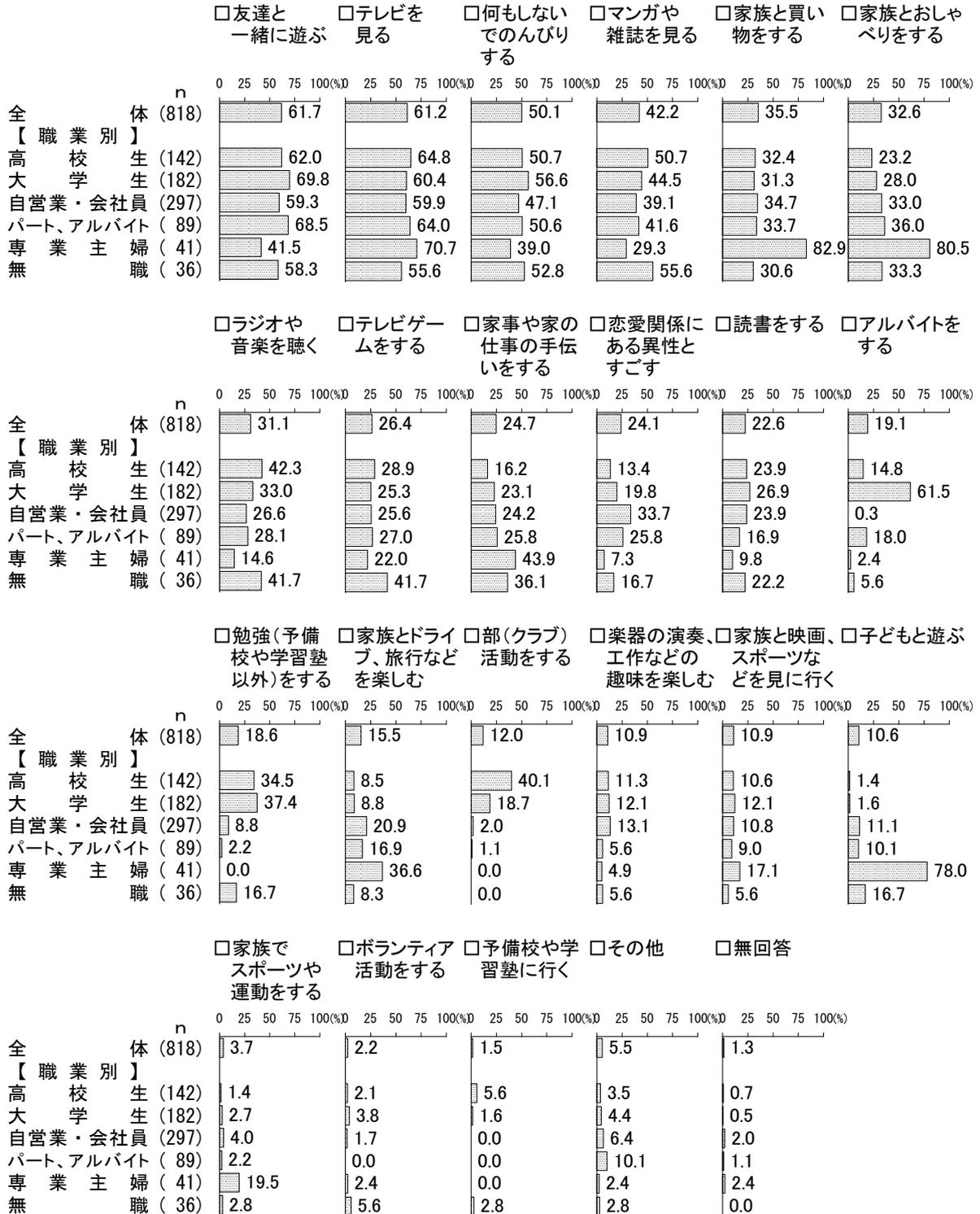
図表6-12-1



職業別にみると、「友達と一緒に遊ぶ」は専業主婦以外のすべての職業で5割以上となっている。「家族と買い物をする」と「家族とおしゃべりをする」は専業主婦で8割台となっている。

(図表6-12-2)

図表6-12-2 休日の過ごし方(職業別)



過去の調査結果と比較すると、高校生、大学生ともに順位に変動はあるが、上位5項目は同じになっている。「テレビを見る」は高校生で平成18年度調査から引き続き第1位となっており、「友達と一緒に遊ぶ」は大学生で平成13年度調査から引き続き第1位となっている。(図表6-12-3)

図表6-12-3 休日の過ごし方（年代別経年比較）（上位5項目）

調査年 順位	高 校 生		
	今回調査 (%)	平成18年度 (%)	平成13年度 (%)
第1位	テレビを見る (64.8)	テレビを見る (63.9)	友達と一緒に遊ぶ (73.6)
第2位	友達と一緒に遊ぶ (62.0)	友達と一緒に遊ぶ (61.1)	テレビを見る (71.8)
第3位	マンガや雑誌を見る (50.7)	ラジオや音楽を聴く (58.3)	マンガや雑誌を見る (54.2)
第4位	何もしないでのんびりする (50.7)	マンガや雑誌を見る (52.8)	ラジオや音楽を聴く (50.9)
第5位	ラジオや音楽を聴く (42.3)	何もしないでのんびりする (47.2)	何もしないでのんびりする (46.3)

調査年 順位	大 学 生		
	今回調査 (%)	平成18年度 (%)	平成13年度 (%)
第1位	友達と一緒に遊ぶ (69.8)	友達と一緒に遊ぶ (64.8)	友達と一緒に遊ぶ (83.2)
第2位	アルバイトをする (61.5)	テレビを見る (63.8)	アルバイトをする (63.9)
第3位	テレビを見る (60.4)	アルバイトをする (60.1)	テレビを見る (58.8)
第4位	何もしないでのんびりする (56.6)	何もしないでのんびりする (51.2)	何もしないでのんびりする (52.9)
第5位	マンガや雑誌を見る (44.5)	マンガや雑誌を見る (50.2)	マンガや雑誌を見る (44.5)

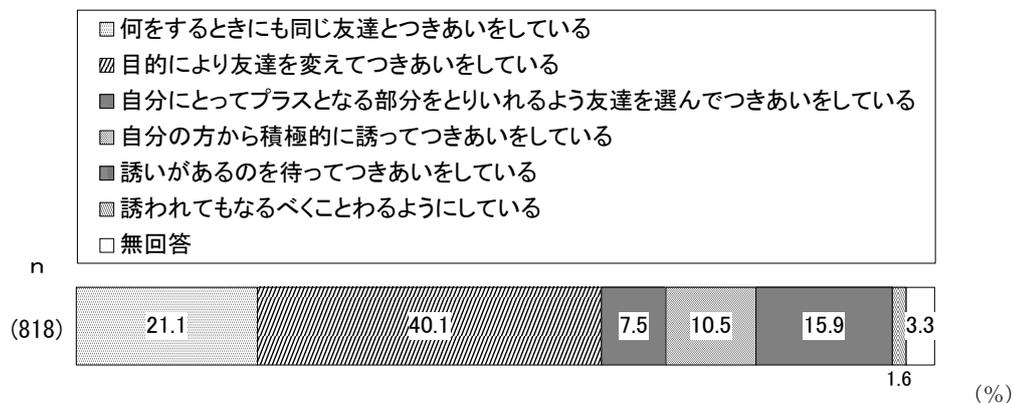
(13) 友達とのつきあい方

◇「目的により友達を変えてつきあいをしている」が40.1%

問44 あなたは、友達とどのようにつきあっていますか。次の中から1つ選んで○をしてください。(類似質問：満10歳～14歳78ページ参照)

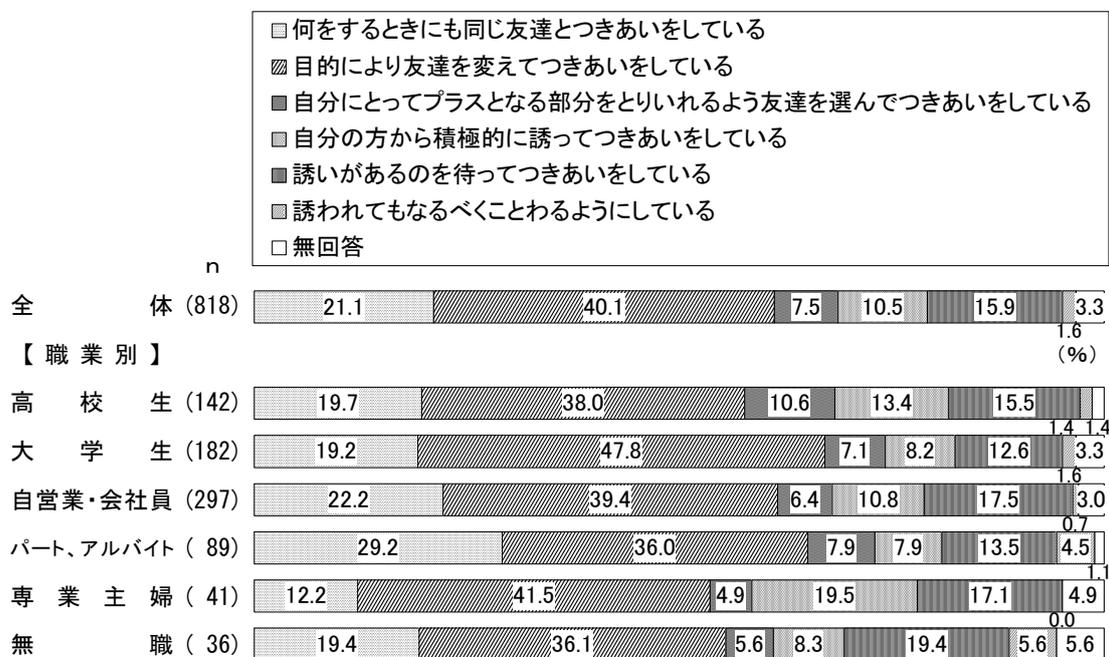
友達とどのようにつきあっているか聞いたところ、「目的により友達を変えてつきあいをしている」が40.1%、「何をするときにも同じ友達とつきあいをしている」が21.1%、「誘いがあるのを待ってつきあいをしている」が15.9%などとなっている。(図表6-13-1)

図表6-13-1



職業別にみると、「目的により友達を変えてつきあいをしている」は大学生が47.8%、専業主婦が41.5%で4割台となっている。「何をするときにも同じ友達とつきあいをしている」はパート、アルバイトが29.2%、自営業・会社員が22.2%で2割台となっている。(図表6-13-2)

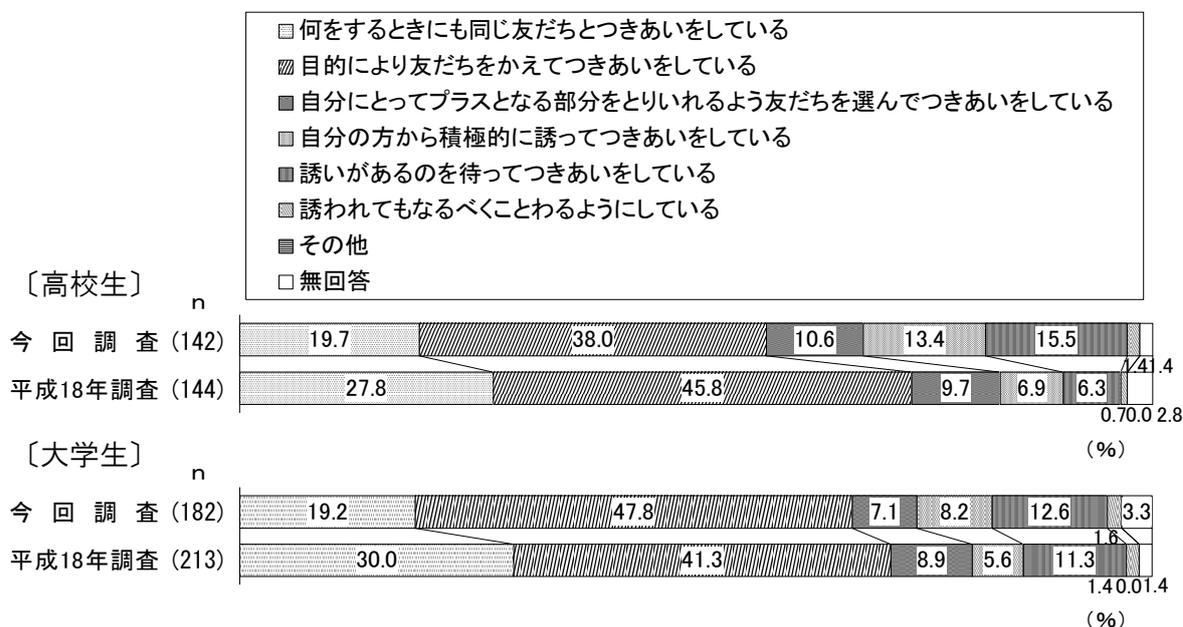
図表6-13-2 友達とのつきあい方(職業別)



平成18年調査と比較すると、「目的により友達を変えてつきあいをしている」は大学生では6.5ポイント増加しているが、高校生では7.8ポイント減少している。「何をするときにも同じ友達とつきあいをしている」は大学生で10.8ポイント、高校生で8.1ポイント減少している。

(図表6-13-3)

図表6-13-3 友達とのつきあい方(年代別経年比較)



7 悩みごとなどについて

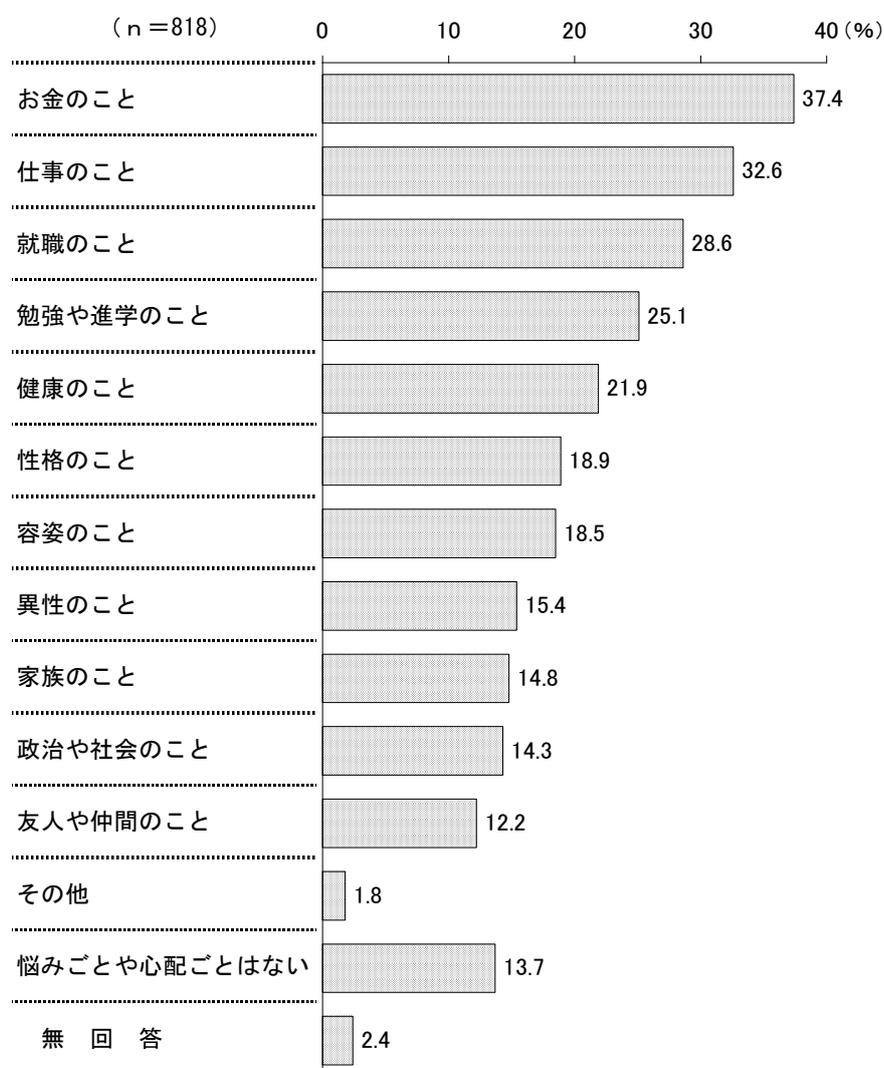
(1) 悩みごとや心配ごと

◇「お金のこと」が37.4%、「仕事のこと」が32.6%

問48 あなたには、悩みごとや心配ごとがありますか。次の中で、あてはまるものすべてに○をしてください。(類似質問：満10歳～14歳79ページ参照)

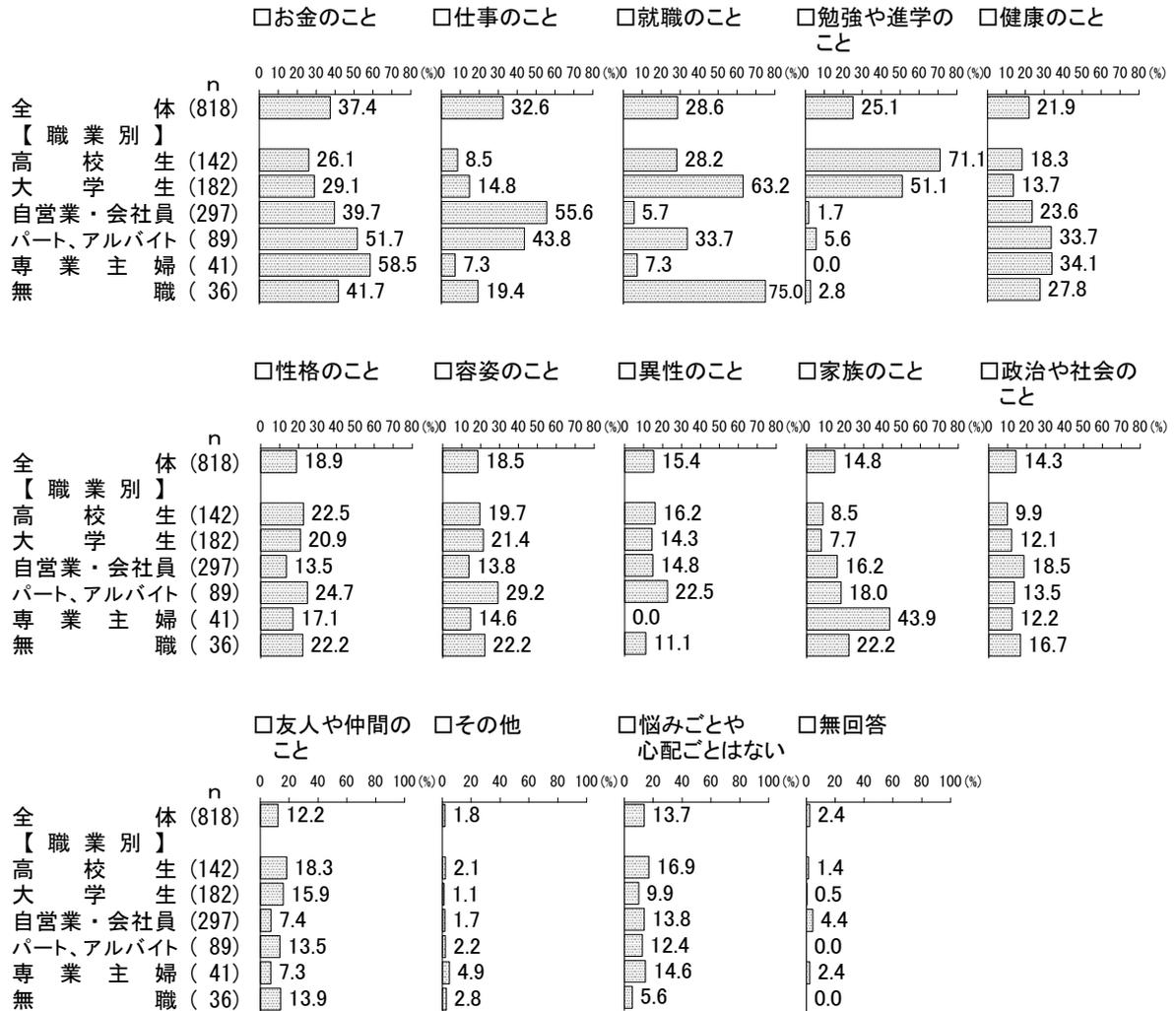
悩みごとや心配ごとを聞いたところ、「お金のこと」が37.4%で最も多く、次いで「仕事のこと」(32.6%)、「就職のこと」(28.6%)、「勉強や進学のこと」(25.1%)、「健康のこと」(21.9%)、「性格のこと」(18.9%)などの順となっている。(図表7-1-1)

図表7-1-1



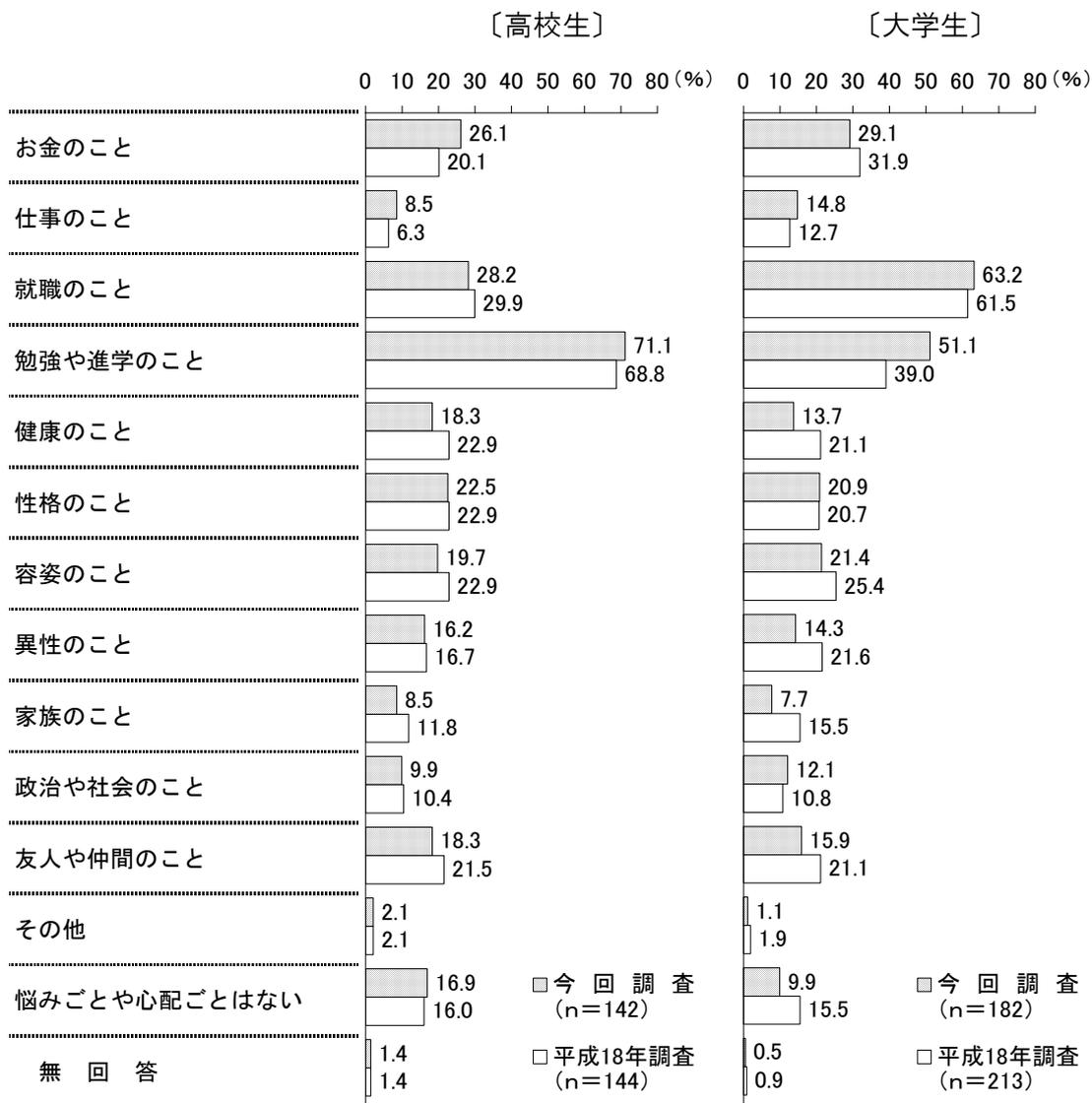
職業別にみると、「お金のこと」は専業主婦で58.5%、パート、アルバイトで51.7%と5割台となっている。「就職のこと」は無職で75.0%、大学生で63.2%と6割以上となっている。「勉強や進学のこと」は高校生で71.1%、大学生で51.1%と多くなっている。「健康のこと」は高校生で18.3%、専業主婦で34.1%と多くなっている。(図表7-1-2)

図表7-1-2 悩みごとや心配ごと (職業別)



平成18年調査と比較すると、大学生では「勉強や進学のこと」は12.1ポイント増加し、「家族のこと」は7.8ポイント減少している。高校生では「お金のこと」は6.0ポイント増加し、「健康のこと」は4.6ポイント減少している。(図表7-1-3)

図表7-1-3 悩みごとや心配ごと (年代別経年比較)



(2) 悩みごとの相談相手

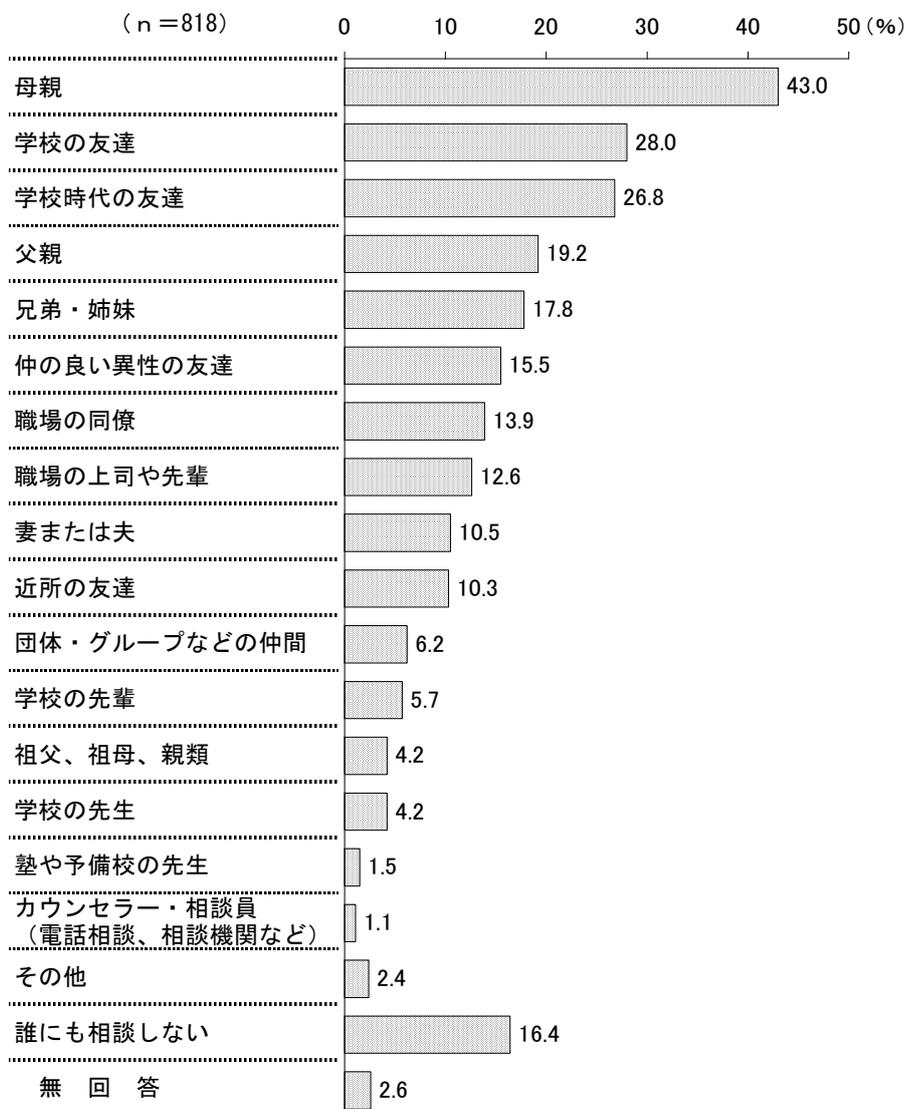
◇「母親」が43.0%、「学校の友達」が28.0%

問49 あなたは、悩みごとを誰に相談しますか。次の中で、あてはまるものすべてに○をしてください。(類似質問：満10歳～14歳81ページ参照)

悩みごとを誰に相談するか聞いたところ、「母親」が43.0%で最も多く、次いで「学校の友達」(28.0%)、「学校時代の友達」(26.8%)、「父親」(19.2%)、「兄弟・姉妹」(17.8%)、「仲の良い異性の友達」(15.5%)などの順となっている。「誰にも相談しない」は16.4%である。

(図表7-2-1)

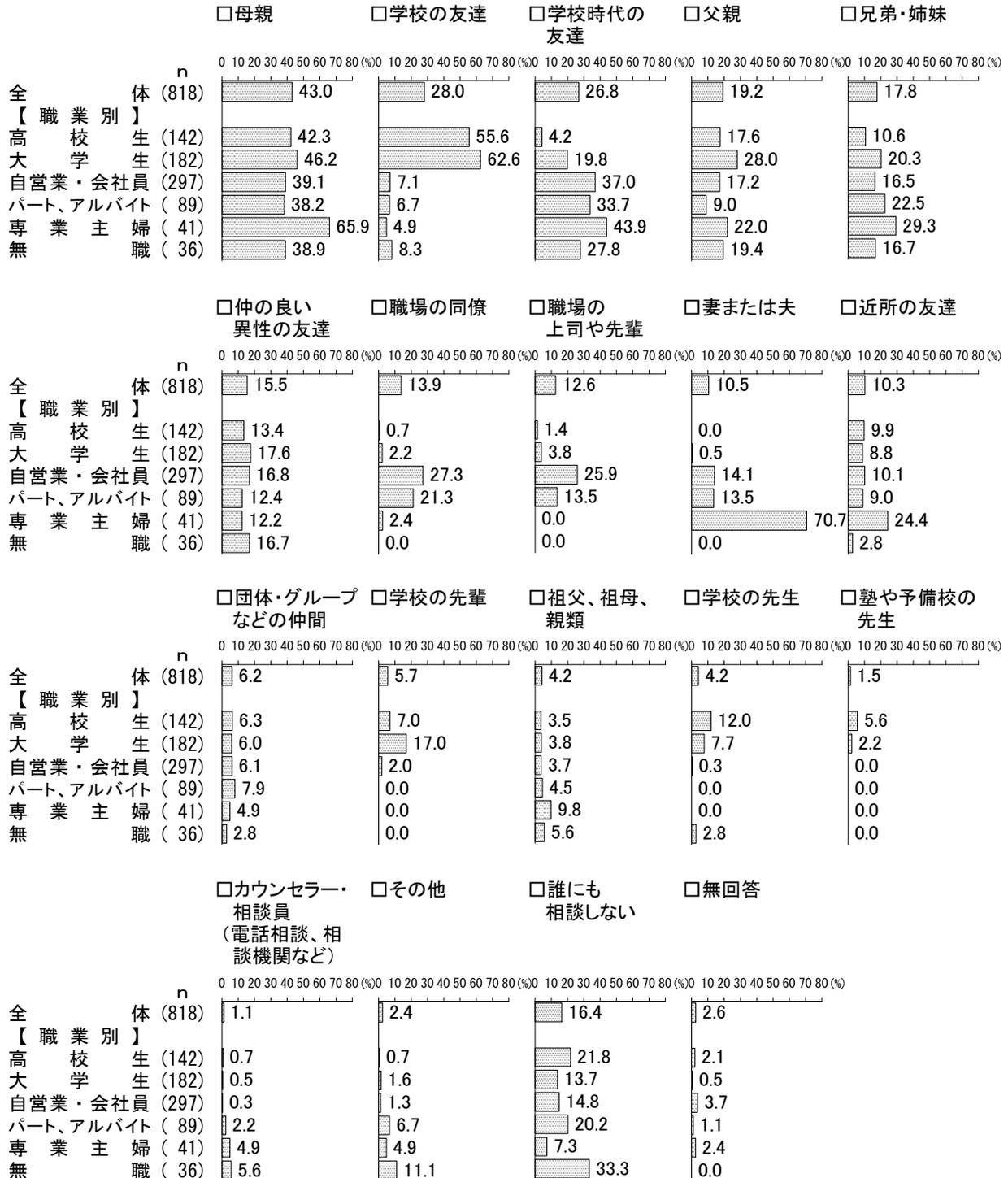
図表7-2-1



職業別にみると、専業主婦では「母親」が65.9%と最も多くなっている。「学校の友達」は大学生で62.6%、高校生で55.6%と多くなっている。「職場の同僚」は自営業・会社員で27.3%、パート、アルバイトで21.3%、「職場の上司や先輩」は自営業・会社員で25.9%、パート、アルバイトで13.5%と多くなっている。「誰にも相談しない」は無職で33.3%と最も多くなっている。

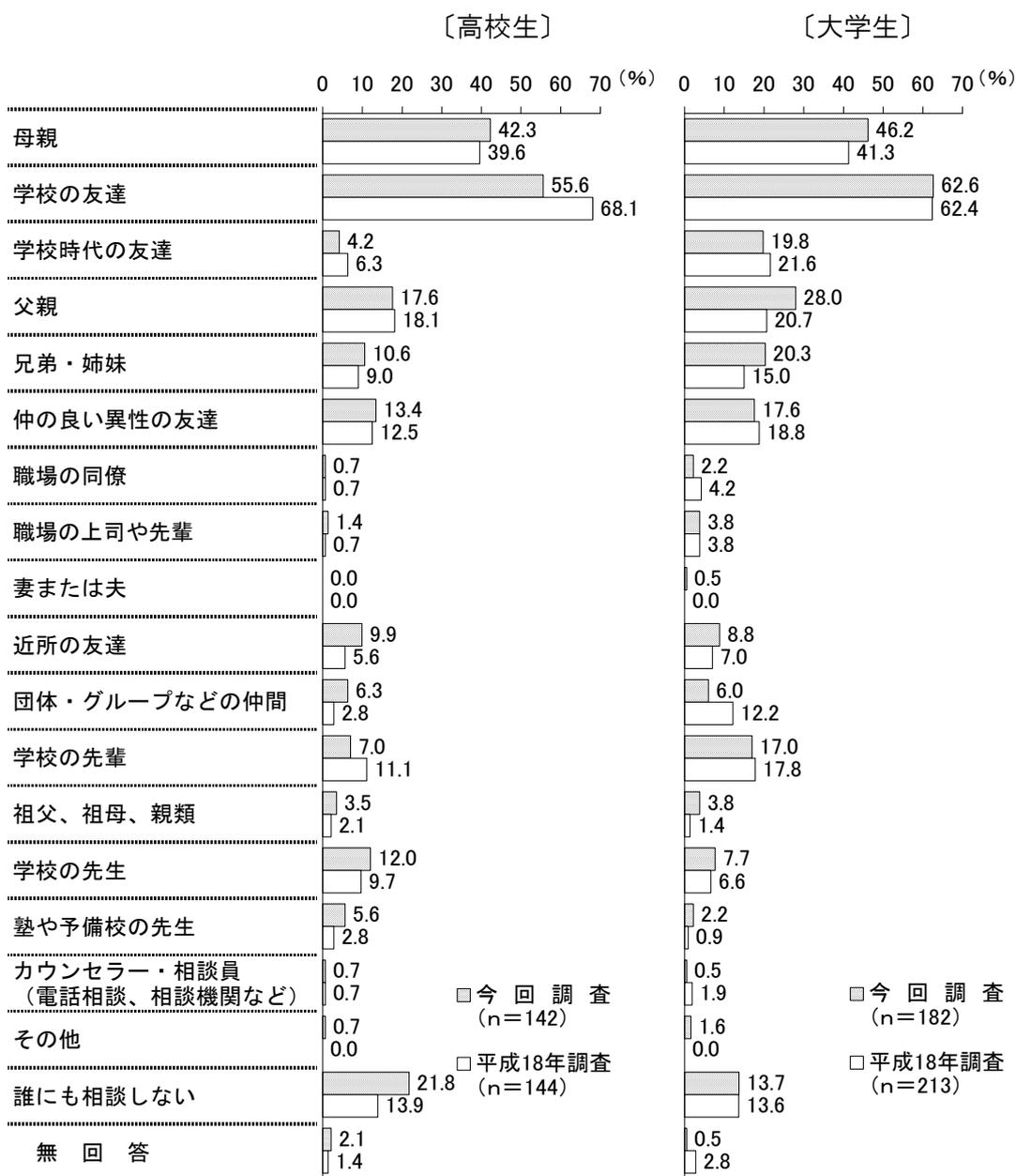
(図表7-2-2)

図表7-2-2 悩みごとの相談相手（職業別）



平成18年調査と比較すると、大学生では「父親」は7.3ポイント増加し、「団体・グループなどの仲間」は6.2ポイント減少している。高校生では「誰にも相談しない」は7.9ポイント増加し、「学校の友達」は12.5ポイント減少している。(図表7-2-3)

図表7-2-3 悩みごとの相談相手 (年代別経年比較)



8 青少年の非行などについて

(1) 非行・問題行動の経験

◇酒を飲んだことが「ある」は26.0%

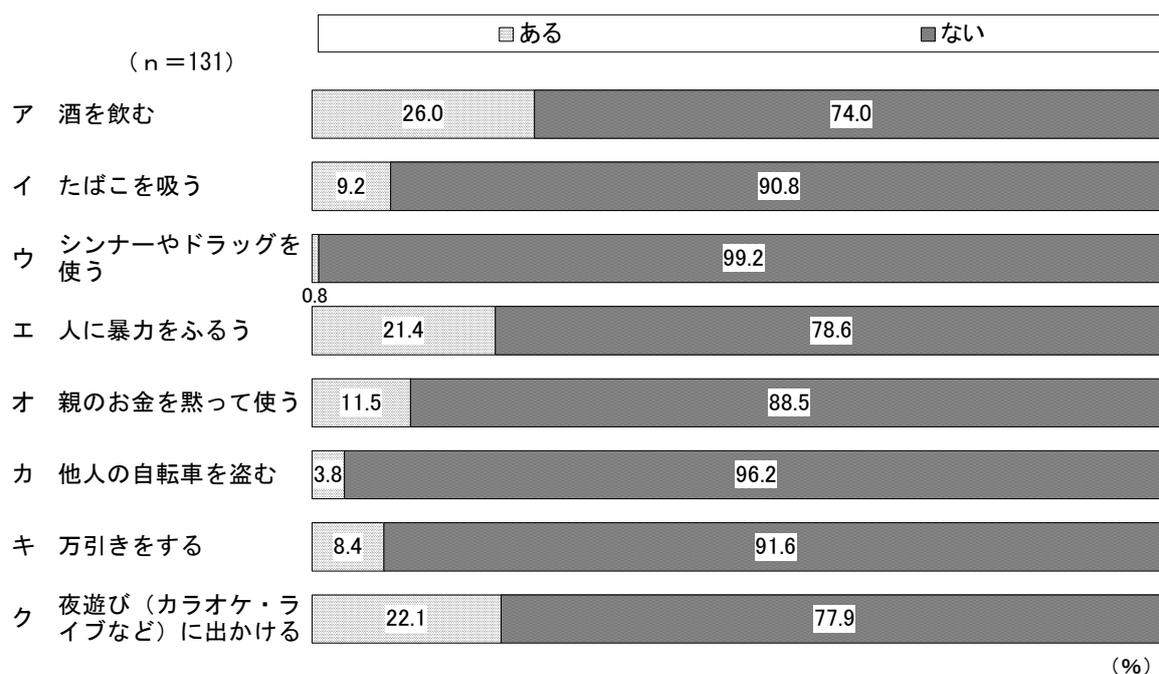
(18歳未満の方にうかがいます)

問42 あなたは、次のようなことをしてしまったことがありますか。それぞれについて、あてはまるものに1つずつ○をしてください。(類似質問：満10歳～14歳85ページ参照)

非行・問題行動をした経験について、8項目に分けて聞いたところ、「ある」は、<ア 酒を飲む>で26.0%、<ク 夜遊び(カラオケ・ライブなど)に出かける>で22.1%、<エ 人に暴力をふるう>で21.4%、<オ 親のお金を黙って使う>で11.5%などとなっている。

(図表8-1-1)

図表8-1-1



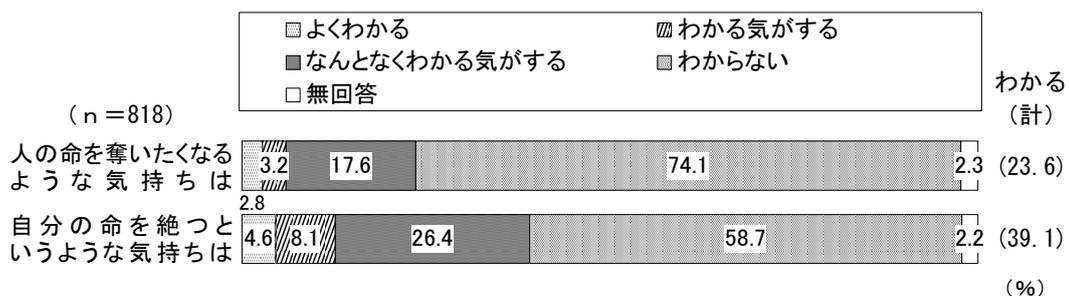
(2) 人の命を奪いたくなる・自分の命を絶つという気持ちに関する意識

◇『わかる(計)』は<人の命を奪いたくなるような気持ち>は23.6%、<自分の命を絶つというような気持ち>は39.1%、

問55 最近、青少年が他人の命を奪ったり、自分の命を絶ったりする事件が目立ちます。あなたは、こうした事件についてどう思いますか。それぞれの中で、1つ選んで○をしてください。(類似質問：満10歳～14歳83ページ、保護者274ページ参照)

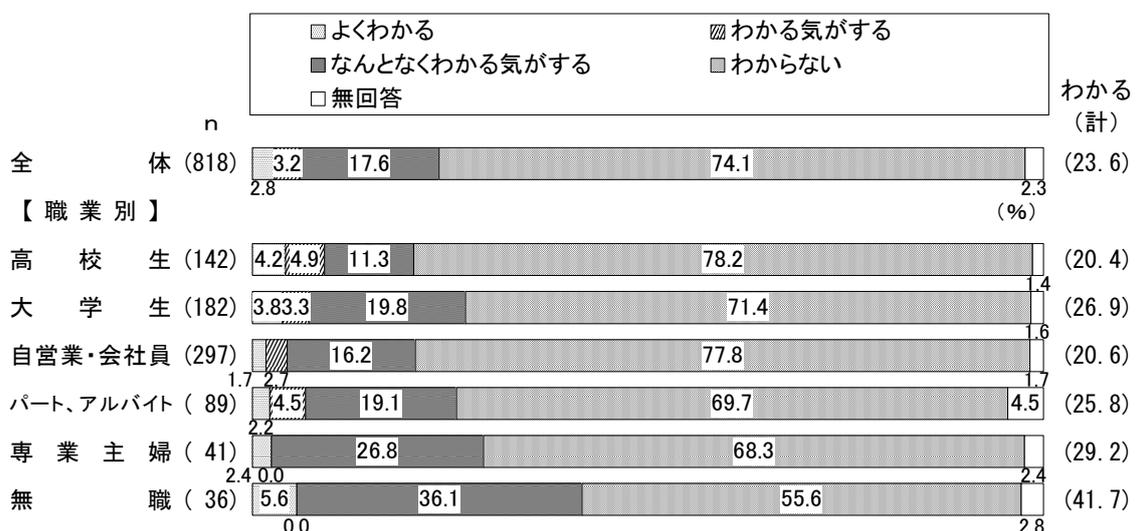
青少年が他人の命を奪ったり、自分の命を絶ったりする事件についてどう思うか聞いたところ、「よくわかる」と「わかる気がする」、「何となくわかる気がする」の3つを合わせた『わかる(計)』は、<人の命を奪いたくなるような気持ち>で23.6%、<自分の命を絶つというような気持ち>で39.1%となっている。(図表8-2-1)

図表8-2-1

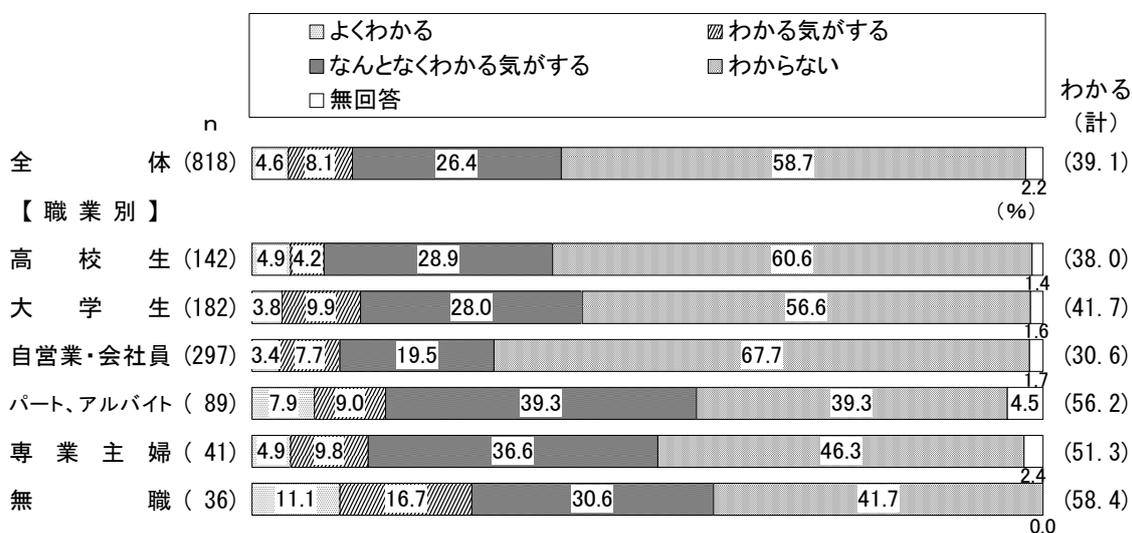


職業別にみると、『わかる(計)』は、<人の命を奪いたくなるような気持ち>で無職が41.7%と最も多くなっており、<自分の命を絶つというような気持ち>で無職とパート、アルバイトと専業主婦のいずれも5割台となっている。(図表8-2-2、図表8-2-3)

図表8-2-2 人の命を奪いたくなるような気持ちに関する意識(職業別)

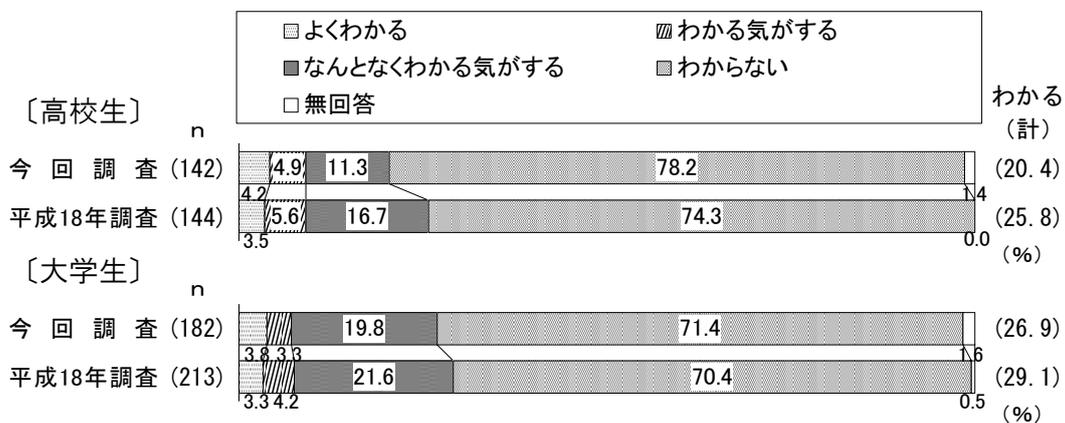


図表 8-2-3 自分の命を絶つというような気持ちに関する意識（職業別）

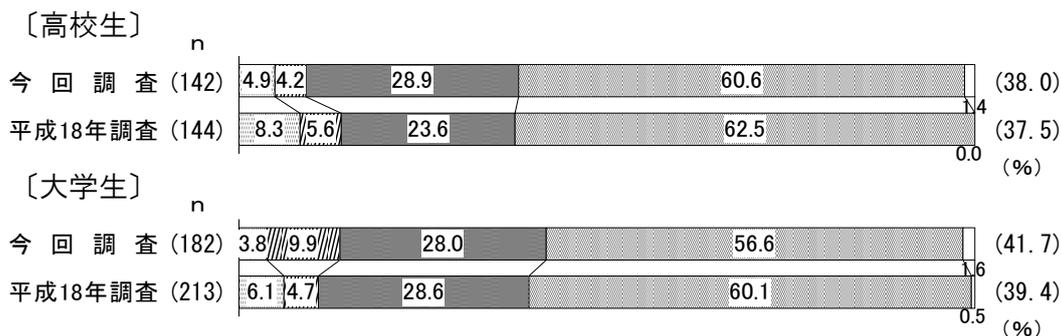


平成18年調査と比較すると、『わかる (計)』は、<人の命を奪いたくなるような気持ち>で高校生では5.4ポイント、大学生では2.2ポイント減少している。<自分の命を絶つというような気持ち>では大きな違いはみられない。(図表8-2-4、図表8-2-5)

図表 8-2-4 人の命を奪いたくなるような気持ちに関する意識（年代別経年比較）



図表 8-2-5 自分の命を絶つというような気持ちに関する意識（年代別経年比較）



(3) 非行防止のための条例の規定の認知度

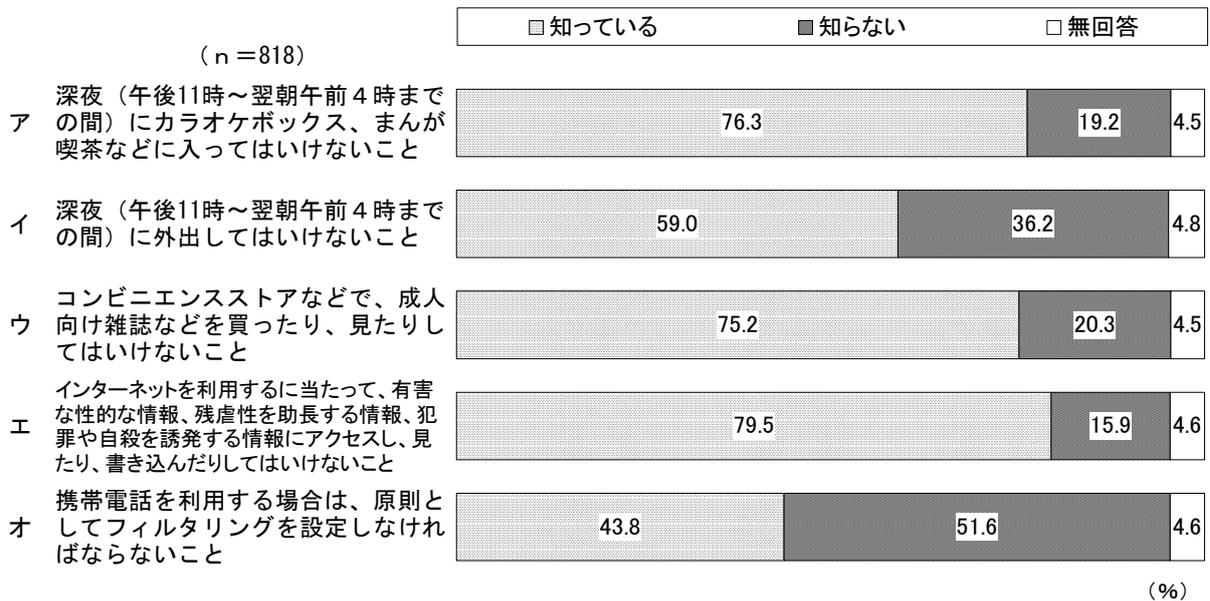
◇「知っている」は、＜インターネットを利用するに当たって、有害な性的な情報、残虐性を助長する情報、犯罪や自殺を誘発する情報にアクセスし、見たり、書き込んだりしてはいけないこと＞が79.5%

問56 あなたは、18歳未満の青少年の深夜外出などに関して、次のようなことを知っていますか。それぞれについて、1つ選んで○をつけてください。
(類似質問：保護者276ページ参照)

18歳未満の青少年の深夜外出などに関して、知っているかを5項目に分けて聞いたところ、「知っている」は、＜エ インターネットを利用するに当たって、有害な性的な情報、残虐性を助長する情報、犯罪や自殺を誘発する情報にアクセスし、見たり、書き込んだりしてはいけないこと＞が79.5%で最も多くなっている。一方、「知らない」は、＜オ 携帯電話を利用する場合は、原則としてフィルタリングを設定しなければならないこと＞で51.6%と最も多くなっている。

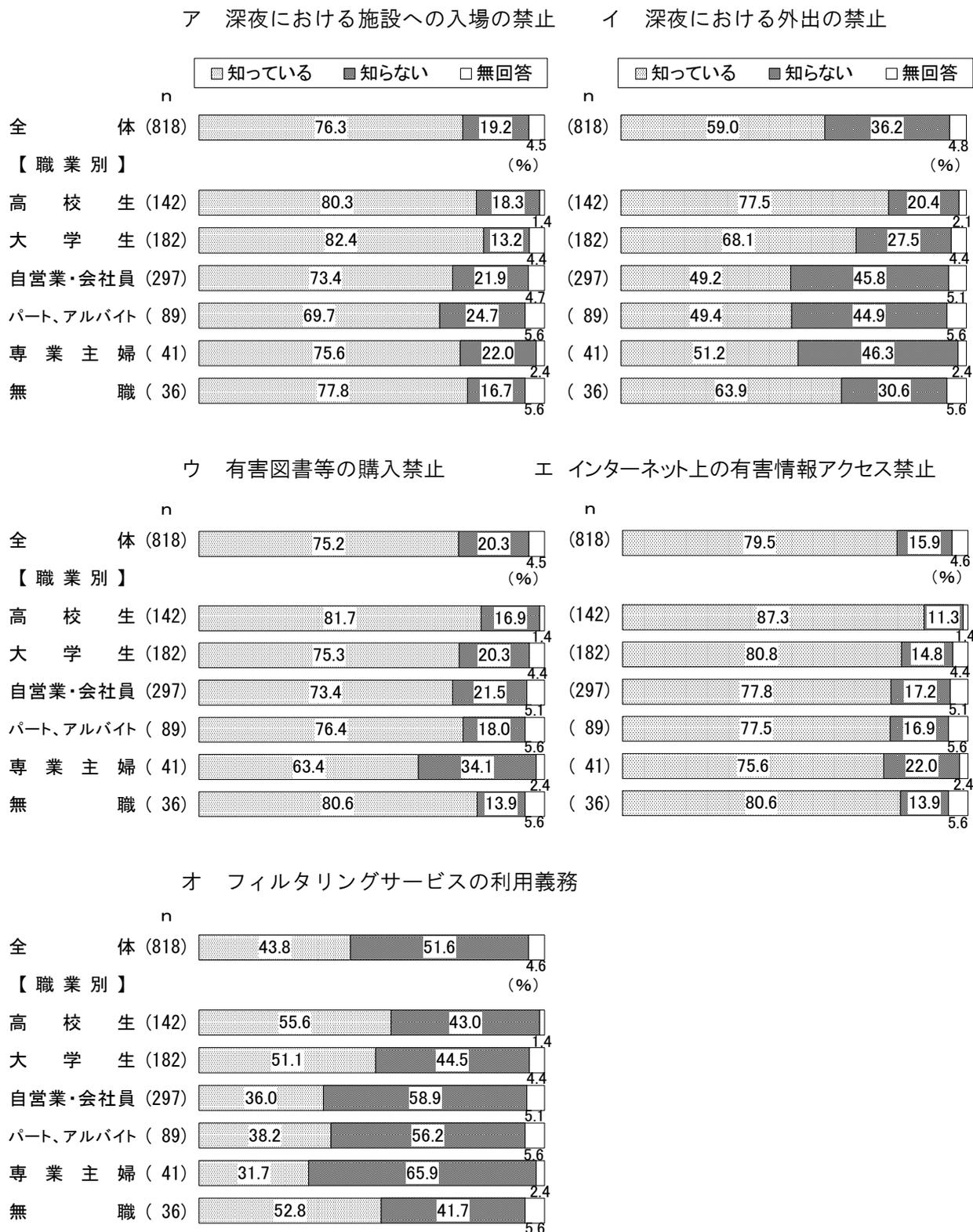
(図表8-3-1)

図表8-3-1



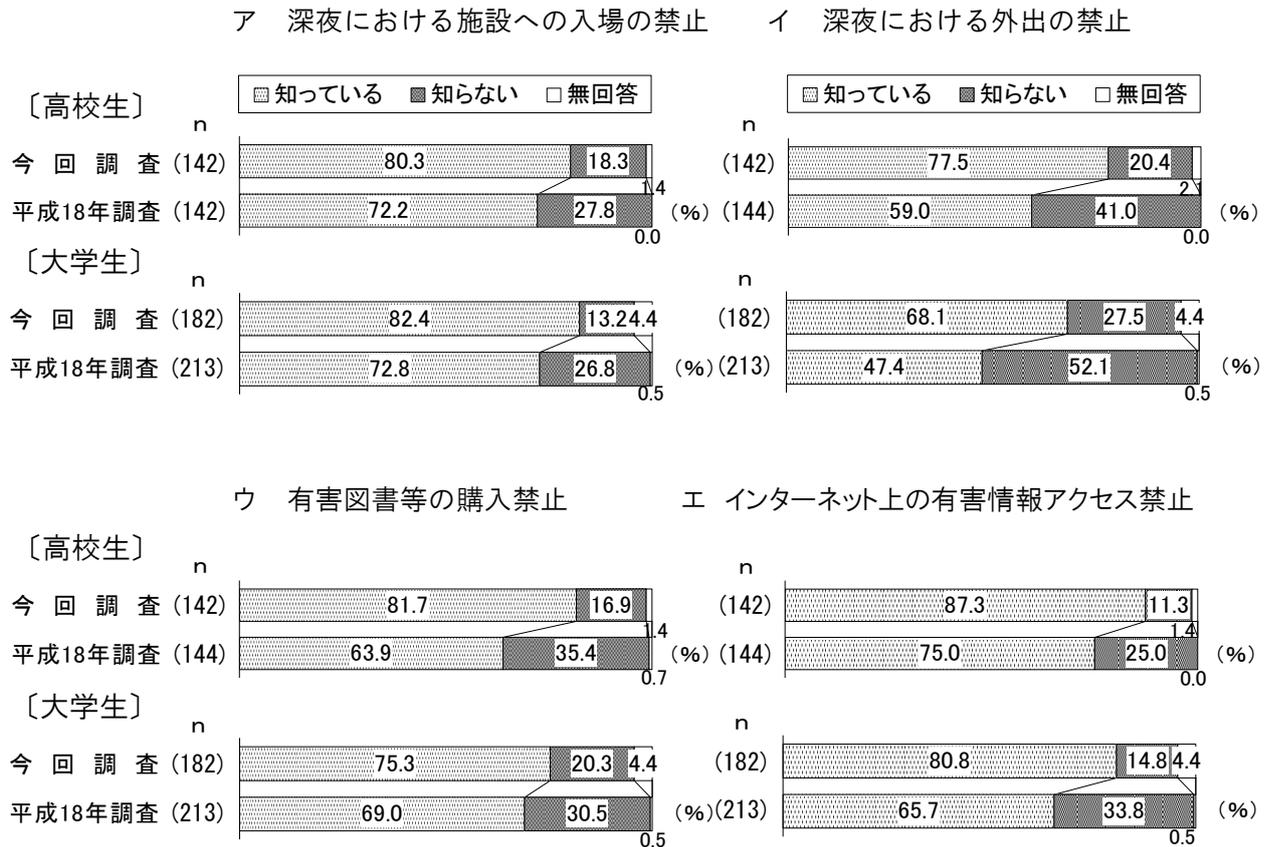
職業別にみると、「知っている」は、＜イ 深夜における外出の禁止＞と＜オ フィルタリングサービスの利用義務＞は、高校生、大学生に比べて、自営業・会社員、パート、アルバイト、専業主婦で「知らない」の割合が多くなっている。(図表8-3-2)

図表8-3-2 非行防止のための条例の規定の認知度（職業別）



平成18年調査と比較すると、「知っている」は、高校生、大学生ともにいずれの項目でも増加しており、特に、＜イ 深夜における外出の禁止＞が大学生では20.7ポイント、高校生では18.5ポイント増加している。(図表8-3-3)

図表8-3-3 非行防止のための条例の規定の認知度 (年代別経年比較)



(注) <オ フィルタリングサービスの利用義務>は今回調査で新規に追加した項目である。

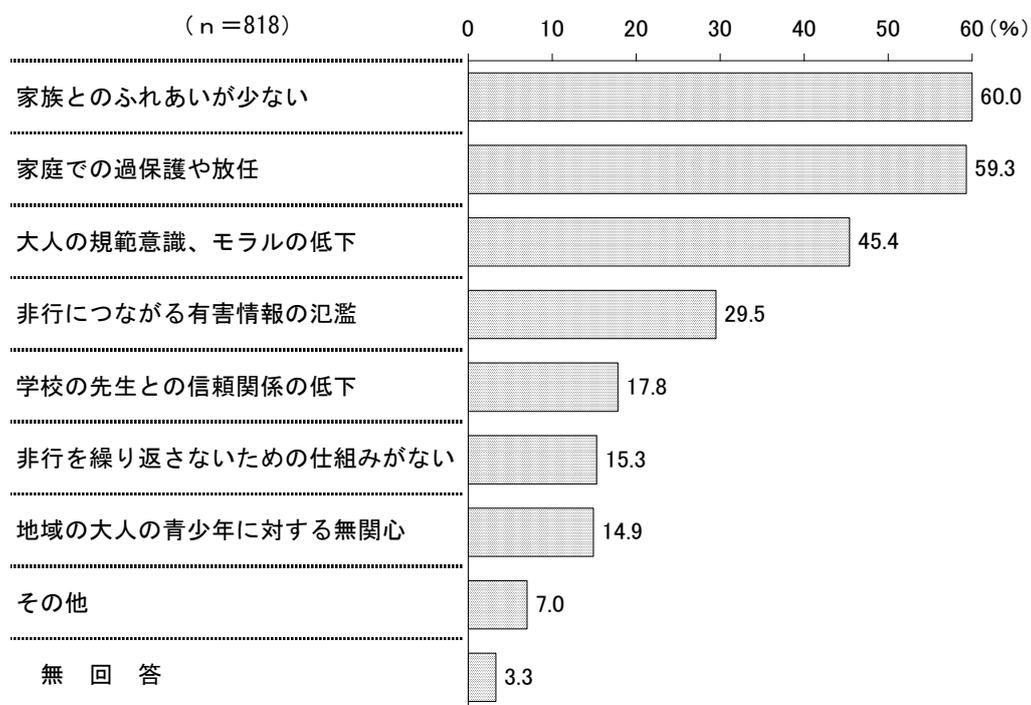
(4) 青少年の非行の原因

◇「家族とのふれあいが少ない」が60.0%

問57 あなたは少年非行の原因は何だと思えますか。次の中から3つまで選んで○をつけてください。(類似質問：保護者278ページ参照)

少年非行の原因は何だと思うか聞いたところ、「家族とのふれあいが少ない」が60.0%で最も多く、次いで「家庭での過保護や放任」(59.3%)、「大人の規範意識、モラルの低下」(45.4%)、「非行につながる有害情報の氾濫」(29.5%)、「学校の先生との信頼関係の低下」(17.8%)などの順となっている。(図表8-4-1)

図表8-4-1

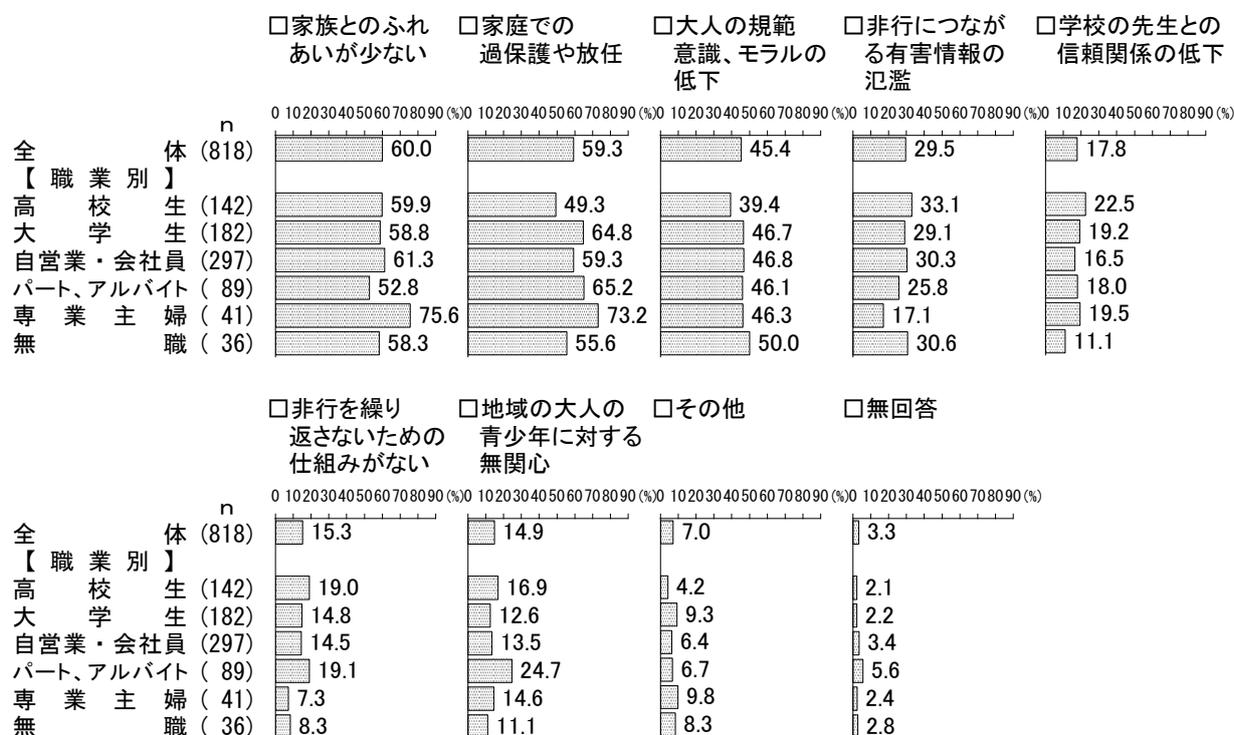


職業別にみると、専業主婦では「家族とのふれあいが少ない」(75.6%)と「家庭での過保護や放任」(73.2%)が多くなっている。「地域の大人の青少年に対する無関心」はパート、アルバイトで24.7%と最も多くなっている。(図表8-4-2)

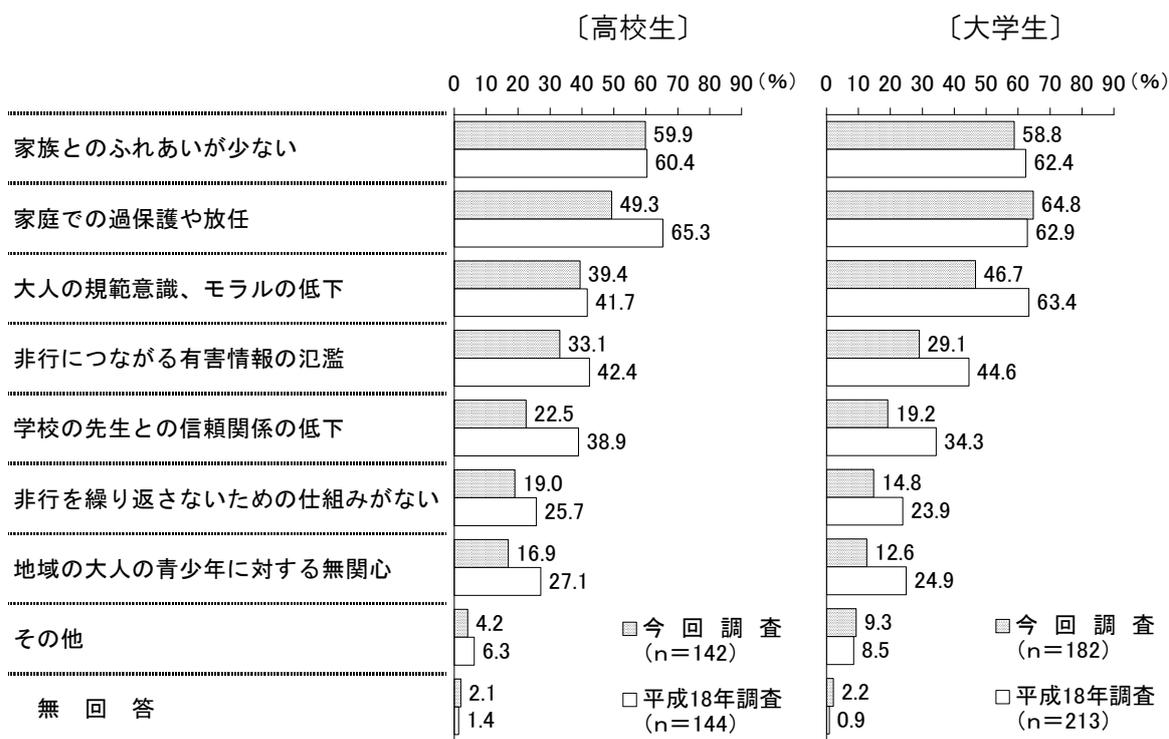
平成18年調査と比較すると、高校生、大学生ともに多くの項目で減少傾向にあり、「学校の先生との信頼関係の低下」は高校生で16.4ポイント、大学生で15.1ポイント減少している。

(図表8-4-3)

図表 8-4-2 青少年の非行の原因（職業別）



図表 8-4-3 青少年の非行の原因（年代別経年比較）



9 恋愛や結婚観について

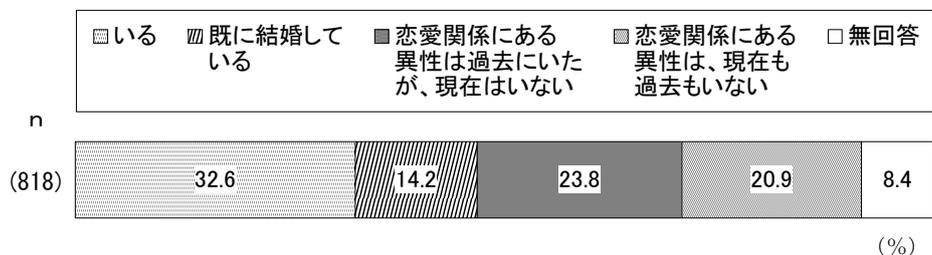
(1) 恋愛関係にある異性とのつきあい方

◇恋愛関係にある異性が「いる」は32.6%、「結婚まで考えてつきあっている」が47.6%

問45 あなたと恋愛関係にある異性はいますか。いる場合、あなたはその人とどういう気持ちでつきあっていますか。次の中から1つ選んで○をしてください。

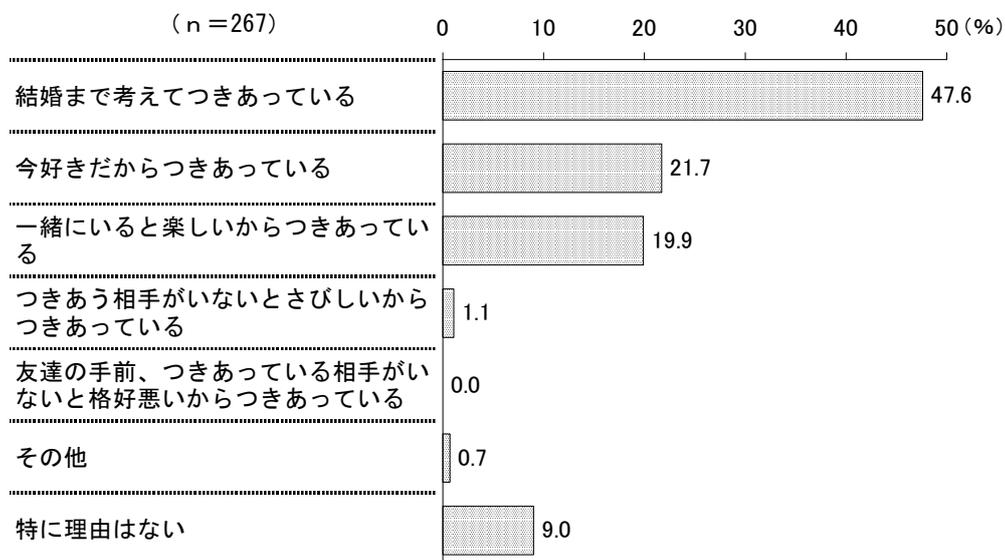
恋愛関係にある異性はいるか聞いたところ、「いる」が32.6%、「既に結婚している」が14.2%、「恋愛関係にある異性は過去にいたが、現在はいない」が23.8%、「恋愛関係にある異性は、現在も過去もない」が20.9%などとなっている。(図表9-1-1)

図表9-1-1 恋愛関係にある異性の有無



恋愛関係にある異性がいると答えた人に、どういう気持ちでつきあっているか聞いたところ、「結婚まで考えてつきあっている」が47.6%、「今好きだからつきあっている」が21.7%、「一緒にいると楽しいからつきあっている」が19.9%などとなっている。(図表9-1-2)

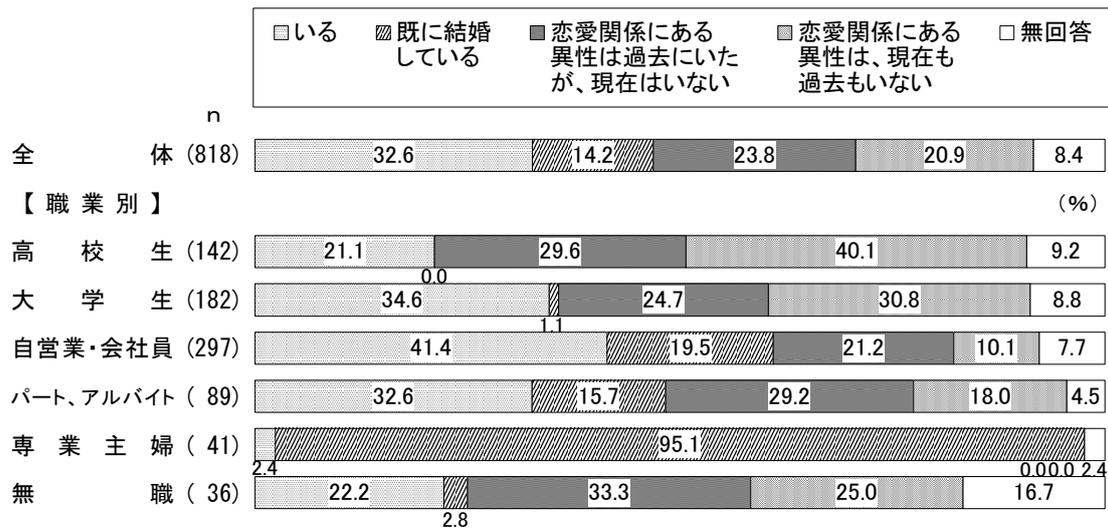
図表9-1-2 恋愛関係にある異性とのつきあい方



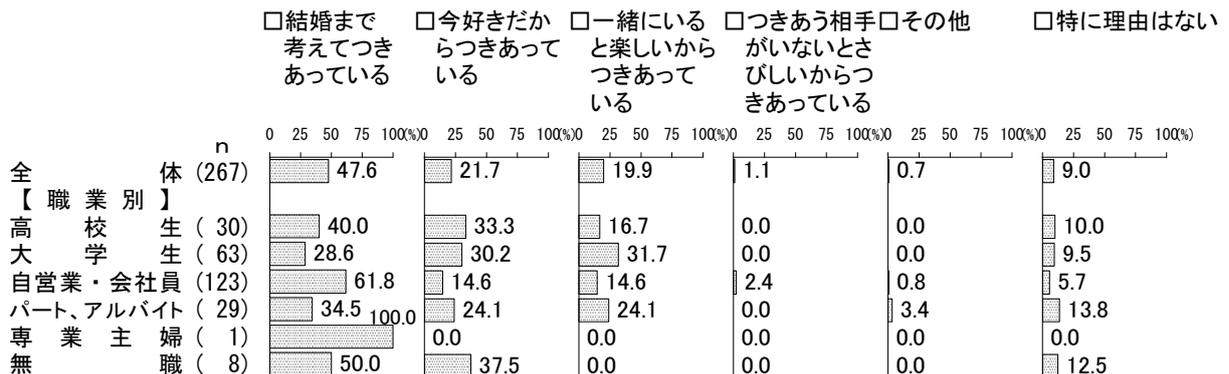
職業別にみると、恋愛関係にある異性の有無では、「いる」が自営業・会社員で41.4%と最も多くなっている。(図表9-1-3)

また、恋愛関係にある異性とのつきあい方では、「結婚まで考えてつきあっている」は自営業・会社員が61.8%で最も多く、大学生で28.6%と最も少なくなっている。大学生では「一緒にいると楽しいからつきあっている」が31.7%で最も多い理由となっている。(図表9-1-4)

図表9-1-3 恋愛関係にある異性の有無(職業別)



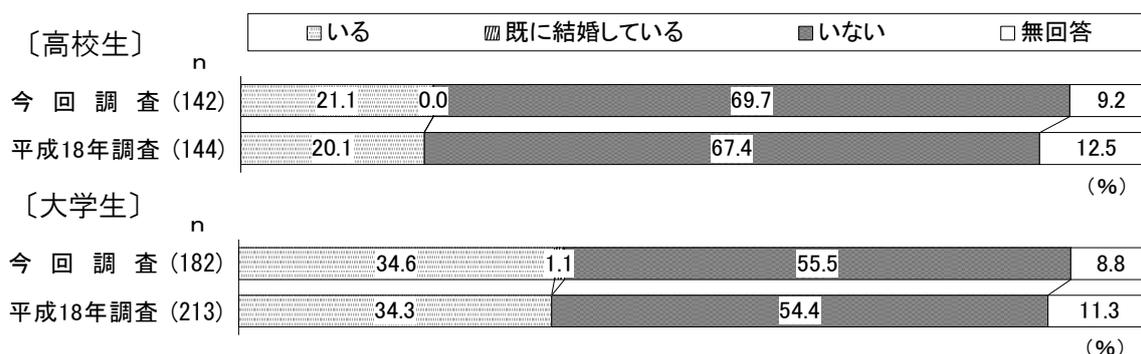
図表9-1-4 恋愛関係にある異性とのつきあい方(職業別)



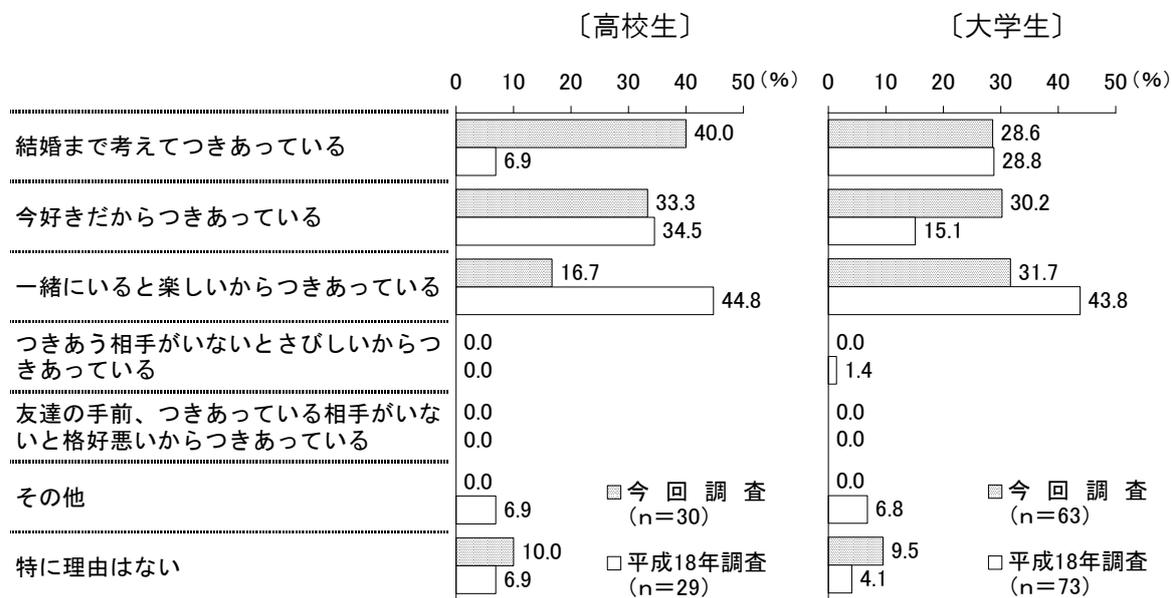
平成18年調査と比較すると、恋愛関係にある異性の有無では、高校生、大学生ともに大きな違いはみられない。(図表9-1-5)

また、恋愛関係にある異性とのつきあい方では、「結婚まで考えてつきあっている」は高校生で33.1ポイント増加している。「一緒にいると楽しいからつきあっている」は高校生で28.1ポイント、大学生では12.1ポイント減少している。(図表9-1-6)

図表9-1-5 恋愛関係にある異性の有無 (年代別経年比較)



図表9-1-6 恋愛関係にある異性とのつきあい方 (年代別経年比較)



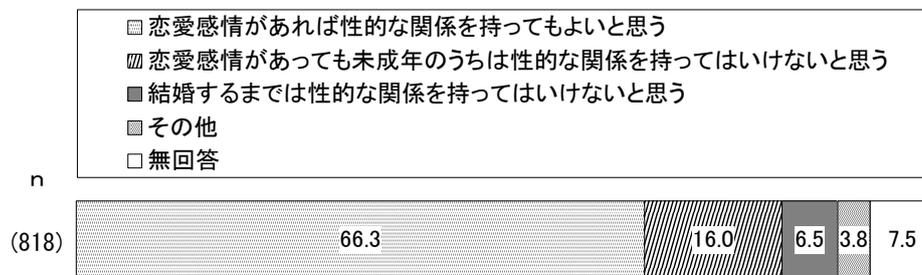
(2) 恋愛関係にある異性との性的な関係について

◇「恋愛感情があれば性的な関係を持ってもよいと思う」が66.3%

問46 あなたは、恋愛関係にある異性との性的な関係についてどう考えていますか。次の中から1つ選んで○をしてください。

恋愛関係にある異性との性的な関係について聞いたところ、「恋愛感情があれば性的な関係を持ってもよいと思う」が66.3%、「恋愛感情があっても未成年のうちは性的な関係を持つてはいけないと思う」が16.0%、「結婚するまでは性的な関係を持つてはいけないと思う」が6.5%などとなっている。(図表9-2-1)

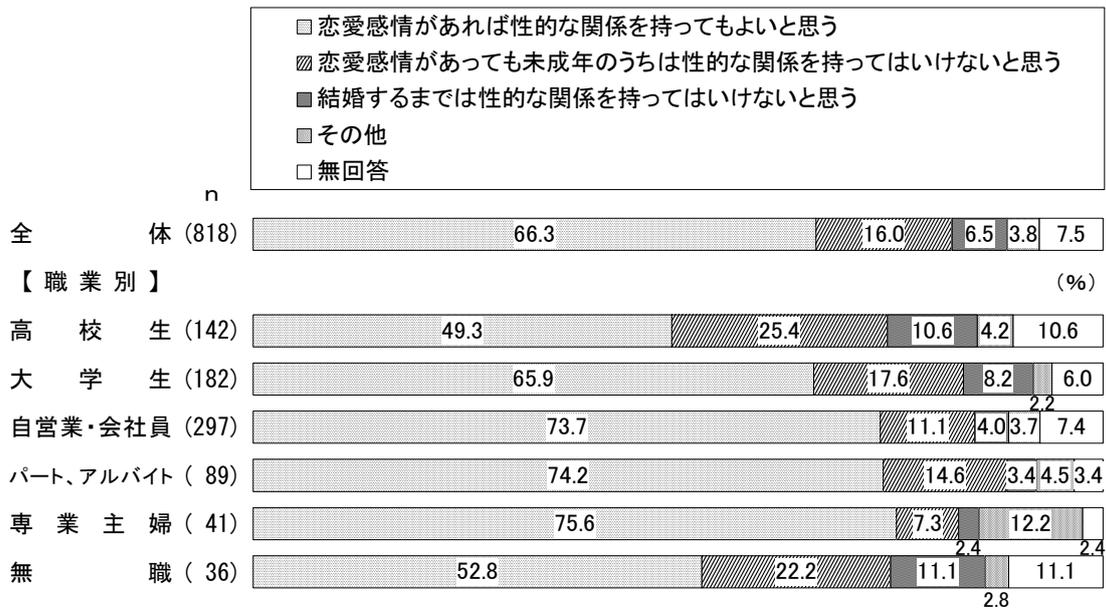
図表9-2-1



職業別にみると、「恋愛感情があれば性的な関係を持ってもよいと思う」は専業主婦とパート、アルバイトと自営業・会社員で7割台と多くっており、「恋愛感情があっても未成年のうちは性的な関係を持つてはいけないと思う」は高校生と無職で2割台と多くになっている。

(図表9-2-2)

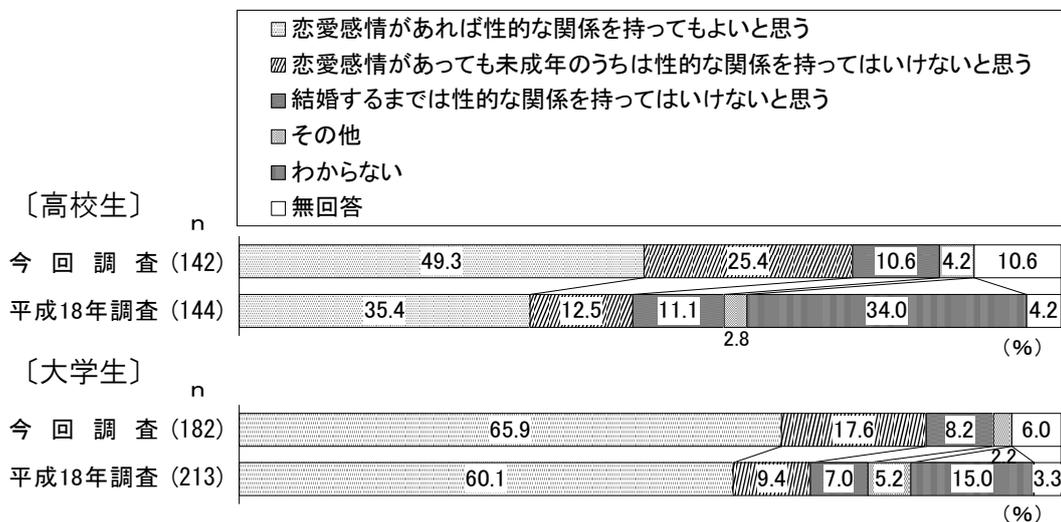
図表9-2-2 恋愛関係にある異性との性的な関係について（職業別）



平成18年調査との比較は、今回調査では「わからない」の選択肢を省いているため参考にとどまるが、「恋愛感情があれば性的な関係を持ってもよいと思う」と「恋愛感情があっても未成年のうちは性的な関係を持つてはいけないと思う」は高校生、大学生ともに増加している。

(図表9-2-3)

図表9-2-3 恋愛関係にある異性との性的な関係について（年代別経年比較）



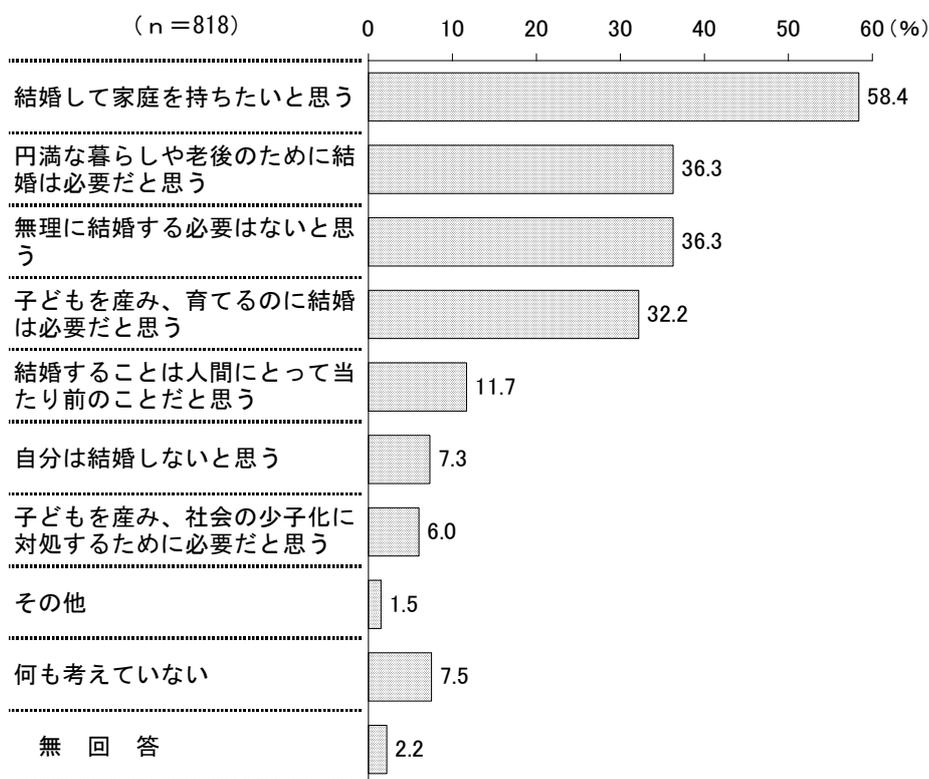
(3) 結婚についての意識

◇「結婚して家庭を持ちたいと思う」が58.4%

問47 あなたは、結婚についてどう考えていますか。次の中から主なものを3つまで選んで○をしてください。(類似質問：満10歳～14歳87ページ参照)

結婚についてどう考えているか聞いたところ、「結婚して家庭を持ちたいと思う」が58.4%で最も多く、次いで「円満な暮らしや老後のために結婚は必要だと思う」と「無理に結婚する必要はないと思う」(ともに36.3%)、「子どもを産み、育てるのに結婚は必要だと思う」(32.2%)などの順となっている。(図表9-3-1)

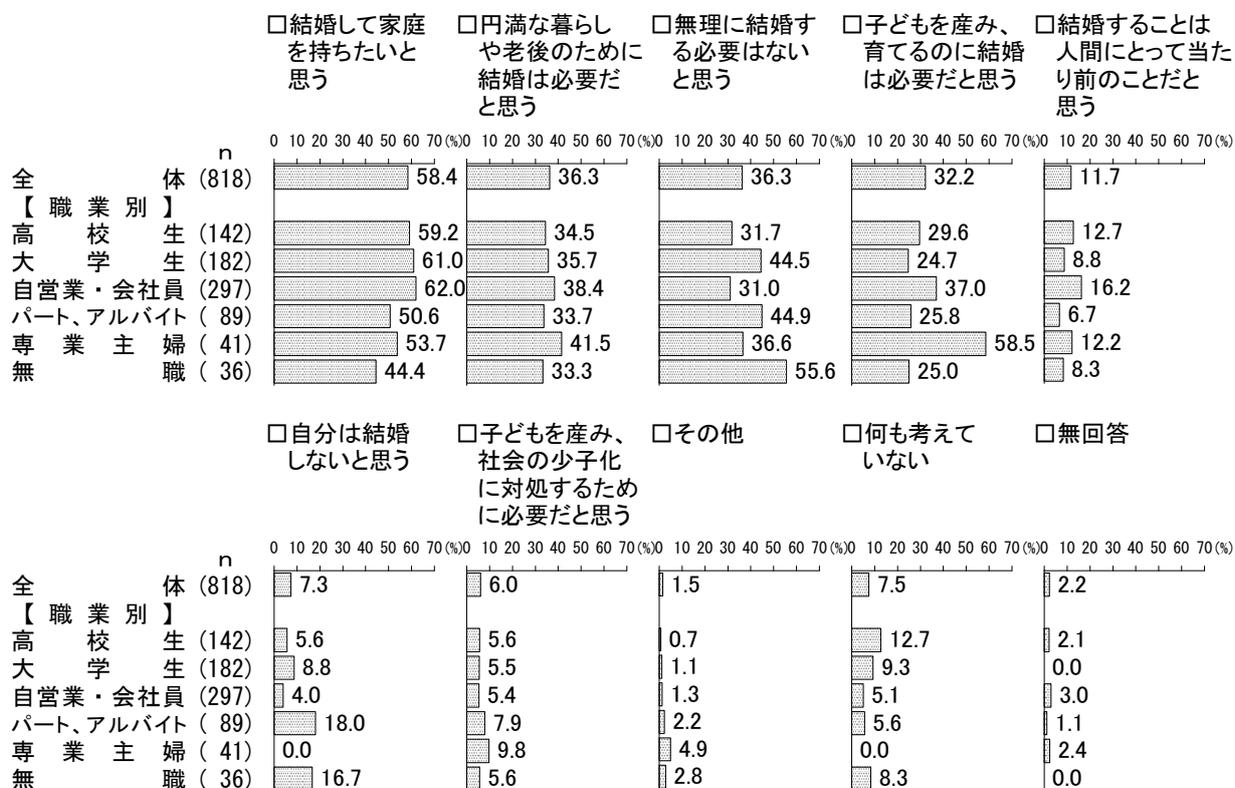
図表9-3-1



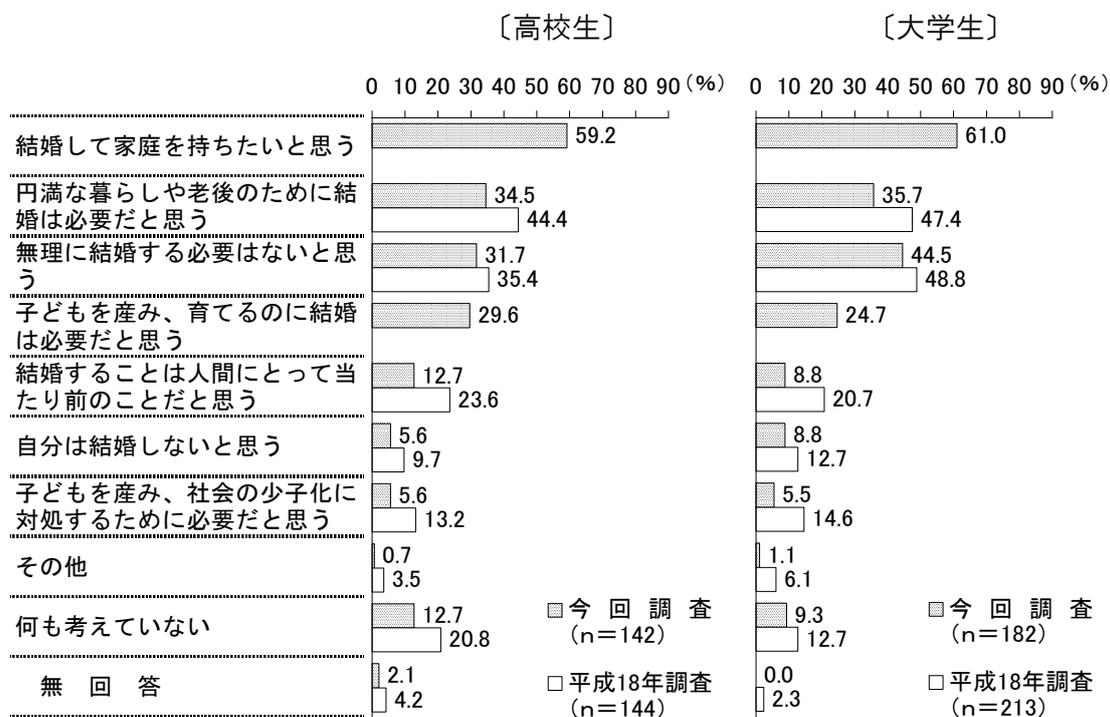
職業別にみると、「結婚して家庭を持ちたいと思う」は自営業・会社員で62.0%、大学生で61.0%と多くなっており、「円満な暮らしや老後のために結婚は必要だと思う」は専業主婦が41.5%と最も多くなっている。(図表9-3-2)

平成18年調査との比較は、今回調査で2つの選択肢を追加しているため直接の比較を行うことはできないため、参考として掲載する。(図表9-3-3)

図表9-3-2 結婚についての意識（職業別）



図表9-3-3 結婚についての意識（年代別経年比較）



(注)「結婚して家庭を持ちたいと思う」と「子どもを産み、育てるのに結婚は必要だと思う」の選択肢は今回調査で加えたものである。平成18年調査においても回答個数を「3つまで」としていたことから、今回調査と平成18年調査との比較は参考にとどまる。

10 地域・地域活動のことについて

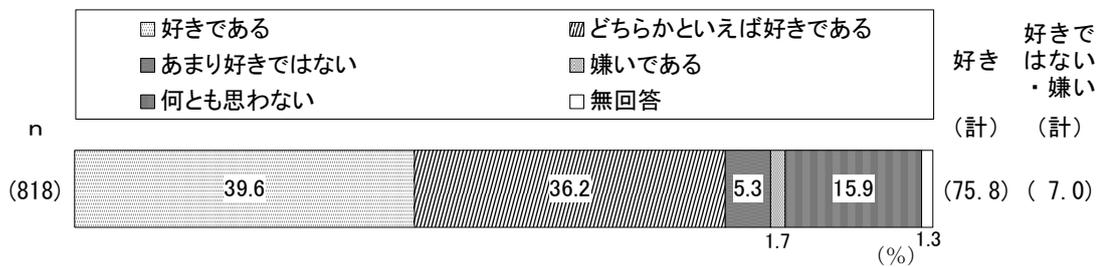
(1) 地域への愛着度

◇『好き(計)』は75.8%

問50 あなたは、今あなたが住んでいる地域が好きですか。次の中から1つ選んで○をしてください。(類似質問：満10歳～14歳88ページ参照)

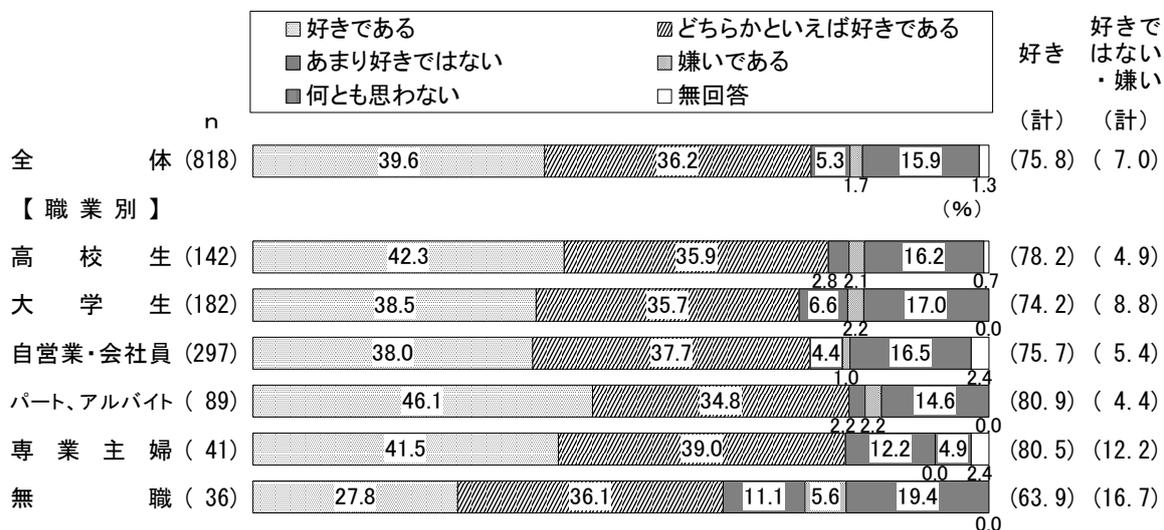
今住んでいる地域が好きか聞いたところ、「好きである」(39.6%)と「どちらかといえば好きである」(36.2%)の2つを合わせた『好き(計)』は75.8%となっている。(図表10-1-1)

図表10-1-1



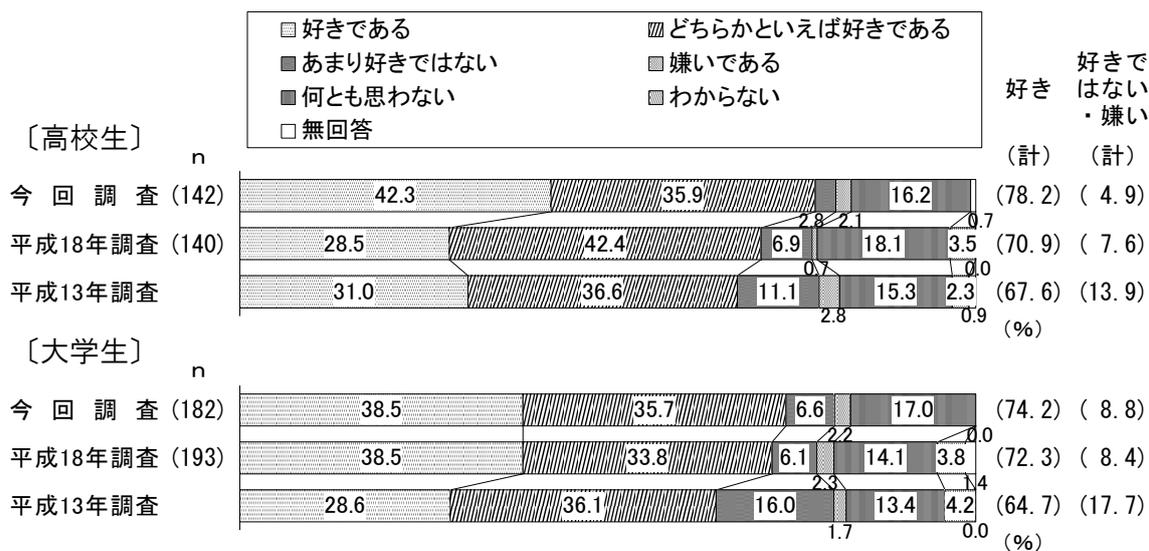
職業別にみると、『好き（計）』はパート、アルバイトで80.9%、専業主婦で80.5%と8割台となっている。（図表10-1-2）

図表10-1-2 地域への愛着度（職業別）



過去の調査結果と比較すると、『好き（計）』は高校生、大学生ともに増加傾向にあり、平成18年調査より高校生は7.3ポイント、大学生は1.9ポイント増加している。（図表10-1-3）

図表10-1-3 地域への愛着度（年代別経年比較）



(2) 近所の人へのあいさつ

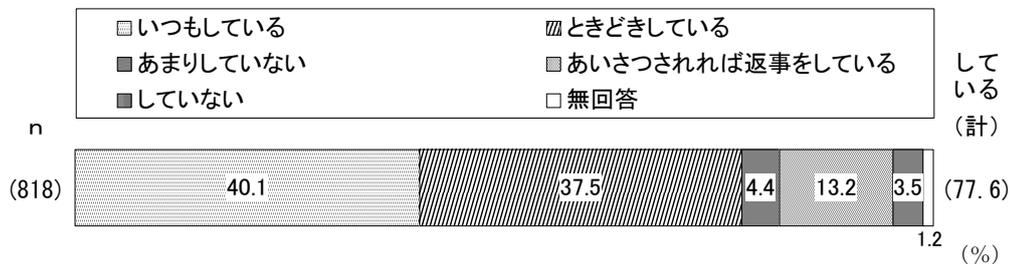
◇『している(計)』は77.6%

問51 あなたは、近所の人に自分からあいさつをしていますか。次の中から1つ選んで○をしてください。(類似質問：満10歳～14歳89ページ参照)

近所の人に自分からあいさつをしているか聞いたところ、「いつもしている」(40.1%)と「ときどきしている」(37.5%)の2つを合わせた『している(計)』は77.6%となっている。

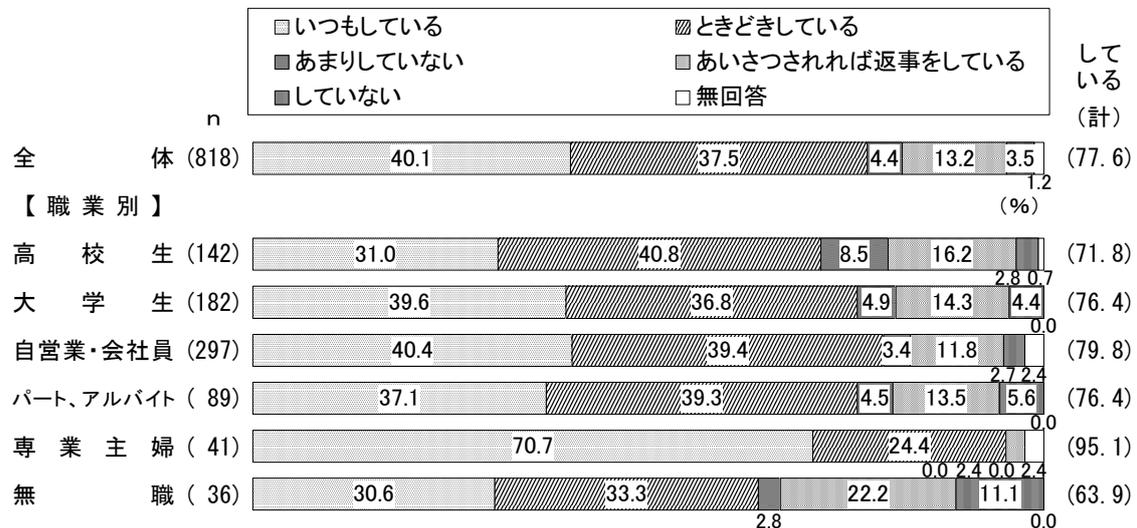
(図表10-2-1)

図表10-2-1



職業別にみると、『している（計）』は専業主婦で95.1%と最も多くなっている。一方、無職では63.9%となっている。（図表10-2-2）

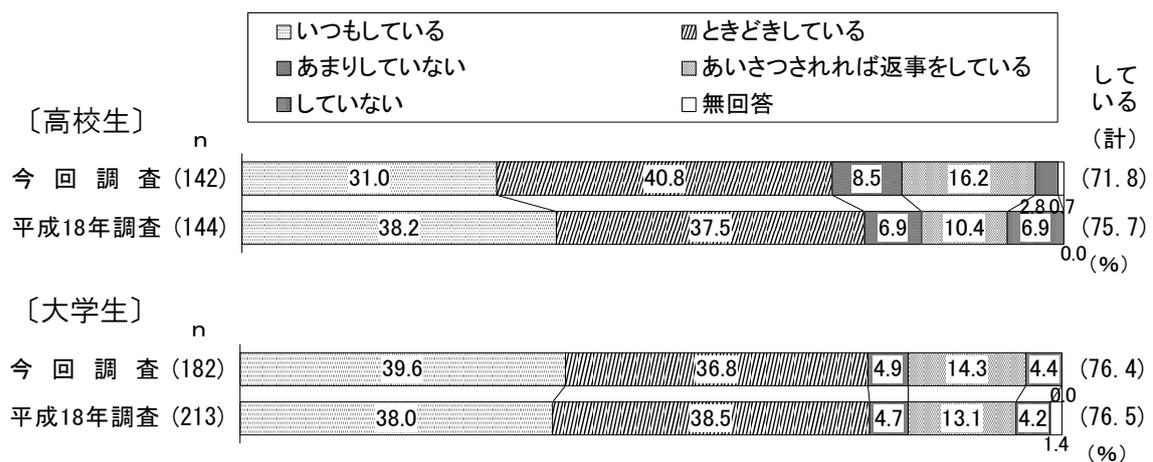
図表10-2-2 近所の人へのあいさつ（職業別）



平成18年調査と比較すると、『している（計）』は高校生、大学生ともに微減となっている。

（図表10-2-3）

図表10-2-3 近所の人へのあいさつ（年代別経年比較）

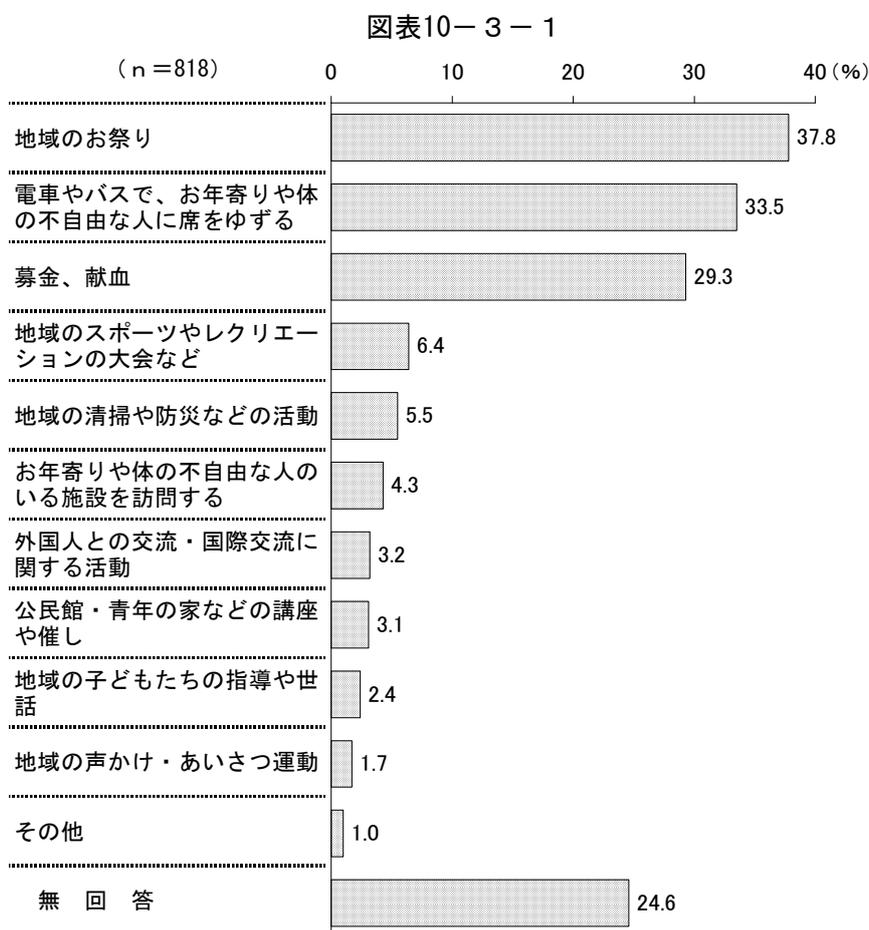


(3) 地域活動への参加状況

◇「地域のお祭り」が37.8%

問52 あなたは、最近1年間で、次のような活動に参加したり、行動をしたことがありますか。この中で、参加したり、行ったりしたことがあてはまるものすべてに○をしてください。(類似質問：満10歳～14歳91ページ、保護者270ページ参照)

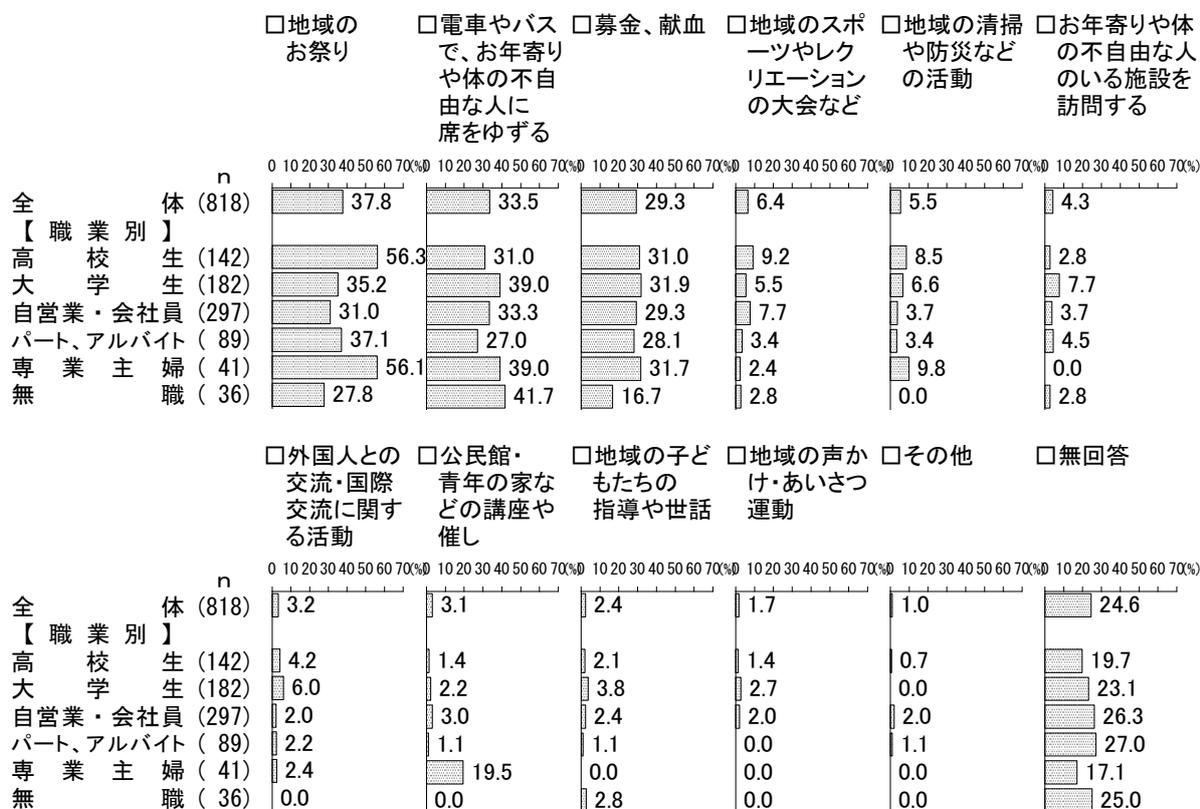
最近1年間に地域活動などに参加したり、行動したことがあるか聞いたところ、「地域のお祭り」が37.8%で最も多く、次いで「電車やバスで、お年寄りや体の不自由な人に席をゆずる」(33.5%)、「募金、献血」(29.3%)、「地域のスポーツやレクリエーションの大会など」(6.4%)、「地域の清掃や防災などの活動」(5.5%)などの順となっている。(図表10-3-1)



職業別にみると、「地域のお祭り」は高校生で56.3%、専業主婦で56.1%と多くなっており、「電車やバスで、お年寄りや体の不自由な人に席をゆずる」は無職が41.7%と最も多くなっている。(図表10-3-2)

過去の調査結果と比較すると、高校生では上位4位まで平成13年度調査から同じになっており、「地域のお祭り」は平成13年度調査から引き続き第1位となっている。大学生では上位3位まで平成13年度調査から同じになっており、「電車やバスで、お年寄りや体の不自由な人に席をゆずる」は大学生で平成13年度調査から引き続き第1位となっている。(図表10-3-3)

図表10-3-2 地域活動への参加状況（職業別）



図表10-3-3 地域活動への参加状況（年代別経年比較）

調査年	高 校 生		
	順位	今回調査 (%)	平成18年度 (%)
第1位	地域のお祭り (56.3)	地域のお祭り (49.3)	地域のお祭り (44.0)
第2位	電車やバスで、お年寄りや体の不自由な人に席をゆずる／募金、献血 (31.0)	電車やバスで、お年寄りや体の不自由な人に席をゆずる (25.7)	電車やバスで、お年寄りや体の不自由な人に席をゆずる (29.6)
第3位		募金、献血 (20.1)	募金、献血 (27.3)
第4位	地域のスポーツやレクリエーションの大会など (9.2)	地域のスポーツやレクリエーションの大会など／外国人との交流・国際交流に関する活動 (4.2)	地域のスポーツやレクリエーションの大会など (8.3)
第5位	地域の清掃や防災などの活動 (8.5)		地域の子どもたちの指導や世話 (6.9)

調査年	大 学 生		
	順位	今回調査 (%)	平成18年度 (%)
第1位	電車やバスで、お年寄りや体の不自由な人に席をゆずる (39.0)	電車やバスで、お年寄りや体の不自由な人に席をゆずる (45.1)	電車やバスで、お年寄りや体の不自由な人に席をゆずる (43.7)
第2位	地域のお祭り (35.2)	地域のお祭り (27.7)	地域のお祭り (26.1)
第3位	募金、献血 (31.9)	募金、献血 (17.8)	募金、献血 (22.7)
第4位	お年寄りや体の不自由な人のいる施設を訪問する (7.7)	お年寄りや体の不自由な人のいる施設を訪問する (9.4)	地域のスポーツやレクリエーションの大会など／お年寄りや体の不自由な人のいる施設を訪問する (5.9)
第5位	地域の清掃や防災などの活動 (6.9)	地域のスポーツやレクリエーションの大会など (7.0)	

(4) 参加経験のあるボランティア活動

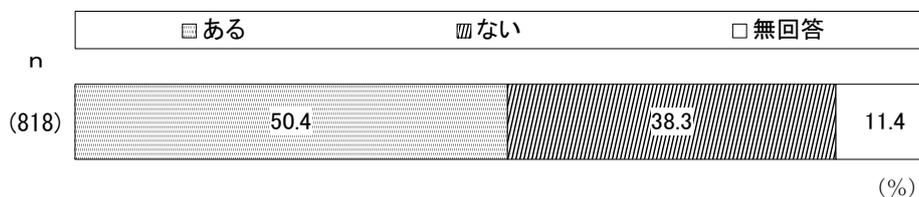
◇ボランティア活動の経験が「ある」は50.4%、「ない」は38.3%

参加したことのあるボランティア活動を聞いたところ、「環境・自然保護に関する活動（森林保護やリサイクル運動、地域での清掃活動など）」が50.7%

問53 あなたが参加したことのあるボランティア活動は、どのような活動ですか。次の中からあてはまるものすべてに○をしてください。

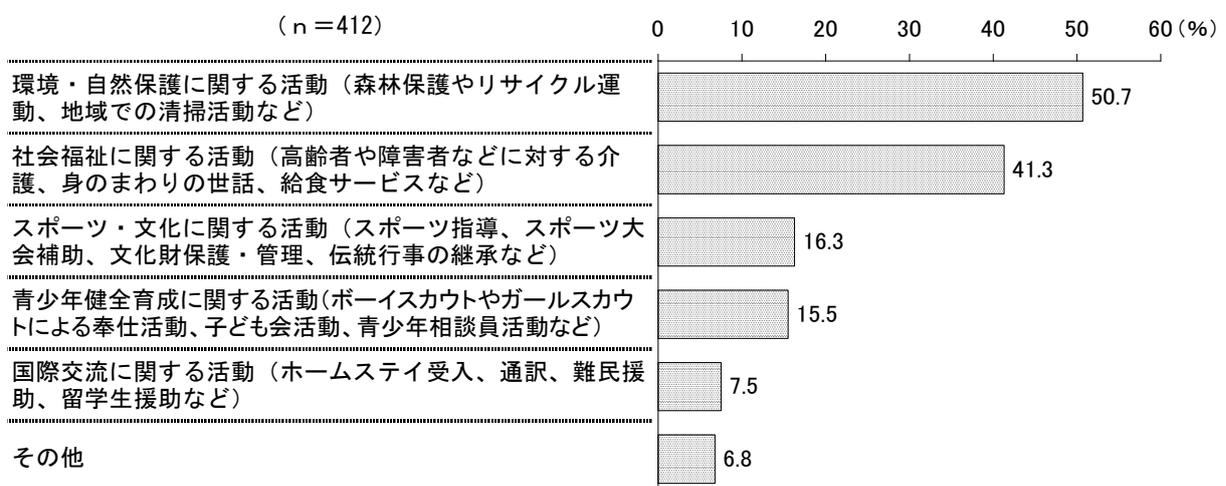
ボランティア活動の経験の有無を聞いたところ、「ある」は50.4%、「ない」は38.3%となっている。(図表10-4-1)

図表10-4-1 ボランティア活動の経験の有無



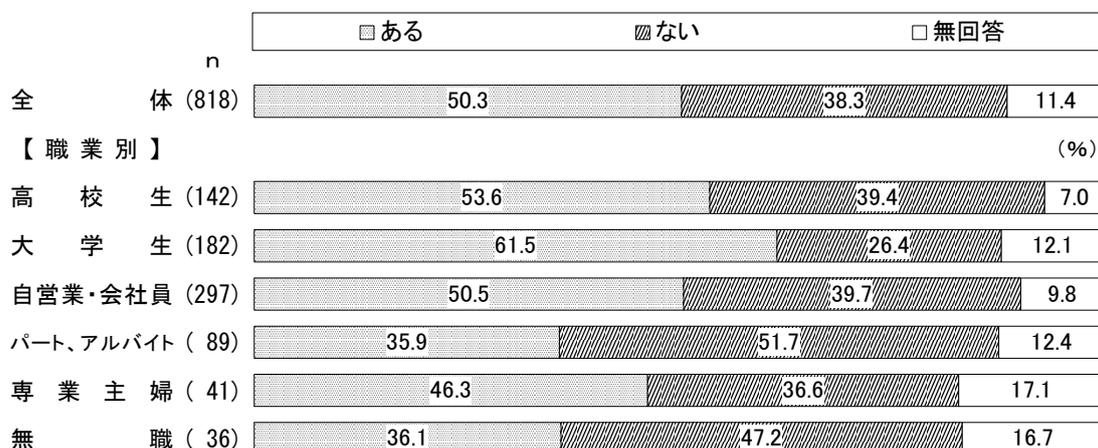
参加したことのあるボランティア活動を聞いたところ、「環境・自然保護に関する活動（森林保護やリサイクル運動、地域での清掃活動など）」が50.7%で最も多く、次いで「社会福祉に関する活動（高齢者や障害者などに対する介護、身のまわりの世話、給食サービスなど）」(41.3%)、「スポーツ・文化に関する活動（スポーツ指導、スポーツ大会補助、文化財保護・管理、伝統行事の継承など）」(16.3%) などの順となっている。(図表10-4-2)

図表10-4-2 参加経験のあるボランティア活動



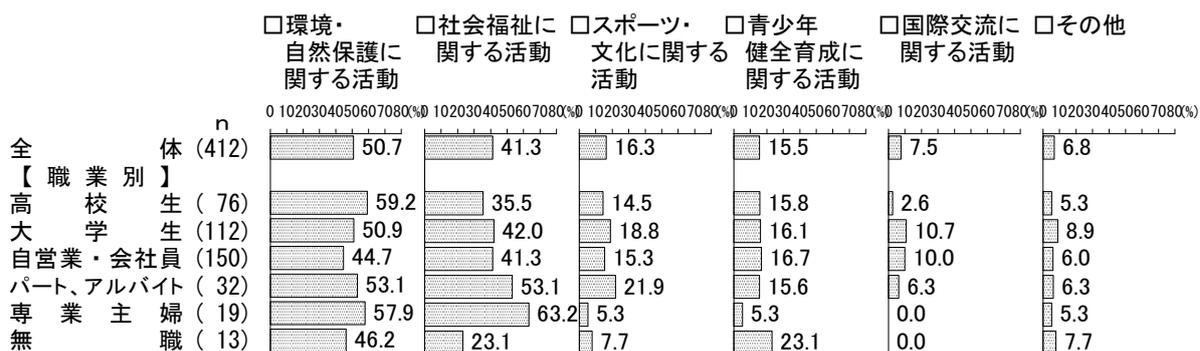
ボランティア活動の経験の有無を職業別にみると、「ある」は大学生が61.5%と最も高く、「ない」はパート、アルバイトが51.7%と最も多くなっている。(図表10-4-3)

図表10-4-3 ボランティア活動の経験の有無 (職業別)



参加したことがあるボランティア活動を職業別にみると、「環境・自然保護に関する活動(森林保護やリサイクル運動、地域での清掃活動など)」は高校生が59.2%と最も高く、すべての職業で4割以上となっている。(図表10-4-4)

図表10-4-4 参加経験のあるボランティア活動 (職業別)



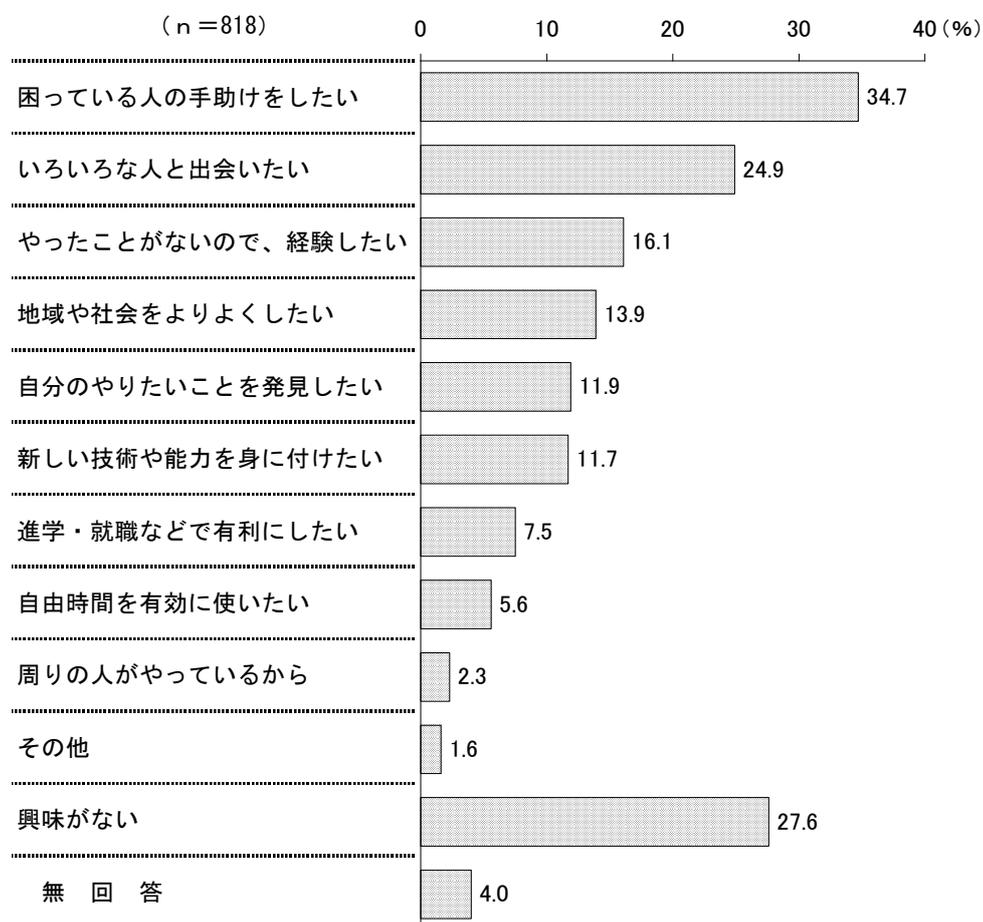
(5) ボランティア活動に興味を持った理由

◇「困っている人の手助けをしたい」が34.7%

問54 あなたは、ボランティア活動に興味がありますか、興味がある人はどのような気持ちからですか。次の中からあてはまるものすべてに○をしてください。

ボランティア活動に興味を持った理由を聞いたところ、「困っている人の手助けをしたい」が34.7%で最も多く、次いで「いろいろな人と出会いたい」(24.9%)、「やったことがないので、経験したい」(16.1%)などの順となっている。「興味がない」は27.6%である。(図表10-5-1)

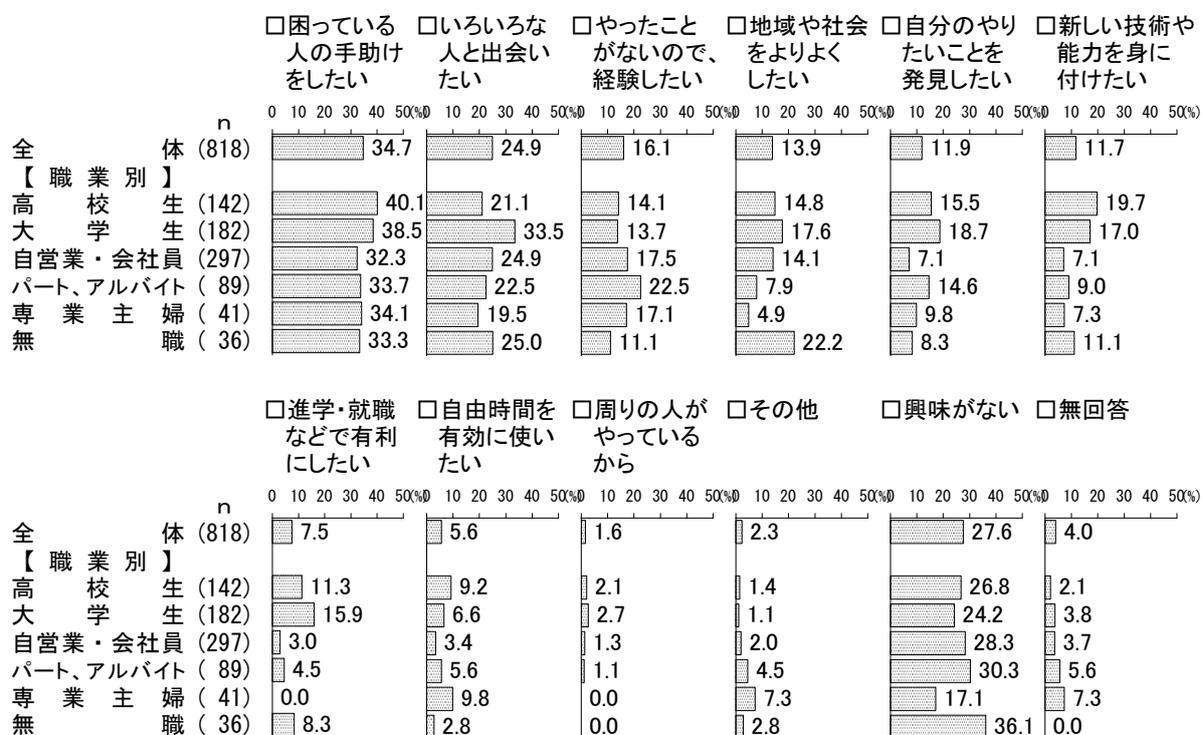
図表10-5-1



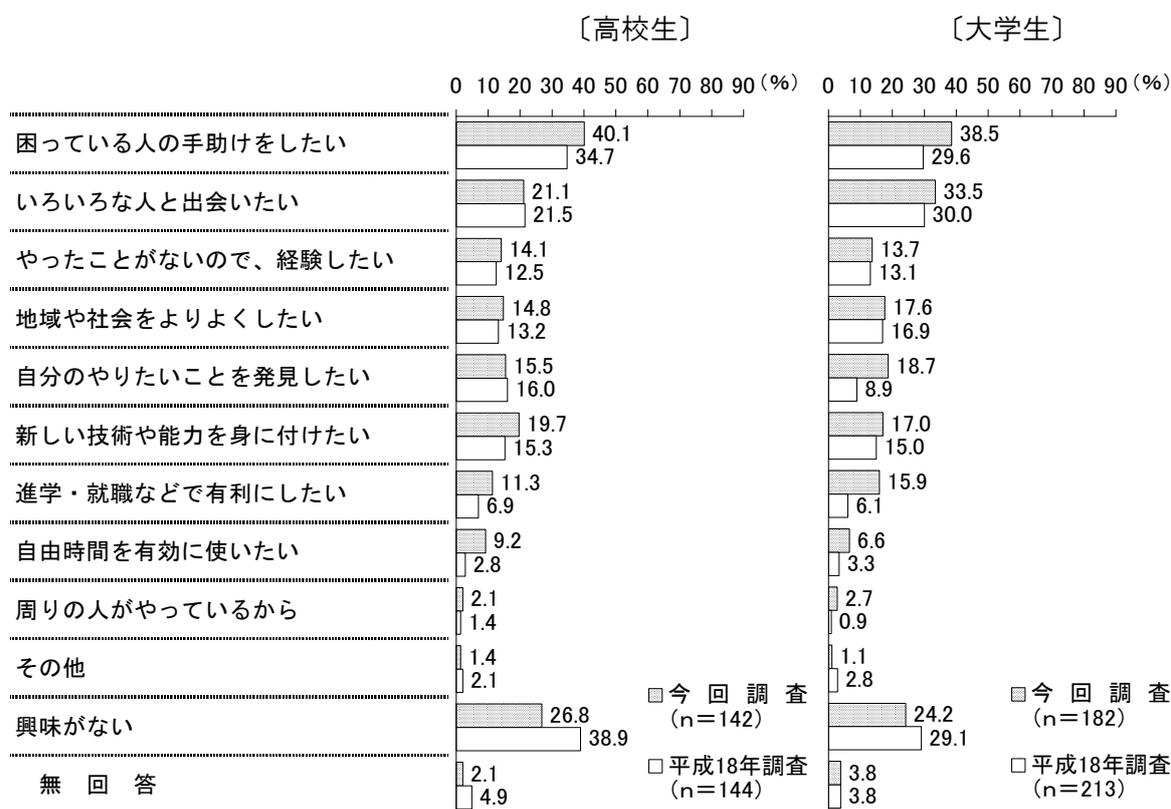
職業別にみると、「困っている人の手助けをしたい」は高校生で40.1%、大学生で38.5%と多くなっており、「やったことがないので、経験したい」はパート、アルバイトが22.5%と最も多くなっている。(図表10-5-2)

平成18年調査と比較すると、「自由時間を有効に使いたい」は高校生で6.4ポイント増加しており、「自分のやりたいことを発見したい」は大学生で9.8ポイント増加している。「興味がない」は高校生で12.1ポイント、大学生で4.9ポイント減少している。(図表10-5-3)

図表10-5-2 ボランティア活動に興味を持った理由（職業別）



図表10-5-3 ボランティア活動に興味を持った理由（年代別経年比較）



11 社会一般のことについて

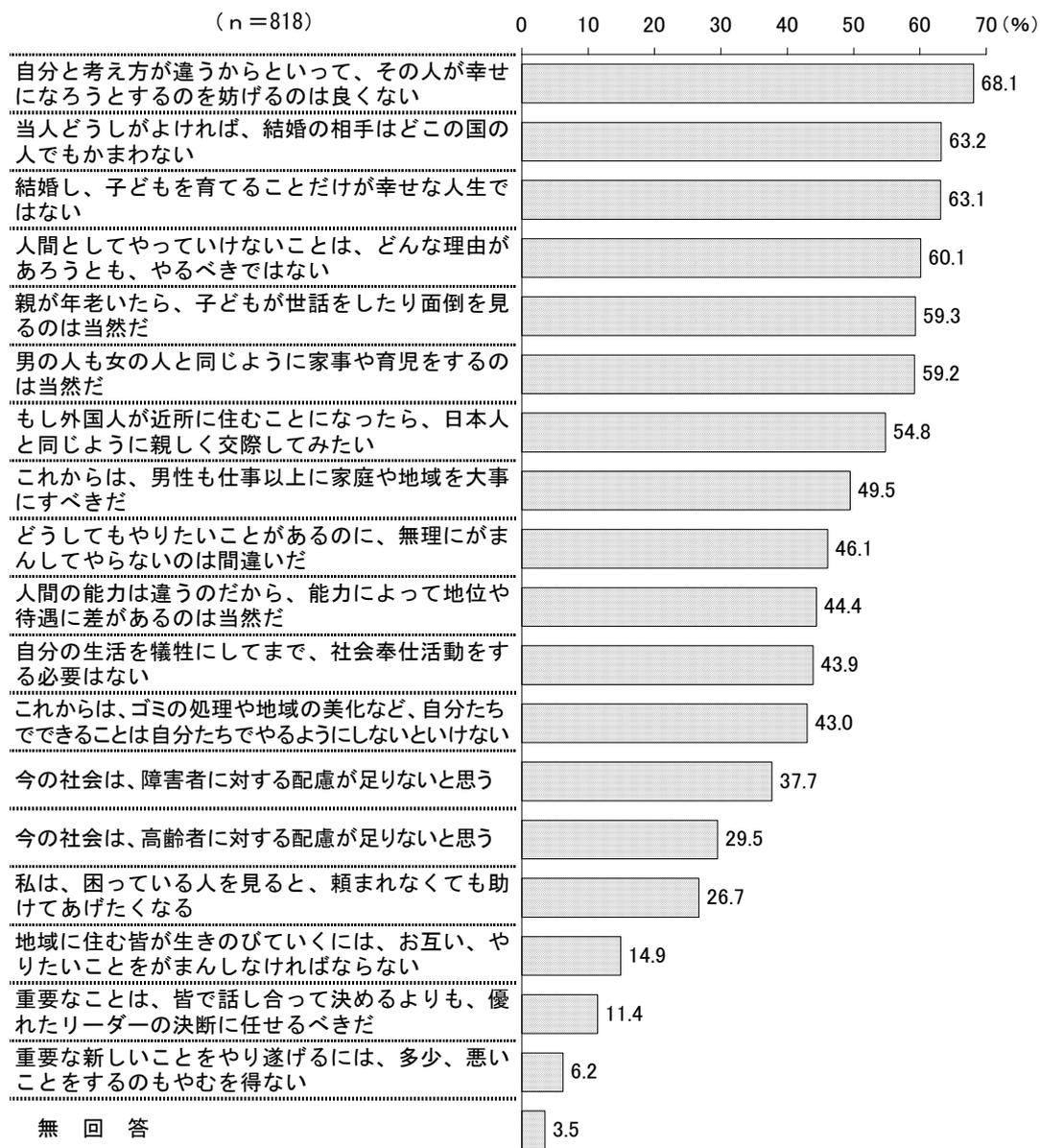
(1) 慣習やモラルに関する意識

◇「自分と考え方が違うからといって、その人が幸せになろうとするのを妨げるのは良くない」が68.1%

問58 あなたは、次のような考え方についてどう思いますか。あなたが、「そう思う」とか「そのとおりだ」と思う考えがあれば、いくつでも選んで○をしてください。

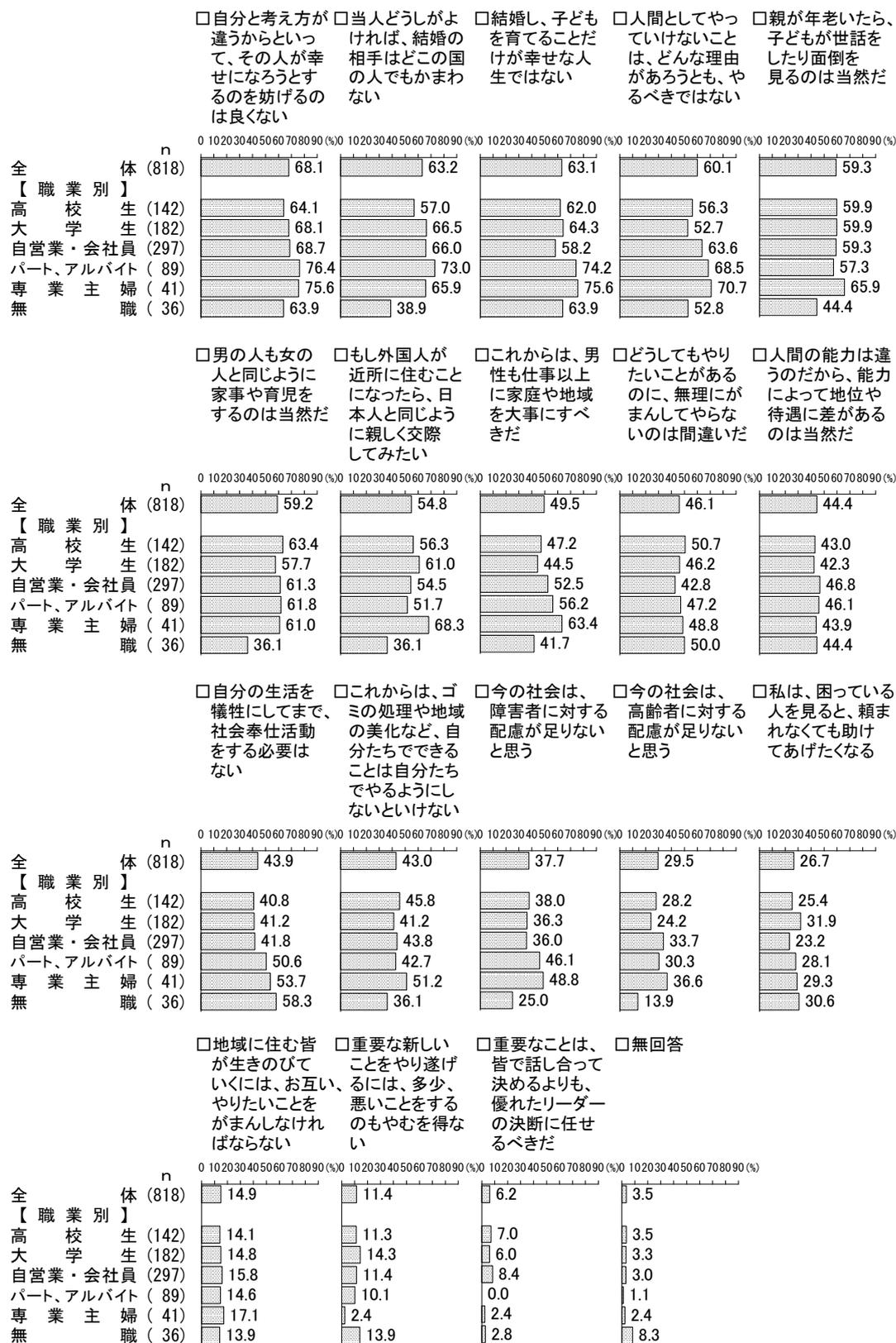
慣習やモラルに関する意識を聞いたところ、「自分と考え方が違うからといって、その人が幸せになろうとするのを妨げるのは良くない」が68.1%で最も多く、次いで「当人どうしがよければ、結婚の相手はどこの国の人でもかまわない」(63.2%)、「結婚し、子どもを育てることだけが幸せな人生ではない」(63.1%)などの順となっている。(図表10-5-1)

図表10-5-1



職業別にみると、「自分と考え方が違うからといって、その人が幸せになろうとするのを妨げるのは良くない」はパート、アルバイトで76.4%、専業主婦で75.6%と多くなっており、「当人どうしがよければ、結婚の相手はどこの国の人でもかまわない」はパート、アルバイトが73.0%と最も多くなっている。(図表11-1-2)

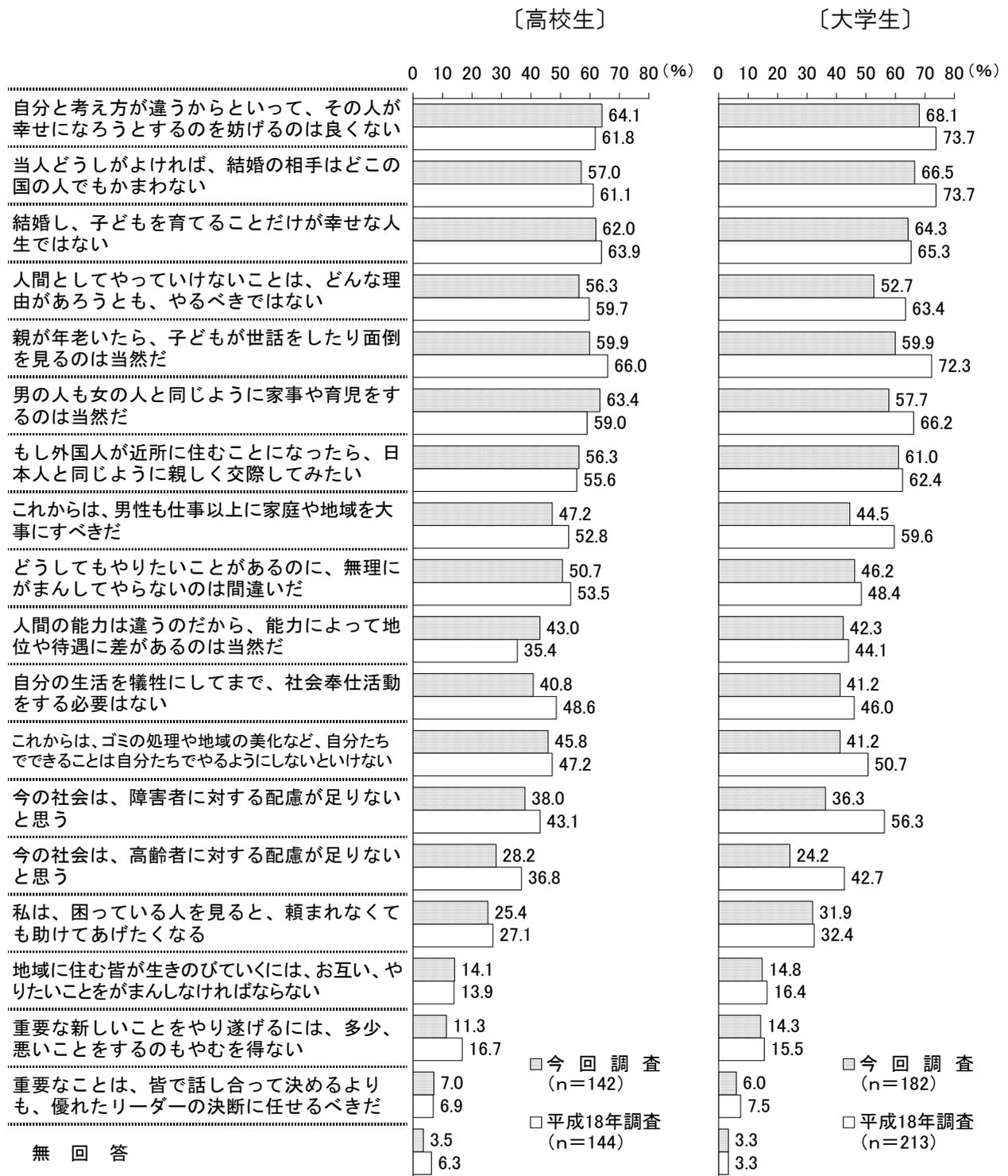
図表11-1-2 慣習やモラルに関する意識 (職業別)



平成18年調査と比較すると、高校生、大学生ともにほとんどの項目で減少傾向となっており、「今の社会は、障害者に対する配慮が足りないと思う」は大学生で20.0ポイント減少しており、「今の社会は、高齢者に対する配慮が足りないと思う」は高校生で8.6ポイント減少している。

(図表11-1-3)

図表11-1-3 慣習やモラルに関する意識 (年代別経年比較)



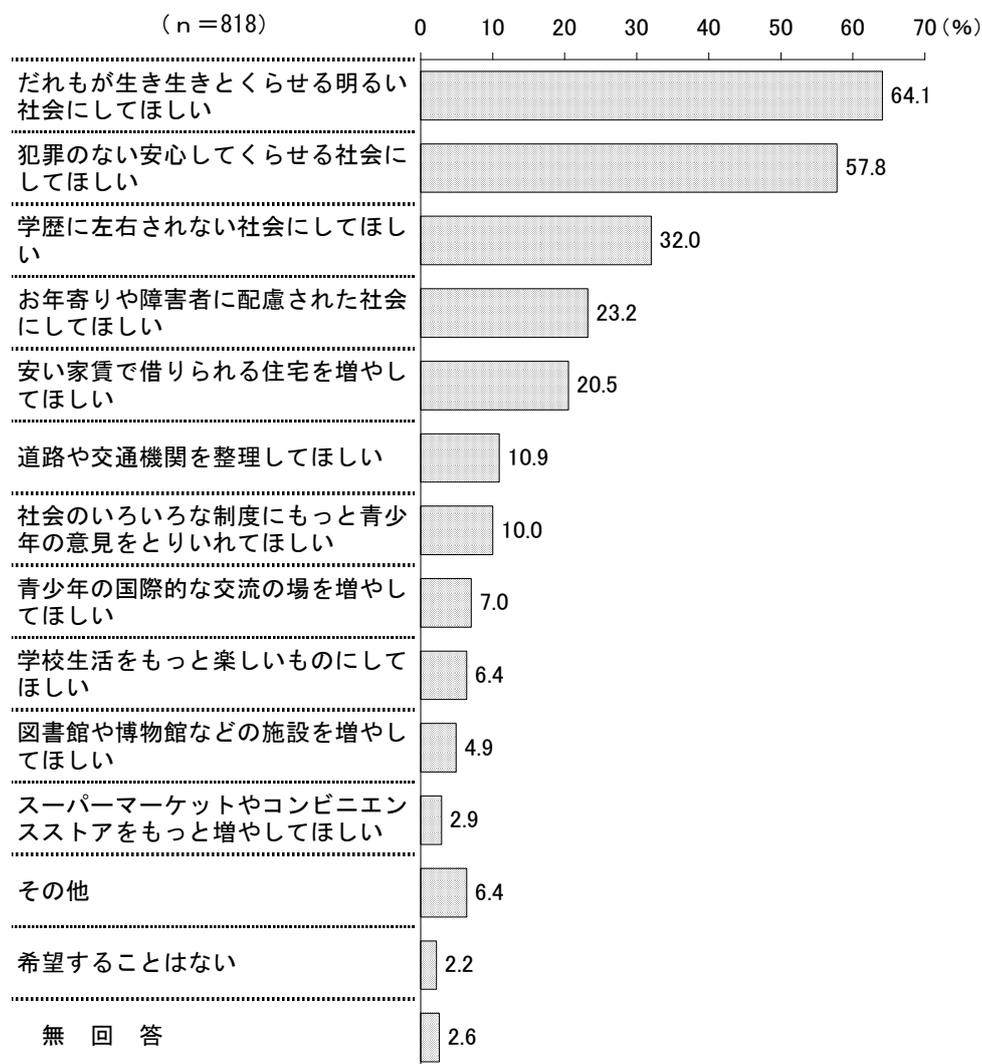
(2) 今後の社会への希望

◇「だれもが生き生きとくらせる明るい社会にしてほしい」が64.1%

問59 あなたは、今の社会がどのようなことを希望しますか。次の中から3つまで選んで○をしてください。(類似質問：満10歳～14歳94ページ参照)

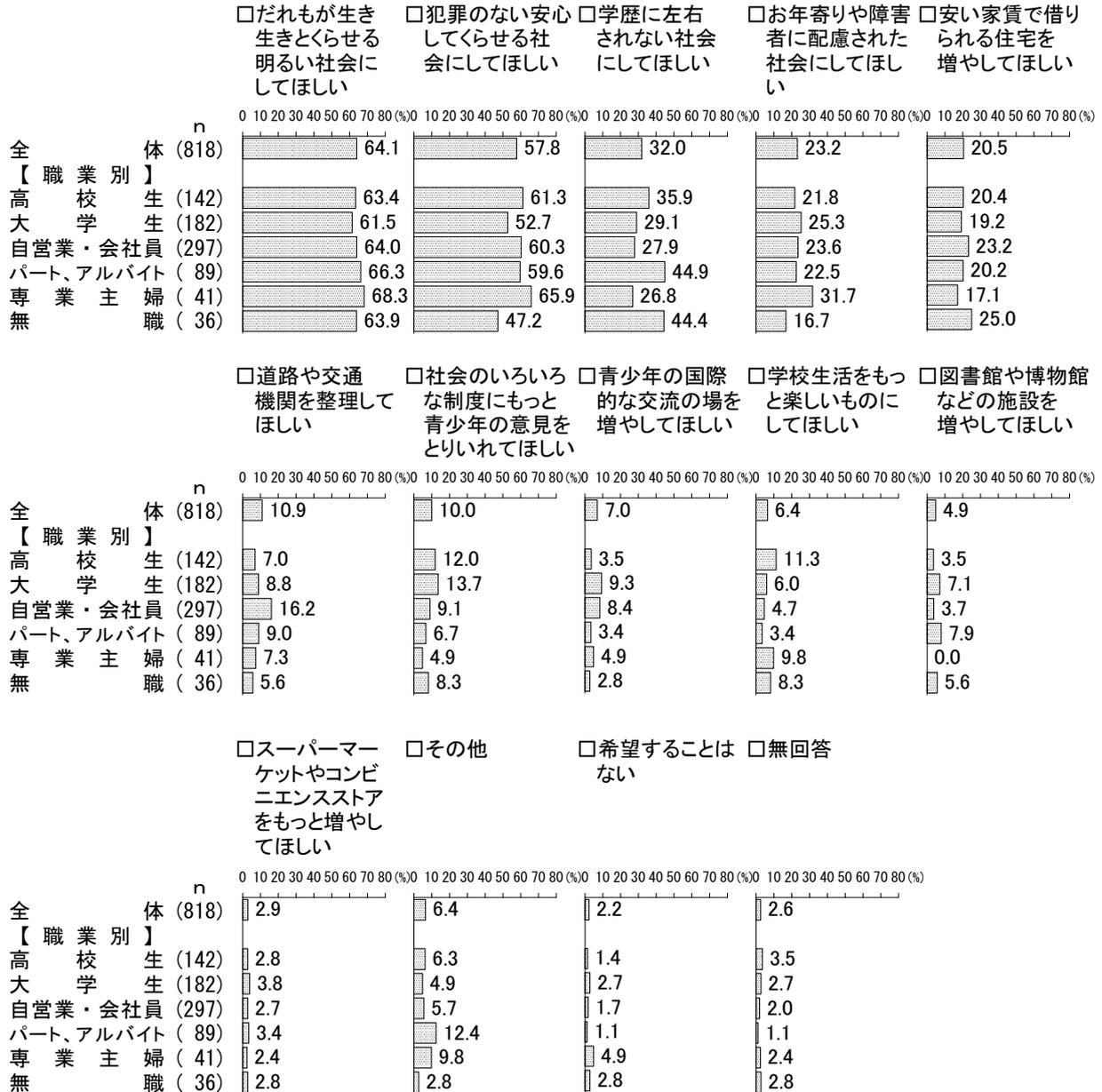
今の社会がどのようなことを希望するか聞いたところ、「だれもが生き生きとくらせる明るい社会にしてほしい」が64.1%、「犯罪のない安心してくらせる社会にしてほしい」が57.8%で、この2項目が多く、次いで「学歴に左右されない社会にしてほしい」(32.0%)、「お年寄りや障害者に配慮された社会にしてほしい」(23.2%)、「安い家賃で借りられる住宅を増やしてほしい」(20.5%)などの順となっている。(図表11-2-1)

図表11-2-1



職業別にみると、「だれもが生き生きとくらすめる明るい社会にしてほしい」はすべての職業で6割台となっている。「学歴に左右されない社会にしてほしい」はパート、アルバイトで44.9%、無職で44.4%と多くなっている。(図表11-2-2)

図表11-2-2 今後の社会への希望 (職業別)



平成18年調査と比較すると、高校生で「だれもが生き生きとくらすめる明るい社会にしてほしい」は12.7ポイント増加しており、「学歴に左右されない社会にしてほしい」は12.0ポイント減少している。「犯罪のない安心してくらすめる社会にしてほしい」は高校生では6.4ポイント増加しているが、大学生では9.3ポイント減少している。(図表11-2-3)

図表11-2-3 今後の社会への希望 (年代別経年比較)

